別冊 Dolly・Dolly

Cheerio!

チェリオ！

~ドールライフのはじめかた~



大人のドールライフ、
はじめました

DOLL-LIFE INTERVIEW

しんやまさこ　江口寿史
甲斐みのり　カンバラクニエ
…… and more

STYLE-UP LESSON

FASHION & HAIR STYLING
PHOTO SHOOTING

ドール・コーディネイト・レシピ LIGHT

allnurds　Daisy-D　QP　カニホル　Salon de monbon
F.L.C.　…★charm_bus★…　Be Free*

momoko DOLL inspired by 椎名林檎



Cheerio!

チェリオ!

TO START A BRAND NEW DOLL-LIFE

チェリオ!
～ドールライフのはじめかた～

大人になってもかわいいモノが好き。そんな「大人女子」が最近、急増しています。

少し前までは“大人になったら、かわいいモノは卒業”という風潮がありましたが、
今では様々なファッション雑誌で「大人女子」のための、
かわいいけれど大人の雰囲気も感じさせるスタイルが注目されています。

「大人女子」なファッションが世間的にアリならば、
「大人女子」なカルチャーや趣味だってアリなのでは？

例えば、子供の頃に大好きだった「お人形遊び」。
“もう大人なのだから、お人形遊びは卒業ね”と両親に言われて、
楽しい「お人形遊び」をやめてしまった人もいると思います。

大人でも、人形が好きだっていいじゃない。
大人でも「人形遊び」から学ぶことは多いのだから！

こんなアイデアから、「大人女子」のための
「大人のドールライフ」を提案する『チェリオ！』は誕生しました。

「お人形遊び」は想像世界の中で繰り広げるものでしたが、
「大人のドールライフ」は現実世界の中で繰り広げるもの。と、『チェリオ！』は考えます。

ドールとのふれあいを通じて、新しい世界と出会ったり、
あなた自身の生活にも何かプラスになることがあるように。

ドールと過ごす時間と、ドールと過ごさない時間とのバランスを上手にとりながら。
ドールライフを、そしてあなた自身の人生（ライフ）をより楽しむヒントになればと思います。

あなたの新しく、楽しいライフスタイルの門出を祝して

Cheerio!（かんぱい）

DOLL inspired by 椎名林檎

新しい曲を発表するごとに、斬新なコーディネイトと完成されたプロモーションビデオを展開し続けてきている椎名林檎さん。
そんな彼女のプロモーションビデオ5作品の世界を1:6スケールの世界で再現! 1:6で表現した究極の作品をお楽しみください。

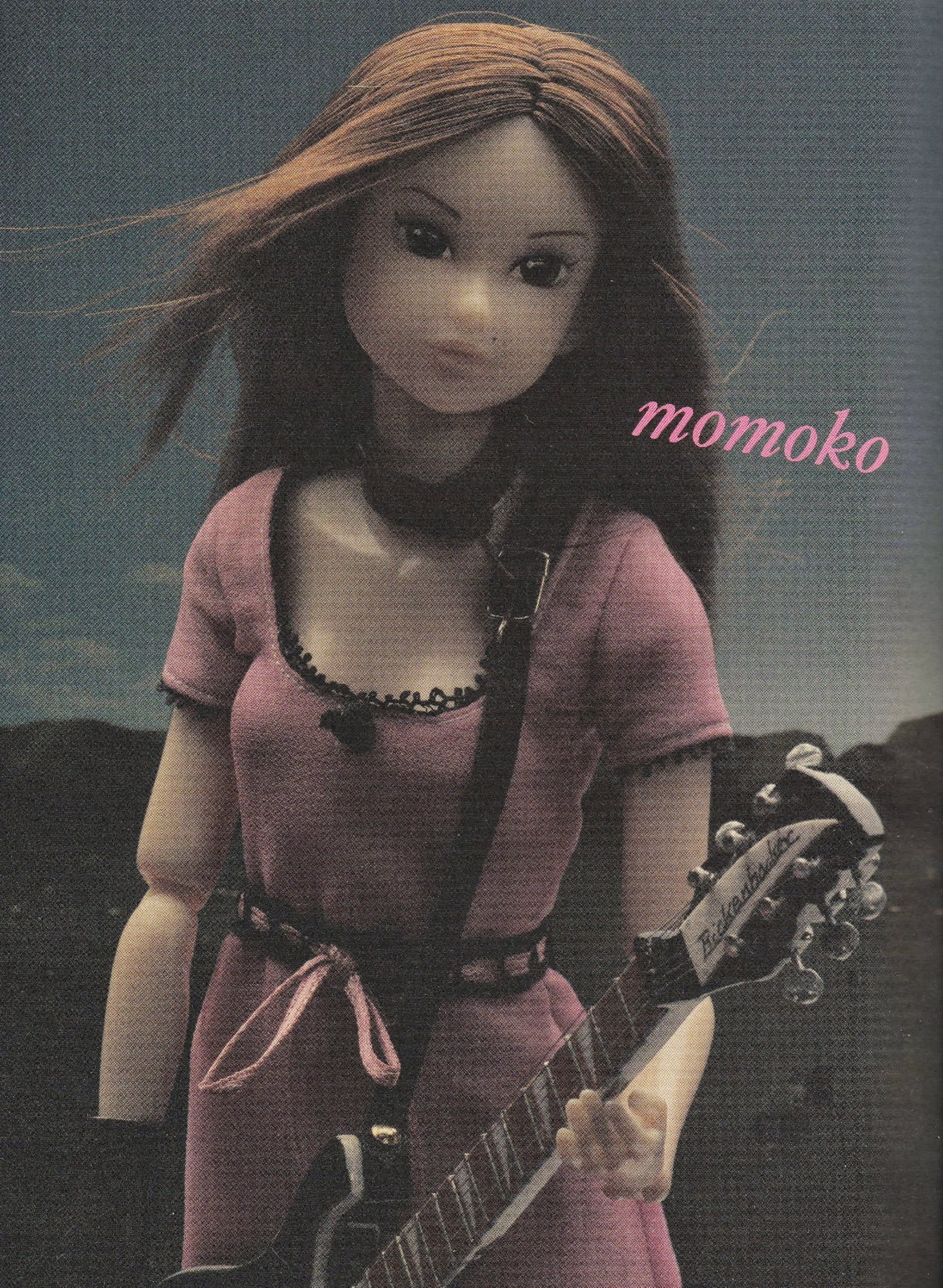
Jan. 2000



「ギブス」
2000.01.26
TOCT-22051
¥1,200(tax in)
EMI Music Japan Inc.



Photographs by Hirotaka Yonekura　1:6 Outfits by Kazumi Oka　Hair&Make-Up by Midori Matsuishi
1:6 Guitar by Kazunori Yoshida　1:6 Accessories by Yuichiro Fukaya


momoko

May 1998







「幸福論」
1998.05.27
TODT-5144
¥1,020(tax in)
EMI Music Japan Inc.



Jan. 1999





「ここでキスして。」
1999.01.20
TOCT-4133
¥1,200(tax in)
EMI Music Japan Inc.

Jan. 2007







「この世の限り」
2007.01.17

TOCT-40084
¥1,200(tax in)
EMI Music Japan Inc.



Aug. 2007





「キラーチューン」
2007.08.22

TOCT-40137
¥1,200(tax in)
EMI Music Japan Inc.

Cheerio!
チェリオ！

TO START A BRAND NEW DOLL-LIFE

DRESS-UP LESSON
～ドレスアップ・レッスン～

DOLL-LIFE COLUMNS



Cover Photographs by Hirotaka Yonekura
Model is Wake-Up momoko DOLL WUD001
Wears are Wake-Up momoko DOLL fashion set WUF001

Table of Contents

「大人のドールライフ」って、どういうもの？　どういう部分が“大人”なの？ そして、どれくらい楽しいものなの？ 皆さんの頭の中にはいくつもの「？」が浮かんでいるかもしれません。そこでまず最初に、「大人のドールライフ」を既に楽しまれていると『チェリオ！』編集部が思った7人の“大人”に、それぞれの「ドールライフ」について話をうかがいました。

お仕事にドールをうまく取り入れている人。ドールとの時間をリラックスしながら楽しんでいる人。ドールを通して色々なことを考えている人。

みなさんそれぞれにドールとただ“遊ぶ”だけでなく、ドールと過ごす時間を通じて自分自身の人生のプラスになるものを得ているのを感じました。

7人のドールライフ・インタビュー、あなた自身がこれから楽しむ「大人のドールライフ」の理想型をイメージするときの参考にきっとなるはず。さあ、ページをめくって“先輩”たちの話を聞いてみましょう！

Cheerio!
チェリオ！

DOLL-LIFE INTERVIEW

HOW IS YOUR DOLL-LIFE?



「ムチャチャ」デザイナー
しんやまさこ
Masako Shinya

海外でも高い評価を得ている子供服ブランド「ムチャチャ」。ただカワイイだけでない独自の世界観を洋服を通じて表現しているデザイナー・しんやまさこさんに、ドールのコレクションと、現在制作中という人形「hanachan（ハナちゃん）」について語ってもらいました。

Photographs by Ayako Asami

見つめられていても気にならないし
人間がいっぱいいるみたいで楽しいから
人形をたくさん並べてしまう

日本国内はもちろん、フランスをはじめとする海外でも大人気の子供服ブランド「ムチャチャ」。カタログ、ショッピングバッグ、ウェブサイトには、人形やぬいぐるみを使った、キュートなコラージュ作品が登場。〝きっとデザイナーさんはドールが好きなはず〟と思い、オフィスと自宅を訪問させてもらったところ予感は的中。いたるところにカワイイ人形やぬいぐるみが！ しんやさんによるガール・トークならぬ〝ドール・トーク〟、たっぷりとお楽しみください。

――オフィスにもご自宅にも人形がたくさんいるんですね！

「人形って捨てられないじゃない？ だから本当に好きなのは家に置いて、いらない人形は会社に持ってくるようにしているんだけど、もう置く場所がなくて（笑）。〝周りに目のある人形が並べてあると怖い〟という人もいるけど、自分は気にならないですね。何にでも目がついているものが好きで。人形でも人間でもいっぱいいるほうが楽しい、けど人間がいっぱいいると気になる。だけど人形はだまって笑っているだけで、見られていても害がないし、いろんな人間が家にいるみたいで……楽しい！」

――昔のドールも多いですよね？ よく海外にお仕事で行かれているそうですが、その時に手に入れたりするんですか？

「昔、アメリカに良く行っていた時に買ったものもあるし、ムチャチャのお客さんからの贈り物もありますね。フランスの蚤の市でもけっこう買うんですけど、売っているおじいちゃんが包むときに人形に『バイバイ』とか言うの。私に渡すときも泣きまねみたいなことをしたり。きっとみんな、自分が好きで買ったものだから愛着があるんでしょうね」

――ちなみに衝撃的な出会い方をしたドールとかありますか？

「この『Liddle Kiddles（リッドル・キドル）』かな？ 60年代の人形なんだけど製造されていた期間が短かったらしくて、すごく数が少ないんですよ。最初はフリマで何も知らずに買ったんだけど、小さいのに洋服もお洒落で、髪型とかも洋服にあわせられていて。すっかりハマって、めちゃくちゃ集めていましたね。キドルを追い求めていたピークの頃、シアトルで巨大なショーケースごとキドルを売っているお店を見つけたときは、もう本当に気絶しそうでした（笑）。売っていたおじさんの妹がコレクターで、彼女が集めていたものらしいんだけど、すごくキレイな上、めずらしい種類のも中にあって。バラ売りはできない、全部じゃないと売れないって言うから〝もう、これは買うしかない！〟ってケースごと買った（笑）」

――うわー、大人買い！（笑）

「ちょっと怪しい雰囲気がいいんですよね。色で例えるなら紫色みたいなところが。買ったのはもう昔の話ですけどね、10年近く経っているかな？」

――みんな成長すると人形から離れていくけど、そういうのはなかったのですか？

「仕事をしていなかったら、そんなに買っていないと思いますね。今、人形をコラージュしてカタログとかを作っているのもあるから、あんまり好きじゃない奴も〝あ、こいつは使えるな〟とかみたいなよこしまなことも考えて買ったりしているし（笑）。でもね、本当にもう人形を置く場所がなくて、家も何も置けない状態で……でも、これからも人形を買うつもり」

――ときめくものがあると買ってしまいますよね、どんな状態であっても。

「そう、そう（笑）。あと、古着とかもそうだけど、男の人って〝これは何年ので、こういうので〟みたいな、こだわりがあるじゃない？ 私が人形を買おうとすると〝これ古くないね〟とか言うんですよ。〝いや、別に古くなくていいの。どうでもいいの！〟ってなることが多い」

――あ、男の人って理屈っぽい部分がありますよね。〝かわいいからいいじゃない〟と自分は思っているのに。

「そう、女の人はそっちの感覚でしょ？」

――ところで、このハンバーガーの人形は一体……？

「アンダーカバーとコラボレーションもしている、フランスのアーティストに作ってもらったんですよ。生き物をモチーフにした作品しか作らないポリシーを持っている人で、ハンバーガーを作ってとお願いしたら〝なぜ




Office

かわいいドールがたくさん!
しんやさんのオフィスの
一角をご紹介。




Private

しんやさん秘蔵(?!)のコレクション。ディスプレイの仕方にも、しんやさんのセンスの良さを感じられます。









『ハナちゃん』という人形を作っているんですよ。彼女の行方は、私もかなり楽しみにしています

ハンバーガーに目をつけるのか分からない"って言われて（笑）。子供に生きているものだけでなくてモノも"生きて"いるよというのを教えてあげたいって説明を3時間くらいしたら"できるかどうか分からないけど作ってみる"と言ってくれて。で、最初に作った作品を彼女がギャラリーに試しに置いたところ、お客さんからの反応がものすごくあったらしくて。急にヤル気が出たみたいで、一気にたくさん作ってくれましたね」

──すごいインパクトですね、これは。

「すごいでしょ？（笑） 食べ物に顔をつけたりするのが好きで。ハンバーガーへのブームみたいなのは、もう私の中では終わってしまったけど」

──ちなみに今は何に興味が？

「リアルな人形ですかね。赤ちゃん人形みたいな。あと実は今『ハナちゃん』という人形を作っているんですよ。フランスで展示会をしたときに、ハナちゃんのキーホルダーを飾りに吊っていたら大人気になって。私はその様子を見ていないのだけど、展示会の最後の日とかお客さん同士でハナちゃんを取り合って、ケンカになっていたらしくて。フランスの『Milk』という子供雑誌の人にもハナちゃんをあげたら異常なほど反応してくれて、男の人にも"何なの、それ?!"って訊かれたりして。もう"なんやろ、この喰いつきは？"って思ってしまうくらいな反応があって。フランスでの日本ブームというのもあるし、この平面的な感じと赤い水玉模様っていうのが日本っぽいんでしょうね。フランスでムチャチャの洋服の販売をしてくれている人と盛り上がって、ハナちゃんをフランスで有名にしようということになって」

──それはすごく楽しそう！

「フランスでも展開するなら、ハナちゃんがフランス語を喋れたらいいよねという話にもなって。人工知能で喋る人形を作っている知り合いに話をしたら"それは絶対にヒットする！ 手伝う！"と言ってくれて、喋るタイプのハナちゃんを今、作ってくれているんですよ」

──フランス語を喋るんですか！（笑） でもこのハナちゃん、見た目は普通なのにインパクトが強いですね。これはしんやさんが考えたのですか？

「うん。でも、こういう人形は日本の昭和の代表的な人形で。それをちょっとキャラっぽくした感じで」

──懐かしい感覚もあるけど、また違うところでひかれますね。

「日本の懐かしい感じと、日本の新しい感じが混じったような人形になるといいです。ハナちゃんの行方は、私もかなり楽しみにしています」







しんやまさこ 「ムチャチャ」デザイナー。ムチャチャとはスペイン語で"少女"の意味。"少女の心"を思わせるムチャチャのかわいいお洋服や、「ハナちゃん」の今後の展開が気になる人はムチャチャのホームページ(www.muchacha.com)をチェックしてみて！

Office

1. しんやさんのデスクの周り。かわいいものしかありません！ **2.** 本棚の上には、カラフルなぬいぐるみたちが鎮座。 **3.** インタビュー中にも登場した「ハナちゃん」と、アンヌヴァレリー・デュポン作のハンバーガー。 **4.** 赤いベレー帽がかわいいドールは、パリの蚤の市で購入。イタリア製のものだそう。

Private

1. 棚には上から下まで、しんやさんのコレクションが。 **2.** ソファーの上にもお人形たちが並んでいます。 **3.** 今、夢中のリアル人形シリーズの一部。 **4.** お気に入りのぬいぐるみを使って作ったというランプスタンド。まわりにもかわいい小物が。 **5.** よーく見ると、キッチンにもドールが！ **6.** こちらがLittle Kiddlesのコレクション。小さくてキュート！ **7.** 素敵な食器も飾られていました。お部屋全体をご紹介できないのが残念！

Photographs by Atsuko Kitaura



文筆家・「Loule(ロル)」主宰

甲斐みのり

Minori Kai

『乙女の京都』『乙女の東京』をはじめとする著書で、文筆家として活躍中の甲斐みのりさん。そんな彼女の隣にちょこんと座っているのは、甲斐さんがディレクションを手がける『ビド』。子供時代、人形遊びが大好きだったという彼女にドールライフとビドについてお話を伺いました。



甲斐さんがつい集めてしまうという小さくて、かわいいもの。こちらはドールハウス用のミニチュアアイテム。手鏡、プレゼントボックス、ジュエリーボックス……甲斐さんの"乙女らしさ"を感じるセレクトです。

中学校に上がるまで
秘密のお人形の部屋を作ったり
ずっとお人形遊びに夢中でした

——甲斐さんは"かわいいもの好き"という印象が強いのですが、子供の頃に人形で遊んでいたりしましたか？

「子供の頃の私はすごくバービーが好きだったんですよ。『小学3年生』といった学年誌があるじゃないですか？　当時の学年誌に"バービーちゃんの似顔絵コーナー"といったページがあって……」

——あ、ありましたね！

「それに投稿していました。人形のお洋服のファッション画コンテストに応募したり。あと実家に帰ったときに子供の頃に読んでいた、こんな本を見つけました」

——『わたしのバービー』（実業之日本社刊）だって！　これを読んでいたとき何歳でした？　昭和61年発行だから……

「小学校3年とか4年ですね」

——人形遊びに一番ハマる時期ですね。

「実は中学に上がるまで、人形遊びをしていました。扉のついた棚の中に人形の家を作って、バービーちゃんのベッドを置いたり、窓の絵も描いて貼ったりしていて。家族にも見られないように、隠しながら作っていたんですけど小学6年生になるまでやめられなくて。でも、もうその頃になると周りの友達は人形で遊んでいなくて……」

——アイドルとかに夢中になりはじめる頃ですものね。

「そう、あとゲームとか。だから一緒に人形遊びをしてくれる人が全くいなくなってしまって。でも妄想とか、お話を作ったりするのがすごく好きだったので、一人で遊び続けていたんですよ」

——人形遊びって映画監督みたいな気分も味わえるから楽しいんですよね。

「そう、ドラマとかの脚本を書くような感じでね。だけどあるとき、その人形の家が母に見つかってしまい"もうすぐ中学生になるのに大丈夫……？"と心配されちゃって。中学生になる前に人形の部屋を崩すことにしたんですけど、もうすごく悲しくて。"大人になるのかな……"と淋しい思いをした記憶があります」

——人形遊びをいつ頃からしなくなったか、はっきりと覚えていない人も多いのに、甲斐さんの場合はすごくはっきりしているんですね。

「すごくはっきりしています。小学4年生くらいになると周りの子は人形に興味をもたなくなって、一緒に遊ぶ友達が本当に誰もいなくなりましたもの。一緒に遊んでくれる人がいない、というのが気持ちに暗い影を落としたりもしましたし（笑）」

——ちなみに人形の家具とかは自分で作っていたんですか？

「買ったものとか、近所のお姉さんからもらったものもありましたけど、お年玉やお小遣いでアクセサリーのパーツを少しずつ買いためたりしていましたよ」

——しっかりとコレクションしていたんですね。

「かなりしていたと思います。あと"こういう服があったら……"という欲求を満たすためにデザイン画を描いて学年誌に応募（笑）。すごく"載りたい"って思っていましたね」

——私は甲斐さんと同世代なんだけど、当時シルバニアファミリーも流行っていましたよね？

「シルバニアにもはまりました（笑）。母には"サンタクロースは小学生にしかきませんよ"と言われていたんですけど、小学6年生のとき、最後のクリスマスプレゼントにもらったのがシルバニアファミリーのお家でした」

——もしかして二階建ての立派なやつ？

「そうそう！　シルバニアは家とか持っていなくて、人形とか家具だけで遊んでいたんです。それを見かねた母……じゃなくてサンタさんが、最後に家をプレゼントしてくれたんです。でも、すぐに中学生になってしまったので、そんなに遊ばなかったですけど……今でも思い出として実家にとってあります。人形遊びは本当に好きでしたね」

——ぬいぐるみには興味がなかったの？

「ぬいぐるみも大好きでした！　以前、母に自分がどんな子供だったか訊いたときに"ベッドの周りを全部ぬいぐるみで囲って、ぬいぐるみに埋もれて泣き止まないで寝ない子だった"と言われて（笑）。人形は自分の感情移入をして、ぬいぐるみはかわいがってあげるという形で遊びわけていましたね」

——ぬいぐるみたちとも中学生になるときにサヨナラしたんですか？

「母が幼稚園の園長先生だったので、私の"卒業"の印に母の幼稚園にオモチャを

Minori's Collection

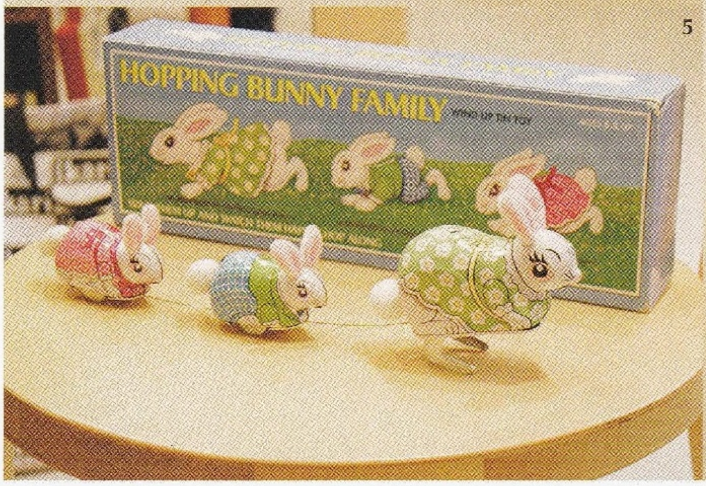
「ネコやウサギのものをつい集めてしまう」
という甲斐さんの"大人"になってからの
コレクションのごく一部をご紹介











1. 本棚の一角には様々なウサギが！　ちなみに鍾乳石製のこけしは、みうらじゅんさんからいただいたそう。 2. フクロウとネコの入れ子細工、ウサギの香炉。出会った場所はそれぞれ違うけど、どこか似た香りを感じます。 3.「ねむの木学園」を訪れた際に入手した宮城まり子さんのお人形。カワイイです。 4. 棚の上にはネコたちが。ビドは読書に夢中の様子。 5. フランスで手に入れたウサギの親子の玩具。箱もかわいい！

“壊れるもの、なくなるもの”という前提で大事にするようになったら、心がスッキリしました

もっていってもらったんですよ」

――それは幸せな形の別れですね。

「捨てるとかじゃなくてね、誰かにあげるっていう。みんなに喜んでもらえたらしいので良かったかな、って」

――今は人形を小物として集めていますけど、集めるときの気持ちは昔と一緒？

「いえ、昔とは違いますね。昔は本当に感情移入するとか、欲しくて欲しくて仕方がないとか、思い入れが強かったけれど、今はインテリア的な感覚に近いですね。あとは旅先などで、そこでしか一生会わないだろうなというものを買っています」

――なんか“大人”な感じですね。今、持っているものの中で一番、思い入れがあるものはどれですか？

「うーん……正直、ないと言えばないかもしれない。大人になってあまり物に執着しなくなったというか、執着しないように心がけていて。昔は本当にひとつひとつ、ものをすごく大事にしていて。それが壊れたりなくなったりしたときに胸を痛めていたけど、大人になったらそれがなくなってきて。もう“壊れるものだ”とか“なくなるものだ”という前提で大事にするようになって。そうしたら昔よりスッキリしましたね。気持ち良いと言っていいくらいに。子供の頃に比べると“軽い”とはまた違うけど、楽な気持ちで人形と向かい合っています。そう思うと中学校にあがるときの“サヨナラ”はして良かったのかも」

――成長の儀式としてね。

「本当に儀式的で。人形の部屋を片付けるときは辛くて、辛くて……。でも結果として良いものになっているのでしょうね」

――通過儀礼は人間の成長にとって必要不可欠なものと言われますしね。現在、甲斐さんが手がけている『ビド』も、そういった子供時代の背景と何らかの関係があるのでは？

「そうですね……自分が人形好きだったこととは直接関係ないかもしれませんけど、子供の頃にスヌーピーのぬいぐるみをずっと持ち歩いていて。もう白いスヌーピーが黒くなるまで（笑）。その記憶が私の中ではすごく残っていて。ビドのぬいぐるみを作ったときも、玩具メーカーさんには“ぬいぐるみで白というのは厳しいものがある”と言われたけど、あえて白で良い気がしていて。汚れていく感じも大事なものじゃないかな、と。ぬいぐるみという形も、子供から大人まで持てるもの、飾れるものだと考えた上で決めたものですし」

――ちなみにビドはどういう経緯で誕生したのですか？

「サンリオがずっと好きで、キャラクターの仕事をやりたい気持ちが自分の中にあったんですよ。ビドは元々、Louleのスタッフのノートに描いてあったいたずら描きで。そのいたずら描きを見たとき“かわいいから、これにビドって名前をつけてキャラクターにしたい”と思ったのが始まりで。実はね、けっこう長いことビドの活動をしているんです（笑）」

――少しずつかもしれないけれど、ビドは着実に形になって前に進んでいますよね。

「ありがとうございます。『ビドのうたえほん♪』（プチグラパブリッシング刊）の出版を機に、これからもっとビドのものを作っていくことになっていて」

――うわ、楽しみ～！

「うたの絵本だから、パペットとか指人形みたいなのも作りたいと思っていて。お父さんビドとか、お姉さんビドとか色々と」

――ビドファミリー！（笑）

「そういうのをやってみたいなという気持ちで今はいっぱいですね。ちょっと停滞していた時期もあるけれど、頑張ってやっていこうと思っています」



『ビドのうたえほん♪』
発売：プチグラパブリッシング
発行：バンダイ　ガールズプロダクト企画室
1680円（税込）

Loule: http://www.loule.net/
Bid: http://www.bid-tokyo.com/

甲斐みのり　文筆家・Loule（ロル）主宰。「女性の永遠の憧れ」をテーマに様々な分野にて活躍中。恋する女の子を応援するキャラクター『ビド』のディレクションも手がける。またビドの最新刊『ビドのうたえほん♪』もただいま発売中。ビドの伏し目がちな瞳にときめいた人は、ぜひお近くの書店でビドのかわいさと出会ってみて。



ミュージシャン / イラストレーター

Lakin' the Kiiiiiii

Lakin' the Kiiiiiii

ヴォーカルのU.T.とドラムのLakin' the Kiiiiiiiの2人によるガールズ・バンド「Kiiiiiii(キー)」。オモチャやぬいぐるみに溢れるステージを観て"この人たち、かなりぬいぐるみ好きだろう!"と思った『チェリオ!』編集部。Lakin'の自宅を訪れたら、そこはぬいぐるみの楽園でした。



Lakin'のお気に入りたち。左から、モグラ（本当はハリネズミ）の“モグタン”、“ライオン”、長年の相棒“バムセ”、クタクタすぎて本物に見えない“ファーファ”。この体勢は通称“ボブスレー”で、その時のお気に入りのぬいぐるみたちでチームが編成されるのだそう。

お父さんがぬいぐるみ好きで。子供の頃から ぬいぐるみの英才教育を受けていました

――Kiiiiiiのライヴを初めて観たとき、ステージの上がオモチャとぬいぐるみだらけでビックリしたのだけど、どうしてあういうステージ構成になったの？

「Kiiiiiiってヴォーカルとドラムの二人だけで音数も少ないから、観る人に誤解を与えないようにというのがあって。“こいつら超ヘタなバンド！”じゃなくて“ワザとこうスカスカな音でやっているんだよっ!!”みたいな印象を与えるためにもデコレーションした方がいいかなって（笑）。1回目のライヴのときはオモチャのラジカセとかモールだけだったんけど……」

――そういえば黄色いクマの“バムセ”は、いつもステージにいるよね？

「このバムセはずっとライヴに登場しているから忘れちゃった日とか、けっこうヒヤヒヤするね。“今日、バムセいないけど大丈夫かな？”って（笑）」

――バムセは日本だと、まだレアな存在だよね。私もレイキンが以前にやっていたサイトでその存在を知ったくらいだし。ちなみにバムセとの馴初めは？

「昔、すごくスパンの長い旅をして、はじめがデンマークのコペンハーゲンだったんだけど、3ケ月かけて徐々に移動して、最終的にはドイツまで行ったのね。コペンハーゲンでオモチャ屋さんに入ったときに、最初にバムセの絵本と出会って。イラスト版の絵本だったんだけど、背中にチャックの絵が描いてあって“絵本なのにヒッドイな～！”とか最初は思ったけど“これは絶対、本物がいるはず。おそらくテレビ番組を絵本化しているな”と考えて、探してみたらぬいぐるみのバムセと出会ったんです。“これを旅の供にしよう！”と決めて、旅行中の3ケ月間ずっと一緒だったの。バムセは本当に頼りにしている。これまで行った全部の旅行についてきているし。旅先で写真を撮るときも、自分が入れないときはバムセを代わりに置いて撮ったり、誰かにバムセを持ってもらってそれをパシャ！ 写真に黄色と赤が写るじゃない？ そうすると、写真がすごくかわいくなるんだよ、シールが貼ってあるみたいな感じで」

――バムセの他にも色々と仲間がいるけれど、子供の頃からぬいぐるみを集めていたの？

「すごく集めていた。実家にはまだまだいっぱいあって、2年に1回くらい日干ししている。子供の頃って、自分では買えないじゃない？ でも、お父さんがぬいぐるみが好きで。本人もモグラのぬいぐるみを集めているんだけど、自分の為じゃなくて“子供に”と言って買えるのがすごく喜ばしかったらしくて、ことあるごとにぬいぐるみをお土産に買ってきてくれたり、誕生日とかに買ってくれたりしていて」

――お父さんが買ってくれていたんだ。それは珍しいね。

「大人になった今も、お父さんはぬいぐるみをお土産でくれるね。もう子供の頃からぬいぐるみの英才教育を受けています（笑）」

――いわゆる“人形”はなかったの？

「バービーとか？ 持っていたけど、あんまり興味なかった。“世間にあわせないと”って感じで、自分の意志では入手していないね。一人暮らしをはじめたときに冷蔵庫を買わないといけないかなって思うみたいに“子供だからバービーを買わないといけないかな……”って（笑）。ちなみに当時はバービーじゃなくて、ジェニーでした」

――本当にぬいぐるみにしか興味がなかったんだ。でも、そんなにたくさんあって親に捨てなさいとか言われなかった？

「言われなかったね。けど、いらなくなったら小さい子にあげなさいとは言われていた。うちはあまりものを捨てない家だったから廃品回収に出すものはあったけど、ぬいぐるみは出せなかった。マンツーマンで誰かにあげたいからね“この子をよろしく！”って」

――じゃあ、増える一方だ（笑）。

「そう、捨てられないから、増やさないようにしている。去年行ったKiiiiiiのヨーロッパツアーでも、“バグパス”っていうイギリスの子供番組に出てくる変な猫のぬいぐるみを買おうかどうか真剣に悩んで。オモチャ屋にも2日続けて通ったんだけど“……買わない！”って決めて。何故ならうちにはもう一杯いるからねって思って、スペースも狭いしさ」

――どうしても買ってしまうときもあるだろうけど、そういうときの条件は？

「相性だね。でも直感、本当に。必要か、必要じゃないか。人生にこの子がいなきゃ生





Special Collection of Lakin'

海外のぬいぐるみ
キャラクターにも
精通しているLakin'。
そんな彼女の
コレクションを
お蔵出ししてもらいました！

1.ずらりと並んでいるのは海外のぬいぐるみ系テレビ番組のDVD＆ビデオ。海外ツアーに行く度に、つい買ってしまうそう。ちなみに写真は07年のヨーロッパツアーの際に入手したお宝。 **2.**デンマークの国民的人気テレビ番組の主人公・バムセのぬいぐるみと写真絵本。絵本の表紙からして、何か変なオーラが……。 **3&4.**普段ぬいぐるみたちはこんな感じで棚などにいます。







Kiiiiiiiの第3＆第4のメンバー?! Lakin'が手にしているワニのハンドパペットは、口を閉じるとカスタネットのように音が出て、Kiiiiiiiのライヴでも大活躍。ほとんどのライヴに出演しているというバムセは、ポケットの中に入る手のひらサイズ。小さいけれど縁の下の力持ちなのです。

“人生にこの子がいなきゃ生きていけない！”と思えるかどうか。そこまで検討してから買いますね

きていけないって思えるか思えないか。“結婚か、死か！”ってくらいに。そこまで検討して買うね」

――どれくらいの頻度で買っているの？

「06年は買ってないね。大きいガスパールが04年に来て、小さいのが05年に来て……それ以外は買っていない。アイツらはどうしても買いたくて……。“知ってるよ！　これ、みんなもすごく知っているキャラクターだし、有名だし……でも……もう……かわいすぎーっ!!”みたいになって買った（笑）。『リサとガスパール』シリーズの作者のゲオルグ・ハレンスレーベン（絵）＆アン・グットマン（文）夫妻の絵本作品のぬいぐるみ化って、全部うまくいっているんだよ。絵本の良さを損ねていないのに、ぬいぐるみとしてもすごくすごく成立していて。『ペネロペ』シリーズのぬいぐるみも、最初は主人公のペネロペのしかなかったんだけど、最近どーっと仲間たちのぬいぐるみが発売されて。それがまた超最高でさ！　もう全員、買いたいって思ったんだけど、“彼らを全員家につれてくるにはもう一部屋必要だ！”と思ってガマンした。お金持ちになったら買いたい」

――ちゃんと自制しているんだ（笑）。

「自制、大好きだからね（笑）」（注：このあと結局ペネロペ以外の全員を誕生日プレゼントにもらってしまいました！）

――でもキャラクターのぬいぐるみも持っているのは意外だった。私の中ではレアなバムセとレイキンが結びついていたから。

「どこのか分からないぐらいの感じのものが好きなんだよね。基本的には無名が好きだね。ガスパールは例外で、“ジャ××ズだけどニノは好き！”みたいな（笑）。でも、今うちに居るのはキャラものが多いんだよね。モグラとライオンは無名の方だけど。このファーファも、クタクタしすぎてファーファに見えないから“アホの子”って呼んでるし」

――ところでレイキンにとって、ぬいぐるみってどんな存在なの？

「そうねえ、私はけっこうぬいぐるみに喋らす方で。ふたつの感情を同時に持っているとき“ああ、楽しいーっ!!　辛い……”って一人で言っちゃヤバい人だけど、ぬいぐるみを使って“ツカレタ～”っていうと、楽しそうに疲れている感じがするじゃない？　なんだろう腹話術状態？　代弁者？（笑）。それがぬいぐるみの仕事ではないかと。でもね、ぬいぐるみのことは単純にめちゃくちゃカワイイって思っていますよ。“もうカワイイ～！”って言いながら、鼻とかギューって押すと“はぁ……しあわせ……♡”って（笑）。特に今はペットを飼っていないからぬいぐるみたちが大活躍だね！　ぬいぐるみはペットと違って自分から寄ってこないけど」

――いや、寄ってきたらコワイよ（笑）。

「そうそう、ぬいぐるみってお風呂に入れたときもカワイイんだよね。毛が濡れて、ちょっと嫌がっているような表情とか（笑）。濡れた毛をグシャグシャにして遊んだり……あと、吊られて干されている姿もカワイイよね！　さすがにペットでこれはできないじゃない。これぞぬいぐるみの醍醐味！」

――でも、お父さんがぬいぐるみ好きっていうのは本当に意外だった。

「お父さんはぬいぐるみも好きだし、子猫も飼っていて。理系の研究者でかなり堅い職の人なんだけど、手足のないモグラのぬいぐるみが累々と机の上に並んでいて……といっても4、5個くらいだけど」

――でも、なんでお父さんはモグラのぬいぐるみを集めているの？

「それが謎だよね……うちの実家の最寄り駅が『百草園（もぐさえん）』なんだよね……それかなぁ？『もぐらえん』？（笑）今まで家族全員、誰も気にとめてなかった。今度、聞いてみる！」



Kiiiiiii 1st ALBUM
『AL & BUM』
BSPT-001
¥2625 (tax in)

http://kiiiiiii.com/
http://kiiiiiii2.exblog.jp/

Lakin' the Kiiiiiii
06年にファーストDVD『GOLD & SILVER』、07年にファーストアルバム『AL & BUM』をリリースしたKiiiiiii。日本国内だけでなく、数々の海外音楽フェスでもライヴを行う。21世紀のジャパニーズ・ガールズ・バンドとして大注目されているKiiiiiiiの最新情報は公式サイト＆ブログでチェック!

Photographs by Ayako Asami



イラストレーター
カンバラクニエ
Kunie Kanbara

2006年に発売されたmomoko DOLL「しらゆき」をデザインしたカンバラクニエさん。実は所属しているマネージメント事務所がmomoko DOLLと一緒！ "レーベルメイトの先輩"でもあるmomoko DOLLと過ごすドールライフについて楽しく語ってくれました。



＊1　こちらがカンバラさんが作った、コンテスト企画のプレゼント用のしらゆきのカード。振袖のときとはまた違う、可憐な雰囲気のしらゆきの姿が。

momoko DOLLとは“人形”ではなく“レーベルメイトの先輩”として出会いました

——カンバラさんは『しらゆき』のデザイナーという形でmomoko DOLLとコラボレートされていますが、実はマネージャーがmomoko DOLLと一緒なのですよね。

「そうなんです。私のマネージメントをお願いする前から事務所ではmomoko DOLLのマネージメントをしていて。『しらゆき』の話をいただく前から事務所の人にmomoko DOLLのことを色々と聞いていたこともあり“同じ事務所のタレントさん”みたいなイメージが私の中ではすごくあって。なのでmomoko DOLLとの出会いも“人形”ではなく“レーベルメイトの先輩”との出会いで。『しらゆき』は、私が振袖のブランドを手がけていたこともありお話をいただいたのですが、もう私の中では“モモコ先輩の衣装をやらせていただく”みたいな感じでした。“頑張らせていただきます！”って（笑）」

——でも、さきほどから拝見させていただいているとmomoko DOLLとの接し方も手慣れていますね。

「『しらゆき』のときに振袖を何回も脱がして、何回も着付けましたからね。面白かったですよ。それに、もともと、子供の頃にジェニーちゃんを愛用していたのもあって」

——リカちゃんではなく、ジェニーですか。周りの友達もジェニーを持っている人が多かったんですか？

「みんなはリカちゃんを持っていましたね。リカちゃんハウスの2DKとか3DKとかのおうちもみんな持ってて。あと『リカちゃん電話』とかかけていました」

——懐かし〜い！ そういえばリカちゃんは家族構成やらボーイフレンドやら、momoko DOLLと違って色々な背景設定がありましたよね。

「でも小さい頃は、そんな設定はどうでも良かったですね。みんな同じリカちゃんを持って、みんな“リカちゃん”って呼んでいて、子供心ながら意味が全然分からなかった。“これは私のリカちゃん”“あれは●●ちゃんのリカちゃん”って（笑）。みんながリカちゃんだったから、私はジェニーだったのかもしれないです」

——じゃあ、着せ替え遊びとかもしていたんですか？

「お母さんに作ってもらったり、自分で作った洋服とかは持っていましたけど、そんなにたくさん持っている方ではなかったですね」

——お母さんが人形の洋服を作ってくれていたんですか？ よく“こんな小さい洋服、無理”とか言われませんでしたね。

「買うより作る方が良かったらしくて。すごく小さい服なのに3千円とかするのが理解できなかったみたいですね。一度、友達が持っている既製品のリカちゃんの洋服と、私の母が作ったジェニーの洋服を交換して欲しいというので換えたのですが、母が申し訳ないと思ったらしく、友達の家まで謝りに行かされました（笑）。子供のときは“なんで謝りに行くんだろう？ 換えて欲しいていうから換えたのに……”って謝る意味が分からなかったですけどね。でも当時の人形の洋服はそんなに種類もなかったので、momoko DOLLは衝撃的でした。あまりに本格的で」

——今回『チェリオ！』に参加してくれたスタッフで初めてmomoko DOLLを見た人は全員が驚いていましたもの。特に洋服の緻密さに。“何なの、このボタンの小ささは?! このシューズの緻密さは?!”って。

「人形の洋服は全部マジックテープで留めるようなイメージだったけど、momoko DOLLはそうじゃないですしね。最初は深い世界だな、って思いました」

——このポストカード（＊1）のしらゆきの写真は、カンバラさんがスタイリングしたのですよね？

「しらゆきのコンテストがあって、しらゆきにまつわる写真とかを掲示板で募集するコンテスト企画があったんです。その1位の人へのプレゼント用に作ったもので。マネージャーからは“白いワンピースに絵を描いて”と言われたんですけど、それもなあと思って自分で色々と作りました。ケープを編んだりして」

——このケープもカンバラさんが作ったんですか？

「そう、造花を買ってきて小さなバスケットにいれたり、雪の結晶みたいなネックレスも作ってみたりして」

——実は結構momoko DOLLで遊んでいるというか、楽しんでいるんですね。

「遊びましたよ。雑誌の企画で“何か、しらゆきとやってください”という話があった







京都の街を一緒に歩いたカンバラさんのしらゆき。丸一日一緒に歩いているときに、草履はどこかに置いてきてしまったそう……。でも、それも楽しい時間を一緒に過ごした思い出の象徴なので、そのままに。

みんなもmomoko DOLLと一緒に街を歩いてみると相当楽しいと思いますよ

ときも"じゃあ、しらゆきと京都を一日歩いてきます"と言って、しらゆきを連れてごはん屋さんとかに行きました。カウンター席にしらゆきと一緒に座ってごはんを食べたり。"それ、何です？"って訊かれたら"momoko DOLLというお人形がありまして……"って説明して」

——あはは、歩く広告塔だ！（笑）

「そのとき私も着物姿だったので、すごく目立って。ベタに気付けると一緒に歩くのはおかしいと思ったので、ちょっと変わった着付けにして、おそろいの銀色のしごきを巻いたりしましたね。外国の人に会うたびに"写真を撮らせてくれ"って止められたり（笑）。丸一日歩いたら、すごく面白かったですよ。普段はなかなか勇気が出ないことでも"これは企画！"って思い込んでいるから色々とできて」

——いつもと違う自分になれた？

「ごはん屋さんでもカウンターのお店だったので板さんたちへのビールを注文して、"しらゆき先輩からのビール、皆さん召し上がってください"って言ったら、"しらゆきさんからビールいただきました──！"とみんなのってくれて（笑）」

——楽しそう──

「"あ、しらゆきさんが『もうアカン』って言ってる"とか"『もう次に行かな』って言っているから行くわ！"とか（笑）。その日は一日中、勝手なことを言っていましたね」

——でも、気持ちよく楽しんでいる感じですね。

「うん、気持ちよかったですね。人間、のってきたら、そうなってしまいますよ。ずっと着物だと疲れるので、ごはんを食べに行くときは家に帰って着物を脱ごうと思っていたんですけど、みんながすごく反応してくれるから"これはやめられないなぁ……丸一日、着物で頑張るか！"という気持ちになって、朝から晩まで着物姿でしらゆきを持って、ずっと歩いていましたね。momoko DOLLと一緒に一日歩くの、かなり楽しかったです。人形という意識で関わらなかったので、相当"利用して遊びました"っていう感じはありますけど。なんでだろう、人間らしいからですかね？ "自分の"って感じがすごくあるものですし。クマのぬいぐるみとかも、みんな名付けて持っているじゃないですか？ "うちのクマ蔵が……"みたいに。でもそういう感覚で"モモコ"って私は呼ぶ感じではなくって、"しらゆきさん"って感じで。何せ先輩ですからね。momoko DOLLも私にとっては"モモコさん""モモコ先輩"ですし（笑）」

——カンバラさんとmomoko DOLLならではの関係性ですよね、それは。

「でも、みんなもmomoko DOLLを買って、同じような格好をして歩いてみると楽しいと思いますよ」

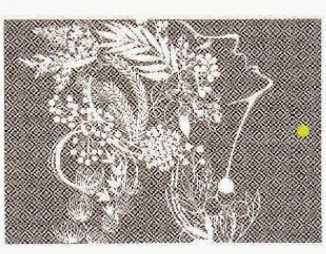
——しらゆきと一緒で着物姿、というのもポイントが高いですよね。個人的にはまたmomoko DOLLの振袖をカンバラさんに手がけて欲しいですけど……。

「いや、先輩から依頼があれば断れないのでやると思いますけど、まだ先輩が言ってきてはらへんので（笑）。でも着物好きな人だったらmomoko DOLLで遊んだりしたらすごく楽しいと思いますけどね。1つ作ってみたら何ぼでも作れるし。お洋服よりも縫いやすいと言えば縫いやすい気もしますし」

——確かに着物は直線で縫えますしね。

「着付けはちょっと難しいけど、浴衣を着付けられる人だったら大丈夫だと思いますよ。帯も後ろのホックで留めるだけですし。あと小物が色々とあると、着物は変化が色々と作れて面白いと思うんですよね。帯を変えるだけでイメージが全然変わりますし」

——じゃあ、先輩からカンバラさんにお声がかかるのを楽しみに待ちます（笑）。



2008年1月18日に発売されるカンバラさんの2冊目の作品集『ECHO』（フォイル刊）。前作『RESET』からさらにポエティックとなった、ストーリーを感じさせるイラストレーションの数々に"女の子心"をキュンとときめかされます。

カンバラクニエ　イラストレーター。書籍の装丁、CDジャケットのアートワークを手がけるだけでなく、アパレルや呉服メーカーでのブランド・デザイナーとしても活躍中。妹・ヨシエさんと「カンバラクニエ会」として家内制手工業で制作する雑貨&映像作品もぜひ注目してみて。

www.kuniekai.com



マンガ家

江口寿史

Hisashi Eguchi

momoko DOLLが人形のセキグチよりメジャーデビューする記念展覧会「idol」でイラストレーションをどうしてもお願いしたかった江口さん。当時もお忙しい中、快くイラストをお受けいただきました。あれから2年半。『チェリオ!』の創刊で久しぶりに江口さんに連絡して、寿スタジオにお邪魔しました。

Photographs by Hirotaka Yonekura
Outfits by Kazumi Oka



江口さんの代表作の一つ「ストップ!!ひばりくん!」。1980年代に描かれたマンガとは思えない、色あせない魅力に溢れている。今一度読み直してみると連載当時は気がつかなかった新たな発見もある。興味を持った方は是非!!

『ストップ!!ひばりくん!①』
発行:ホーム社　発売:集英社
680円(税込)
©Eguchi Hisashi

女の子のリーゼントが嫌いで自分でmomokoの髪の毛をカット。でも子供にそんな姿は見せられません(笑)。

——江口さんご無沙汰しています。そもそも江口さんが最初にmomoko DOLLを知ったきっかけって覚えていますか?

「あれ、なんでしたっけ?(笑)」

——調べたら当時『キャラ者2』の担当者だった齋藤眞理さんに江口さんの事務所にお届けいただいたようです。

「そう言われてみればそんな気も……」

——真鍋さんをはじめペットワークス・ドール事業部のみんなが江口さんのファンで、齋藤さんに無理矢理持っていってもらったみたいですね。

「ははは(笑)」

——その後、ロゴスギャラリーの展覧会「DAY DREAM BELIEVER～記憶～」で「ぬりえ」にご家族みんなでご参加いただきました。

「あー、あの展覧会、行きましたねぇ」

——はい。ロゴスギャラリーの隣のベルギービール屋さんでみんなで宴会したんですよ。

「あれはいつでしたっけ?」

——2003年の秋ですね。そうそう江口さんの当時の日記にmomoko DOLLのことが書かれていた時はうれしかったですねぇ。

「もうそんなになるんですね」

——お二人のお子様は女の子でした?

「2人とも女の子ですよ」

——お子様はドールで遊んでいますか?

「うちの子はあまりしないですね」

——やっぱりニンテンドーDSとかですか?

「上の子はもう高1なんですよ。ファッションに興味があるみたいで。下の子は5歳で、リアルな触感の赤ちゃんのぽっぽちゃんはわりと好きで3歳くらいまで遊んでいましたね。でもリカちゃんやジェニーのようなお人形で遊んでいるのは見たことないな」

——シルバニアファミリーもないですか?

「シルバニアは上の子が小さい時に遊んでいたかな。嫁が子供の頃にあまりお人形遊びをしていなかったらしく、その影響でしようかね? 絵を描いたりするのは好きなんですが」

——お子さんも絵がすごくうまいんでしょうね。

「そんなことはないですよ。下の子は暇さえあれば絵を描いているんですが、"お父さんはいいね。絵を描く仕事で遊んでいるんでしょ"なんて言われています。"絵なんか誰でも描けるのにねー"とか(笑)」

——ご自宅には人形はないのですね?(笑)

「人形があるのは事務所だけで、自宅の自分の部屋はわりとシンプルで大人っぽい普通の感じですよ(笑)」

——事務所には結構momoko DOLLを飾っていただいていますよね。

「今momoko DOLLが5体くらいあるんですが、これはいやだなっていうのが1体あったんです。それは僕が髪を切りましたよ」

——それはどんな理由で?

「いや。女の子のリーゼントが嫌いで(笑)」

——(03ANspであることが判明する)ほんとですか?! (見せてもらって)これシャギーとかも入れたりしたんですか?

「縦にハサミ入れましたよ」

——江口さん。髪を切ったのはその1体だけですか?

「髪を切ったのは2体ありますよ。髪の毛が気に入らないと切りたくなりますね」

カメラマン・米倉「僕も髪は切るんです。髪を切るのはプラモのカスタムに近いのかなって思います」

「そうですね。確かに近いところはありますよね。でもただでさえ下の子に絵を描くお仕事で遊んでいると言われているのに、仕事場で人形の髪の毛を切っている姿は絶対に見せられないですね(笑)」

——江口さんも子供の頃から絵をずっと描いていたんですか?

「そうですね。姉2人と描き合いっこをしていました。テレビで見たものをそのまま描いたり、マンガのまねをしてみたり」

——当時から女の子の絵を描いたりしていたんですか?

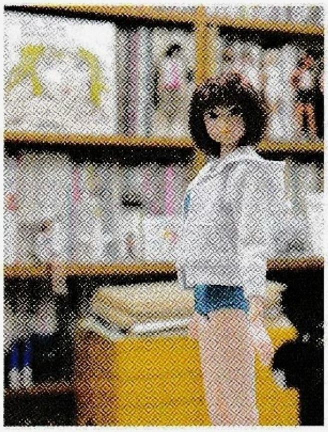
「子供の頃は女の子の絵は全然描いてなかったですね。『あしたのジョー』とか、円谷プロの怪獣ものが好きだったので『ウルトラ警備隊』なんかを描いていました。マンガにも女の隊員とか出てくるんですけど、女の子を描くのは恥ずかしかったですね。今思うとありえないんですが(笑)」

——そうですね(笑)。最初の連載はジャンプで『すすめ!!パイレーツ』ですよね。

「それも男の子マンガだけど女の子キャラも描く必要に迫られて。だから、女の子の絵を練習したのはプロになってからですよ。僕は当時、集英社に泊まって描いていたのですが、その辺にマンガがたくさんあっ


GING NANA
BOYZ


LOGOS GALLERY



2005年4月、momoko DOLLのメジャーデビューにあたり、「作品からみんなのmomokoドールへ」というコンセプトで「idol=アイドル」というテーマの展覧会を開催。そのため初の写真集は海外ロケで。イラストも江口さんのようなビッグな方に描いてもらうということがマストだった。momoko DOLLオフィシャルカメラマンの米倉さんはmomoko DOLLをトランクに詰めてグアムに飛び、江口さんには3月の時点で開発途中のmomoko DOLLをいち早く渡して描いていただいた。32ページ下の写真はそのロゴスギャラリーでの展覧会の様子。

momokoドールはドールというより、よくできた女の子のフィギュアとして見ています。

て、それらを見ていたら、岩館真理子さんのファンになったんです。岩館さんの描いた女の子の絵がすごくかわいくて、横で見ながら描いていましたね（笑）。あとは陸奥A子さんかな」

――意外なスタートですね。

「『すすめ!!パイレーツ』の時に女の子キャラを描いていたら、男の子のうけがよくなって。"女の子がかわいい"とか言われると、こっちもうれしくなっちゃってね。それからまた女の子の描き方を岩館さんのマンガを見ながら練習したり（笑）」

――イラストレーションのお仕事はいつ頃から始められましたか？

「83年の『ひばりくん』が終わった後からですね。それまでは集英社専属だったので、他で仕事をしてはいけなかったんです。前からイラストの仕事には興味があったのでイラストの依頼が来た時はうれしかったですね」

――江口さんはCDジャケットのイラストなどもいろいろ描かれていますよね。

「そうですね。85年くらいからフリーになって、イラストを本格的にやり始めました」

――以前"momoko DOLLは関節ボディなのでイラストを描く時に参考にしています"と酔っぱらっておっしゃっていましたが（笑）。

「そうなんですよ。最初はデッサン用の木製人形を資料に使っていたのですが、顔を描く時はきちんと顔が付いたフィギュアの方が角度がわかるんですよね。特にドラゴン社のフィギュアはリアルだからそれを使っていて。でも女の子のフィギュアでここまで可動性があるものって他には知らなかったので、momoko DOLLに出会った時は感激しました」

――momoko DOLLに注目していただいた理由の一つとして"描くツールとして"ということでしょうか？

「そうですね。それと、momoko DOLLの普通にその辺を歩いている女の子のようなリアルなファッションに感動したんですよ。こういうリアルなスニーカーだとか、今までなかったですよね」

――大人のドールファンもずいぶん増えました。

「ライトな人と凝っている人とにわかれるんじゃないですかねぇ？　僕はライトな方なんですが、正直momoko DOLLをドールというよりフィギュアとして見ているので、着せ替えをして遊んでいる人とはまた違った感情なんだと思いますね」

――フィギュアはもともとお好きな方なんですか？

「そうですね。コレクターというほどではないですが、たまに欲しくなりますね。この前ファミレス限定で『ガバドン』（初代ウルトラマンに出てくる怪獣）が売っていて、欲しかったけど子供と一緒だったから買わなかった（笑）」

――最後になりますが、江口さんのマンガの時代を知らない若い世代は、"江口寿史＝女の子の絵を描くイラストレーター"だと認識していると思うんですが、その辺はご自分ではどう思われますか？

「それは僕のせいなので仕方ないですよね（笑）。心はマンガ家なんですが」

――江口さん、昔からずっとおっしゃっていますよね。しかも『ギャグマンガ家』だと。マンガ家としてはこれからどうしていきたいですか？

「ほったらかしている話が2、3あるので、それをまたやります」

――えっ、途中で終わったやつですね？　それではいよいよ本格的にマンガを描き始めるわけですね。

「はい」

――期待しています。今日はありがとうございました。



江口寿史　1977年、週刊少年ジャンプにて『恐るべき子供たち』でデビュー。『すすめ!!パイレーツ』で連載開始。主な作品として『ストップ!!ひばりくん!』、『ひのまる劇場』、『エイジ』、『爆発ディナーショー』など多数。マンガ家としてだけでなく、イラストレーターとして、広告、雑誌、装幀、キャラクターデザイン等活躍の場は多岐に渡る。



Photographs by Hirotaka Yonekura
Outfits by Hiroko(Daisy-D)

大日本プロレスレフェリー

李日韓

LEE NIKKAN

プロレス界随一のドールファンといえば大日本プロレスのレフェリー「李日韓」さん。大日本プロレス道場で行ったインタビューは幾多のデスマッチを裁いてきた人とは思えないほど、屈託のない笑顔が印象的でした。



さすがmomoko DOLLのファンでもある李日韓さんはさくさくとポーズを決めてくれます。リング上で自分に似たmomoko DOLLのポージングを取る日韓さんはとっても楽しそうでしたよ。

momoko DOLLを眺めながらお酒を飲むのが好きなんです（笑）

――日韓さんにとってmomoko DOLLはどんな存在なんでしょうか？

「女の子って女優さんとか憧れの人の写真とかを貼って〝こういう人になりたいな〟みたいなことを思うじゃないですか。私の場合それがmomoko DOLLだったんですよ。バービーやリカちゃんも好きだったんですが、初めてmomoko DOLLを見た時に、顔が衝撃的だったんです。こんな女の子になりたいなと思いました。それにmomoko DOLLの洋服はいつもおしゃれですしね」

――そんなにグッと来ましたか？

「私がなぜ前髪がぱっつんかというと、実はmomoko DOLLを真似させてもらっているんです（笑）。昔はずっとワンレンだったんですが、momoko DOLLを見習って髪を伸ばしているんですよ（笑）」

カメラマン・米倉「着せ替えとかもされるんですか？」

「基本的に箱から出さずに、並べて眺めていますね。その中に1体だけ出して着せ替え用のmomoko DOLLがいます。それを見ながら、お酒を飲むのが好きなんです（笑）」

――momoko DOLLを眺めながらお酒を飲まれるんですか？

「そうですね。お酒は家に帰ってからじゃないと飲めないので、ドールの前に座って飲みます」

――日韓さんにとって、momoko DOLLはお酒を呑むツールなんですね（笑）。momoko DOLLも一緒にお酒が呑みやすいタイプを選んでいる感じですか？

「会話ができる子を選んでいますね。でもこんなこと言うと〝お前イタい〟って言われちゃいますよね（苦笑）」

――全然そんなことはないですよ。因みに何を話しかけたりするんですか？

「〝なんでこんなにかわいいんやろうなー〟とかmomoko DOLLに対する感想をぶつぶつと発しているだけですよ。伊東さん（日韓さんの旦那さん・伊東竜二・大日本プロレス所属のプロレスラー・通称〝デスマッチドラゴン〟）は後ろでパソコンをしながら、〝こいつ大丈夫かなー〟とか言っていますけど（笑）」

――小さい頃からお人形遊びをされていたんですか？

「遊んでいました。私はバービー派でしたね。リカちゃんやジェニーも持っていましたが、バービーのほうが洋服が多かったんですよ。でも後半になったら、リカちゃんの組み立て式のお家が出て。それがどうしても欲しくて、おこづかいをためて買ったんです。そこからリカちゃん派に移りました」

――小学生くらいの時ですか？

「はい。オサム君でしたっけ？　私、リカちゃんの彼氏はみんな持っていましたね」

カメラマン・米倉「その空間というか、セット込みでお好きなんですね」

「そうですね。その頃から既に妄想癖があったんだと思います（笑）。いろいろと妄想しながら遊んでいましたね」

――それはすごいですね。その妄想がプロレスにも活きているのかもしれませんね。因みに中学生の頃は？

「その時はお人形は鑑賞用みたいになっていました。雑貨のようなイメージですかね」

――お人形熱が再燃したのはいつ頃ですか？

「東京に出て来てからだと思います。それまでは田舎にいたので、ドール本も見る機会がなかったんです。大日本プロレスで井上さん（井上勝正・大日本プロレス所属のプロレスラー）もすごいおもちゃが好きで、『フィギュア王』、『クアント』、『ハイパーホビー』などのおもちゃ雑誌を毎号買っていたんです。ある時、『クアント』にカラーで2ページのドール記事が載っていて。」

――そこでmomoko DOLLを見つけたんですか？

「はい。momoko DOLLのロゴスギャラリーでの展覧会お知らせ記事を見て、伊東さんを引き連れて渋谷まで見に行ったんです。等身大のmomoko DOLLがどうしても見たくて（笑）」

――因みに日韓さんの一番初めのmomoko DOLLは何でしたか？

「わたしは最初にセキグチの『仔犬と一緒』を買って、その後『おやすみさくらんぼ』を買いました」

――名前がすらすら出てきてすごいですね。

「『おやすみさくらんぼ』がすごく好きで、ピンク髪の別注バージョンもいます」

――他のmomoko DOLLは？





日韓さんにカウントを取るポーズを作っていただいたDaisy-Dカスタム・李日韓モデルの「momoko DOLL」(ベースはグリッターナイト)。足は二等辺三角形を作ってカウントをするのが大日本プロレス登坂統括部長から日韓さんが教えられた基本だそうです。

一試合レフェリーをするごとに、新しいmomoko DOLLに近付いているなって思っていますよ(笑)

『ピュアバイオレット』と『ミラクルパーティーガール』です」

——女の子らしくて、モードな感じのものもお好きなんですね?

「小麦色の『ビーチロデオ』もいますよ。ちょっと肌が黒い子もいいなと思いました。きれいなターコイズブルーのスカートにも惹かれて。それと豆momokoも持っています。『お船ちゃん』『おやすみさくらんぼ』『下妻物語』の3体います」

——結構お持ちですね。

「あと、新宿伊勢丹の時の子で、アーノルドパーマーとコラボしたおだんごのmomoko DOLLはほんとにかわいくて欲しかったんです。私はかわいいと思ったmomoko DOLLの髪型はだいたい自分で真似しているんですよ。666(トリプルシックス)という団体でやる時は、あのmomoko DOLLのヘアースタイルを真似しておだんごにしました」

——そういえば日韓さんは蛍光灯デスマッチの時はゴーグルなどはしないのですか?

「しないです。ゴーグルしたら曇りますから」

——初期のFMWのレフェリーとかは電流爆破デスマッチの時にゴーグルをしていませんでした?

「でも、見えなくなったり、曇ったりするので。それでもコンタクトは一応つけているんですよ」

——いや、コンタクトでは蛍光灯のガラスの破片から目を守れませんし(苦笑)。

「自分が生で一番近くで見ているのに、お客さんに伝えられなかったら意味がないので。多分、うちの部長(大日本プロレス・登坂栄児統括部長)がしていなかったからだと思いますね」

——デスマッチは戦っている人達はもちろん痛いと思いますが、レフェリーの方も蛍光灯の破片のリスクってすごくありますよね?

「だいたいうまいこと、目をつぶったりしてよけていますよ(笑)。大丈夫です。そんなことを言われたのは初めてですね」

——レフェリーシャツの下には硬いものを着ていないんですか? ウエットスーツとか?

「いつも通りですよ。破片が入るので、服を脱いだら胸のあたりが血だらけになって、ざくざくに切れていることもあります」

——プロレスとお人形は完全に別で考えられているんですか?

「でも、一試合レフェリーをやるごとに新しいmomoko DOLLに近付いているなって思っていますよ(笑)」

——(笑)

「伊東さんにはいつも"お人形は計画的に買いなさい"って言われているんです。だから"この子かわいいなー、どうしようかなー"と迷った時は、一応一週間考えるんですよ。一週間考えて、ほんとに欲しかったら買うことにしているんです。お酒の友達として(笑)。あぶないなー。普通の人が聞いたら」

——いやいや。でも、正しい大人の遊び方という か、新しい大人の遊び方という気がしました。momoko DOLLを眺めながらお酒を呑むのは、原型師の澤田さんだけかと思っていましたので(笑)。

「私はお人形はいじるよりも、眺めているだけが好きなんですよね。お酒を飲みながら(笑)。ほんとにじっくり見ますよ」

——因みにどんなお酒を飲まれるんですか?

「酎ハイとか焼酎。ビールも飲むし、韓国焼酎が好きなんですよ」

——最近は日本だけでなく、アメリカにもよく行かれていますよね。

「そうそうアメリカに遠征に行った時は、ひょっとしたらおもちゃ屋さんに何かあるんじゃないかと思って、いろいろ廻って"momoko DOLLとかブライスは置いてないの?"って訊くんです。アメリカのお人形もかわいいのですが、一緒にお酒は呑めない感じですね(笑)」



李日韓　1999年、大日本プロレスにレフェリー兼営業として入社。翌年大日本プロレスのプロレスラー伊東竜二と結婚。レフェリーとして既に300試合以上のデスマッチを裁いている。現在は女子プロレスラーとしても「アイスリボン」、「横浜プロレス」に出場している。その一方で大日本プロレスの巡業中に、札幌でオフ会を開催したという生粋のお人形ファン。



ROUROU

石河陽一郎

Yoichiro Ishikawa

奥様であり、パリコレモデルだった早園マキさんと立ち上げたファッションブランドROUROU。蓮、唐草などアジアのモチーフを活かしたキュートなアジア服が特徴です。2007年11月には念願の上海店もオープンし、きせかえ人形「おでこちゃんとニッキ」のROUROUモデル『ODECO&NIKKI go to ROUROU』を発売した石河社長にお話を伺いました。

Photographs by Hirotaka Yonekura



蓮華の国のアリス(ROUROUmomoko)
ROUROUの服作りのコンセプトはネオアジア。進化したアジアの国、『朧朧国』(ろうろうこく)という、古くはヨーロッパや中国の影響を受け、やがて争いのない文明を築きあげ、独特の文化や美術を持つ進化した未知のASIAの国……そんな理想の国『朧朧国』をイメージしたmomoko DOLL。
¥29,400
2004年1月18日発売

ROUROUはコンセプトを固めて お店を立ち上げるまでに7年かかりました

——ROUROUさんは2000年設立ですよね。東京コレクションに海外進出、以前石河さんがお話ししていたことがどんどん実現していっていますね。

「独立に必要なものを勉強して、マキ(早園マキ)とコンセプトを絞っていきました。1992年から考えていましたから、だいたい7年くらいの構想期間があったことになります。ガーリッシュなテイストのものを、雑貨中心でやろうと思ったこともあります。おしゃれな和の骨董を集めてパリに店を出そうとか、そういうことを考えた時期もありました。でもどこかで洋服やアジアとの仕事もしていたので、ここにしかない自分達のテイストのものを作れないかなと思ったんですよね。構想をしていた当時はボヘミアンテイストとかアジアンテイストなどが世の中的にうけていた時期なのですが、いずれ終わってしまいますから。だから終わらない、ブームではない、僕らのテイストやカルチャーでファッションを産み出すことができないかと思ったことがきっかけです。そこからROUROUの最終的な方向性が決まっていきました。当初の夢はパリにお店を出すことでしたが、やっぱりファッションの中心はパリなので、そこでアジア人のデザインする洋服がどのように評価されるのかに興味がありました。でも途中からアジアの中心で日本人の作る洋服がどんな評価を得るのかということにも興味を持ちはじめました。だから東コレと上海の店はほんとに夢でした。次こそはパリでというのもあるのですが、今は中国がいろいろな意味でおもしろいので、中国の商売に興味がありますね」

——東コレはいつから参加ですか?

「東コレの初参加は2005年ですね。それで、今年正式デザイナーに認定していただきました。でも今年はマキが出産でできませんでしたが(苦笑)」

——でも順調ですよね。

「いえ、順調じゃないですよ。やっぱり難しかったのはスタッフですね。僕らと同じようにブランドなり、会社なりを愛してもらいたいということを理解してもらうまでが大変でしたね。今はすごく理解してもらっていますが、それには時間がかかりました」

——その部分はどうやって解決させたのでしょうか?

「教訓でいうほどのものではありませんが、スタッフと話す機会をすごく増やしました。ひとりひとりと一ヶ月に一回ランチミーティングをするようにしています。特に仕事の話はしないけど、スタッフの夢の話を聞いたりしています」

——いいですねー。

「それで少し距離が縮まってきたかなと。あとはスタッフみんなでご飯に行ったり、みんなで集まって話すことも大切にしています。スタッフはシフト制なので全員と顔を会わせることもなかなかないので」

——以前はお二人ともアゾン・インターナショナルにいらっしゃったんですよね?

「はい。僕とマキが最初に入ったんです。初代スタッフなんですよ。1996年くらいですかね」

——そういう意味では人形にも元々かかわりが深かったんですよね?

「はい。池袋のサンシャインシティのイベントで小さなブースを出していましたね」

——ドールイベントだったんですね。

「あの時はベトナムにも頼めないくらい少量で、自分達で作って持っていきました。今考えるともちろん量も少ないですが、自分達からしてみたらびっくりですよ。まさかそんなに売れるとは思っていなかったので。試しに、みんながチクチク縫ったものがそんなに売れたので、これは商売としてもいけると思いました。そこで体制を整え直して海外事業部を設け、海外にも駐在所を作ったりして。それを卸売りする事業部と小売する事業部とに分けてやりました。そこでマキが人形服のデザインをはじめたんです。もともと彼女は洋服が好きだったんですが、人間が着る服をそのまま小さくしただけではなくて、人形仕様にしないとかわいくないんですよね。その感覚がすごくよかったんだと思います。その時の僕は雑貨の輸入や卸しの仕事をしていました。当時はベトナム雑貨の大ブームで、cocueさんが支店を一気に出していたのですが、あのブームの時に僕は船でベトナム雑貨を引っ張ってきてそれを日本で卸していましたね」

——momoko DOLLとは2003年3月のロゴ





菊柄シルクシフォンワンピース
和なイメージの菊の柄がプリントされた07AWのコレクションの中の1品。「ODECO&NIKKI go to ROUROU」の洋服とのデザイン違い。お揃いのコーディネイトが楽しめる。¥29,800

中華街の関帝廟にほど近いところに立つ「ROUROU横浜中華街店」
〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町130番地
TEL / FAX　045-662-0466
営業時間：11:00〜21:00　年中無休（第3日曜日は20:00時閉店）
みなとみらい線元町・中華街駅より駅徒歩5分、
京浜東北線石川町駅より徒歩10分。

人形は洋服に合わせてモデルを自分たちで作り込めるところがいいですよ。人間服ではそこまではできませんから（笑）

スギャラリーのイベント『桃魂（とうこん）』でタイアップをこちらからお願いに伺いました。あの時のテーマが「アジアンビューティ」で、どこかファッションブランドがないかと探していた時に、コンセプトをしっかりしていて、ペットワークスの近所で、しかもデザイナーがアゾンの早園さんの妹さんで（笑）、これはもう早速行こうということになって。

「正直人形の話は封印していたのですが、あれでその封印が解けた（苦笑）。あの時の展覧会『桃魂』で1点もののオークションをやらせていただいて本当に楽しかったんですよ。納得いくまで作り込めましたし、展示コンセプトの『アニミズム』にも共感しました。僕はあの時momoko DOLLに恋しましたね（笑）」

――その恋が『ROUROUmomoko』の発売に繋がっていくわけですね（笑）。

「はい。『桃魂』のオークションは自分たちで納得できるものができましたが、やっぱりたった1体ですよね？　あれからしばらくして、ROUROUの物語をつけて自分たちのテーマを人形で世界観をパッケージにして表現するのもありかなって思って、momoko DOLLにお願いしたんですね。」

――momokoとしてはありがたい話ですね。

「『ROUROUmomoko』は凄く楽しみながらデザインさせてもらいましたね。ヘアにこだわって、メイクにこだわって、そばかすの色や数までこだわって、工場はほんとに大変だったと思います（笑）。でもそれは洋服のためだったんです。通常洋服の為にモデルをそこまでがっちりと作り替えることはできませんから（笑）」

――そして3年半ぶりに今度は『おでこちゃんとニッキ』を発売ですね。

「2年前かな、お歳暮で『でこニキ』をいただいた時に二人で遊んでいました。でもファッションと結びつくことなく、雑貨として、アメリカントイ的なイメージで本棚に飾っていたんです。それから、今年の2月にマキの出産がわかって07AWのファッションショーができなくなったんですね。その時に思い出して本棚の中にあったでこニキを出してこれにシーズンテーマの服を着せたらどうだろうと思ったんです。最初はこれで5分、10分のチェブラーシカのようなアニメーションを作りたくて、知り合いのいるデジタルハリウッドの横浜校に持っていったら、とてもできないと言われてしまいました（苦笑）。それがGW明けですね。ほんとうは07AWなので遅くても6月に出したかったですけど（苦笑）」

――ニッキをロシアンブルーにしたのはご自宅の猫だからでした？

「いえ、自宅では猫が4匹いますが、三毛が2匹、白黒茶と茶トラが各1匹なんです。ニッキは洋服が似合う種類を選びました。そうなると白か黒かシャムグレー……でもそれはもう発売されていたので。個人的には茶トラがよかったのですが、柄の上に柄を合わせなければいけなくなるので、それでロシアンブルーを選びました」

――おでこちゃんはいかがですか？

「おでこちゃんはmomoko DOLLの時と同じで、アジア系の『朧朧国』のイメージです。やっぱりメイクと髪型にはこだわりましたね。世の中に"おでこちゃん"という種族が既に存在していて、ROUROU好きなおでこちゃんもいるはずだと信じて作りました（笑）。性格は、意志が強くて、気が強くて、だけどもシャイで内弁慶だけど、派手好きなおでこちゃんはROUROUのどの服が好きかなぁと妄想してみたりして（笑）」

――『ROUROUmomoko』的な視点ですね。

「ニッキの方はある意味消去法で決めていけたけど、おでこちゃんの方が大変だったですね。メイクや髪型はもちろん、服も靴を大変でした。だから今回はおでこちゃんの方に思い入れがありますね（笑）」



石河陽一郎　ROUROU社長で主宰の早園マキさんの夫。マキさんとは小学生からの幼なじみ。幼少期をシンガポールで過ごし、アジアの感性を培う。独立に必要なノウハウを得るため、出版社、マーケティング企業、貿易会社、青山のファニチャーショップ、輸出入業者などで、数年づつ修行。通称『ボス』。

それぞれの「大人のドールライフ」を楽しんでいる皆さんのインタビューを読んで"私もドールライフ、はじめたい!"もしくは"あれ、もしかしたら「大人のドールライフ」、すでにはじめていたかも?"と思われているのではないでしょうか?
ここからは「大人のドールライフ」をより楽しく、より「大人」らしくエンジョイするためのレッスンをはじめます。そして"ロールモデル(=規範型)"ならぬ"ロールドール"として登場してもらうのは、「大人のドールライフ」をこれからスタートする方の最初のパートナーに相応しい『momoko DOLL』。
レッスン1は「人形遊び」の一番の醍醐味ともいえる「着せ替え」に注目した、スタイリストさんによるコーディネイト・レッスン。それぞれのスタイルが確立されているスタイリストさんが、momoko DOLLのスタイリングをすると、どんなスタイルが誕生するのか。あなたと、あなたのお人形の「スタイル探し」のお手本にしてみて。
レッスン2はヘアメイクさんによる、ヘアスタイリング・レッスン。ちょっと工夫をするだけで、もっと素敵な雰囲気にしてくれるヘアスタイリング。「ちょっと」を怠らないことを意識しながらページをめくってくれると嬉しいです。
ファッションもヘアスタイルもアップしたら、誰だって写真に撮りたいと思うはず。レッスン3では、あなたのお人形をより素敵に撮影する方法を『momoko DOLL』オフィシャルカメラマンが伝授してくれます。
3つのスタイルアップ・レッスンを通じて、あなたならではの「ドールライフ・スタイル」を見つけてください!

LESSON 1 FASHION STYLING
LESSON 2 HAIR STYLING
LESSON 3 PHOTO SHOOTING

Cheerio!
チェリオ！

STYLE-UP LESSON

TO START A BRAND NEW DOLL-LIFE

6



ナイントゥファイブ
(2005年6月発売)

7



スクールガールミックス
(2005年7月発売)

8



水色ラビリンス
(2005年8月発売)

9



Everyday B-Girl
(2005年8月発売)

10



ミラクルパーティーガール
(2005年12月発売)

ご覧のページに、ずらりと並んでいるのはこれまで発売されたmomoko DOLLたち。バリエーションの豊富さにビックリしている人もいるかと思いますが、驚くことなかれ、ここでご紹介しきれていないmomoko DOLLもいるのです。
「お人形遊び」の一番の醍醐味といえば、何といっても「着せ替え」！　それぞれのイメージにあわせて作られたお洋服がセットになっているmomoko DOLLですが、スタイルアップ・レッスンの第１章では「着せ替え」の楽しさを皆さんに思い出してもらうためにファッション誌などで活躍中のスタイリスト３名に、momoko DOLLのお洋服を自由にスタイリングしてもらいました。コーディネイトによって、がらりと変わる雰囲気。ちょっと「変身」にも似た楽しさ。あなた自身のスタイリングスキルもレベルアップしてくれる「大人のお人形遊び」のはじまりです！

16



ドラマティックブライド
(2006年6月発売)

17



ひまわりは夏の恋
(2006年7月発売)

18



マロングラッセ
(2006年9月発売)

19



Mama Told Me
(2006年9月発売)

23



みんなでつくるmomokoドール2006
(2006年12月発売)

24



透明な碧い白
(2007年2月発売)

25



避暑地のメヌエット
(2007年6月発売)

26



Groovy Baby
(2007年6月発売)

～スタイルアップ・レッスン
衣装クレジットについて～

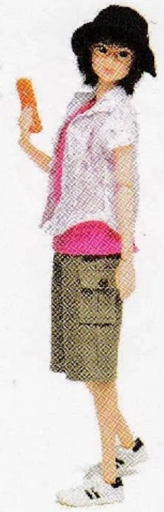
続く6ページに記載されている衣装クレジットですが、アイテム名の後に記載されている番号が、このページに登場しているmomoko DOLLのセットの番号と連動しています。アイテムが、どのセットに含まれていたかを知りたい人は番号を照らし合わせてみて。

1



仔犬と一緒
(2005年4月発売)

2



午後は休講
(2005年4月発売)

3



グリッターナイト
(2005年5月発売)

4



ゲットレディ・サマー
(2005年5月発売)

5



ピュアバイオレット
(2005年6月発売)

LESSON 1 FASHION STYLING

スタイルアップ・レッスン
～お洋服のスタイリング篇～

11



GO FOR VICTORY!!!
(2006年2月発売)

12



深夜の横断歩道
(2006年3月発売)

13



ラブリーフォークロア
(2006年4月発売)

14



ぽっかりオフタイム
(2006年4月発売)

15



しらゆき
(2006年4月発売)

20



アンティークドリーミング
(2006年11月発売)

21



アジアの蕾
(2005年11月発売)

22



おてんばGraduation
(2006年12月発売)

Cheerio!
STYLE-UP
LESSON

SWEET ROMANTIC STYLE
by Nami Kagiyama

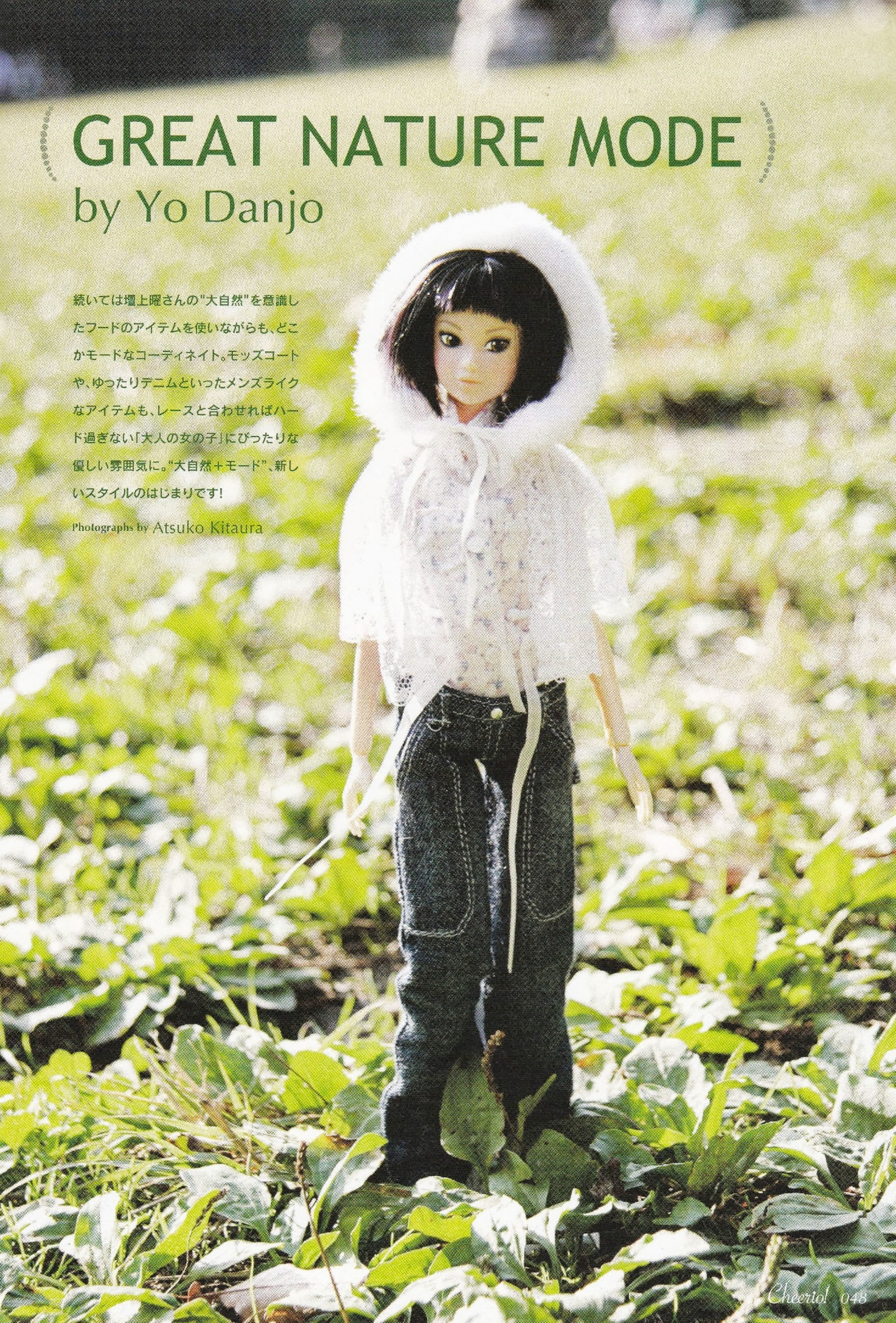
まずは鍵山奈美さんによる"スウィート＆ロマンティック"なコーディネイト。スウィートだけど甘過ぎない、ロマンティックだけど夢見すぎていないスタイリング。この絶妙なセンスのバランスは、私たちのお洋服のコーディネイトの参考にもなるはず。「大人の女の子」ならではのかわいさ、ぜひ取り入れてみてください。

Photographs by Norihisa Yamane



[右ページ]
momoko DOLL本体・26 / インナーに着たタートルネック・23　レースタブリエ、ブーツ・共に20　ハーフパンツ・2　タイツ・18　ロンググローブにしたソックス・1 / ヘアバンドにしたリボン、襟もとにつけたリボン　共にスタイリスト私物
[左ページ]
momoko DOLL本体・2 / 帽子・25　ジャケット・25　デニムパンツ・24　スニーカー・11　トートバッグ・7





GREAT NATURE MODE
by Yo Danjo

続いては壇上曜さんの"大自然"を意識したフードのアイテムを使いながらも、どこかモードなコーディネイト。モッズコートや、ゆったりデニムといったメンズライクなアイテムも、レースと合わせればハード過ぎない「大人の女の子」にぴったりな優しい雰囲気に。"大自然＋モード"、新しいスタイルのはじまりです!

Photographs by Atsuko Kitaura



[右ページ]
momoko DOLL本体・19 / ファーケープ・15　花柄シャツ・2
レースジャケット・24　デニムパンツ・9
[左ページ]
momoko DOLL本体・13 / タートルネック・18　中に着たペチコートドレス・24
ベルト・14　モッズパーカー・12　ハイソックス・11　ブーツ・5



ORIENTAL DRESS-UP

by Kanako Nakamura

ラストを飾るのは、和のアイテムをドレスアップした中村華奈子さんのコーディネイト。堅苦しさを感じてしまう「着物」スタイルに、現代らしい軽やかさと華やかさをプラス。露出過剰になってしまうドレスとは違う、上品な艶やかさを感じる"和風ドレスアップ"。パーティー時のドレスアップ・スタイルに、ぜひ取り入れてみて。

Photographs by Sachie Abiko

[右ページ]
momoko DOLL本体・20 / ベロアケープ、帯の上に巻いたしごき、帯・全て15　ちりめん着物・22　バッグ・10
[左ページ]
momoko DOLL本体・13 / パールチョーカー・16
ふりそで、下駄・共に15　襦袢かわりに着たレースドレス・24
ヘッドドレス、下にはいたレースパンツ・共に20 / インナーワンピース・1
網タイツ・5　バッグ・6 / 帯にしたリボン　スタイリスト私物



LESSON 2 HAIR STYLING

スタイルアップ・レッスン
～ヘアスタイリング篇～



HAIR STYLE 1
50's Girl Style

Cheerio!
STYLE-UP LESSON

おしゃれな洋服に着替えたら、ヘアメイクだっておしゃれにしたくなるのが女心。ドールのメイクアップは少し難しいけれど、私たちがイメージチェンジをするときにまず髪型から変えるように、ドールもヘアスタイルを変えるだけでいつもと違う雰囲気を楽しめちゃうのです。
スタイルアップ・レッスン、続いてはヘアメイク・ナライユミさんが提案してくれた、3種のヘア・アレンジメントのレッスン。イメージチェンジに挑戦です！

HAIR STYLE 3
RELAX & WILD





HAIR STYLE 2
CHIC CHIGNON

Hair Styling by Yumi Narai

Photographs by Hirotaka Yonekura



50's Girl Style

HAIR STYLE 1

～50'sガール・スタイル～

最初のスタイルは、カールした前髪とリボンがポイントの「50's Girl Style」。その名の通り50年代を彷彿とさせるスタイルは、シックな色合いのお洋服にもピッタリ。お気に入りのリボンを用意して、早速チャレンジ！

Model：momoko DOLL ミラクルパーティーガール

Wears：タートルネックカットソー＆ワンピース
momoko DOLL マロングラッセ

HOW TO MAKE
50's Girl Style

人間のヘアスタイリングでは色々なヘアピンを使いますが、今回はヘアピンの代わりに使ったのはペーパークリップ。
この他に、カーラー代わりに使うアメリカンピン（通称アメピン）、リボンとリボンを固定するための虫ピンを準備すればOK。
早速「50's Girl Style」のヘアスタイリングをはじめましょう！

1



前髪をひとつまみ

前髪をつまみます。奥行きがおでこから1cm弱、ヨコ幅は目幅よりも内側くらいの範囲にある髪の量が目安。(好みでボリュームを増やしたり、減らしてもOK)

2



前髪の逆毛をたてる

前髪をつまみ、矢印の方向に向かって櫛をとかして逆毛を立てます。指でつまんだままの状態で、髪が板状に固まっているように感じるくらいまで逆毛を立てましょう。

3





前髪を巻く

逆毛を立てた前髪を、毛先から根本に向かってクルクルと巻きます。今回はカーラーの代わりにアメピンを使用しましたが、細い棒状のものであれば大丈夫。

4



ペーパークリップで固定

前髪を巻いたらカールが崩れないように、そっとアメピンを抜きます。中央の空洞部分と、髪の根本をペーパークリップではさんで、しっかりと固定します。

5



リボンをつける

予め結んでおいたリボンを、虫ピンを使って頭に固定。カールの後ろにリボンがくるように固定するのがポイント。最後に全体を整えれば「50's Girl Style」の完成！

HOW TO MAKE
CHIC CHIGNON

髪を包むネットとリボンの色の組み合わせによって、また違った雰囲気が楽しめるスタイル。
ネットとリボンは手芸屋さんや、雑貨屋さんでお好みのものを見つけてみて。そんなにたくさんの量が必要というわけではないので、
端切れコーナーにあるものでも大丈夫。思わぬ掘り出し物を見つければ、さらに楽しい気分になるかも。

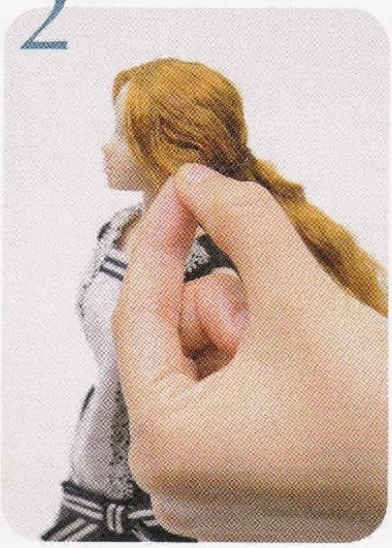
1



髪を束ねる

左右のフェイスライン部分の髪を、耳にかぶるようにして後ろへ流します。えり足近くでひとつに束ね、結びます。

2



髪をゆるめる

結んだ髪からフェイスライン部分の髪を指先でつまみだし、軽くゆるめます。

3



2つに三つ編み

束ねた髪を2つに分けて、それぞれを三つ編みに。編み終えたらサイドで1本にまとめ、ねじりあげて1つにまとめます。

4







ネットで包む

まとめた髪を、写真のようにネットで包みこみます。髪を包みこんだら、ネットの左右の端をつまみ、リボンを結ぶ要領で結びます。

5

リボンを結ぶ

最後にリボンを巻きます。結び目が内側(髪と首の間)にくるように通し、リボンの先が正面からチラリと覗くように結べば「シック・シニヨン」の完成です。



HAIR STYLE 2

CHIC CHIGNON

～シック・シニヨン～

続いてのスタイルは、品の良さを感じさせる「シック・シニヨン」。ちょっぴり"おませさん"な雰囲気を出したいときに、おすすめのスタイル。髪を包むネットの色を金や銀にすれば、ゴージャス感もプラスされます。

Model：momoko DOLL 仔犬と一緒

Wears：ワンピース　momoko DOLL 避暑地のメヌエット

RELAX & WILD

HAIR STYLE 3

～リラックス＆ワイルド～

最後にご紹介するのは、誰でも簡単にできる「リラックス＆ワイルド」。決して凝ったアレンジではないのに、醸し出されるのはワイルド＆ゴージャスな雰囲気。セレブのオフタイムを思わせるようなスタイルです。



HOW TO MAKE
RELAX & WILD

Model : momoko DOLL ミラクルパーティーガール

Wears : タートルネックカットソー＆チェックワンピース
みんなでつくるmomokoドール2006、
アイウェア　momoko DOLL 午後は休講

3つのスタイルの中で一番シンプルな「リラックス＆ワイルド」。用意するのは櫛と、ヘアバンドの代わりに結ぶ細身のリボンだけ。ロングヘア全体に逆毛を立てるスタイルは人間だとかなり手間がかかりますが、1:6サイズのドールだったら気軽にアレンジできちゃいます。自分ではできないヘアスタイルをドールで楽しんでみて。

1



髪をたばねる

前髪とトップの髪は残し、他の髪をポニーテールより少し下の位置で束ねます。この時、サイドからの毛流れがまっすぐ床と水平になるよう流すのがポイントです。

2



オールバックに

残した髪がオールバックになるように、後ろにむかって櫛でしっかりととかします。

3



逆毛を立てる

オールバックにしたら、髪を少しずつつまんで逆毛を立てます。指でつまんだままの状態で、髪が板状に固まっているように感じるくらいまで逆毛を立てましょう。

4

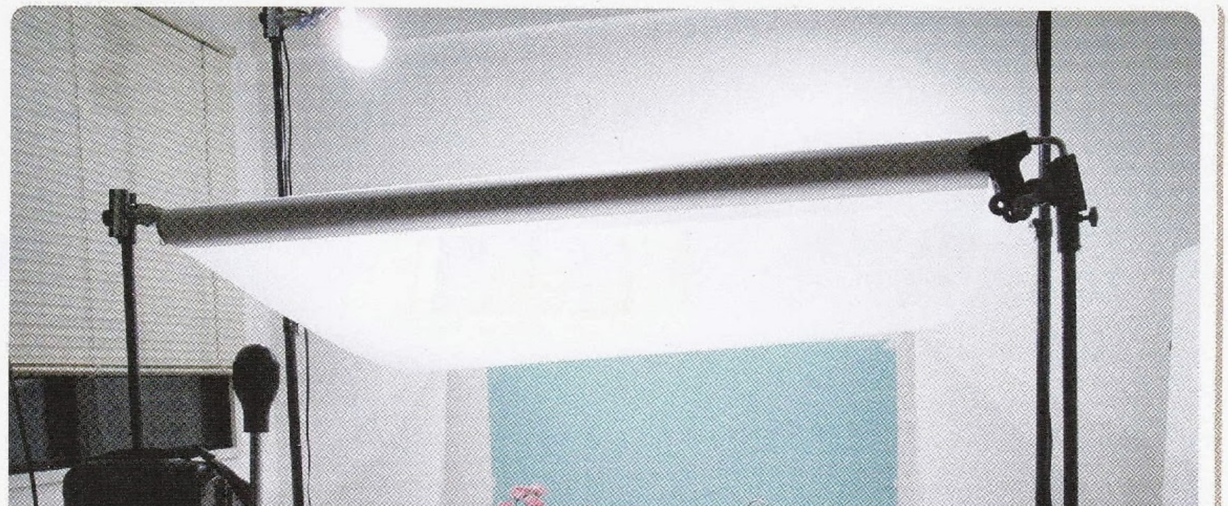


リボンを結ぶ

全体を整え、仕上げにフェイスラインと前髪をおさえるように、細身のリボンをヘアバンド代わりに結べば「リラックス＆ワイルド」スタイルの完成です！

LESSON 3 PHOTO SHOOTING

スタイルアップ・レッスン
～ドールの撮影篇～



Cheerio!
STYLE-UP
LESSON

例えばかわいい友達が、いつもに増してかわいい洋服を着ていてヘアメイクもバッチリきまっていたら、特別な記念日でなくても"かわいいから写真に撮っていい？"と訊いたりしませんか？　そしてドールをかわいくスタイルアップできたら、きっと同じことをドールに訊きたくなるはず！　スタイルアップしたドールの"ちょっと特別な一枚"をよりステキな形で残すために、レッスン３ではmomoko DOLLオフィシャルカメラマン・米倉裕貴さんによるプチ撮影講座を展開。
まず最初の２ページでは撮影の基本・ライティングについて、続く２ページではmomoko DOLLをモデルにした撮影プチテクニックを米倉さんが直々に伝授。お気に入りのドールの、お気に入りの一枚。ぜひあなたの手で撮影してみて！







『チェリオ！』のカバーは、こんな雰囲気の中で撮影が行われました。カバーとは違う角度からシャッターを押すと、ひとあじ違う雰囲気の写真に。小道具にお菓子をたくさん使ったので、甘〜い香りに包まれながらの撮影でした。

Photographs by P60〜P63 by Cheerio! / P64〜65 by Hirotaka Yonekura

まずはカメラのご用意を。
オススメは「ドキドキ感」を味わえるデジタル一眼レフ

『チェリオ！』のカバーや誌面をはじめ、momoko DOLLのオフィシャル写真、『ドール・コーディネイト・レシピ』シリーズなど、あらゆるところで素敵なドール写真を撮影しているカメラマン、米倉裕貴さん。米倉さんに"ドールライフ・ビギナー"の私たちでもドールの写真を素敵に撮影する秘訣を教えてもらいました。

「まず、何よりもカメラの用意を。僕が普段、撮影に使っているのは商業用のデジタル一眼レフ。皆さんがドールの撮影をするときは、液晶モニターを覗きながら撮影をするコンパクトタイプのデジカメでももちろん問題ないのですが、個人的にはデジタル一眼レフをオススメしたいですね。一眼レフだと撮影するものにあわせてレンズが交換できるし、レンズのクセを活用して撮影を楽しむことができます。あと一眼レフはファインダーを覗きながら撮影をするので、写真のイメージが作りやすいというのもあります。そしてファインダーを"覗く"ときに感じる、ちょっと"覗き見"しているようなドキドキ感（笑）。これは一眼レフならではの楽しみですね」



米倉さんが撮影を手がけているドール服の型紙ブック『ドール・コーディネイト・レシピ』シリーズ。第5巻では、表紙を撮影するために、なんと屋久島まで行ったとか！米倉さんのドール写真に対するこだわり＆愛情を感じさせる、素敵なドールの写真がいっぱいのシリーズです。

Dolly*Dolly Books『ドール・コーディネイト・レシピ』1、3～5（グラフィック社刊）　各定価：本体 ¥1,500（税別）

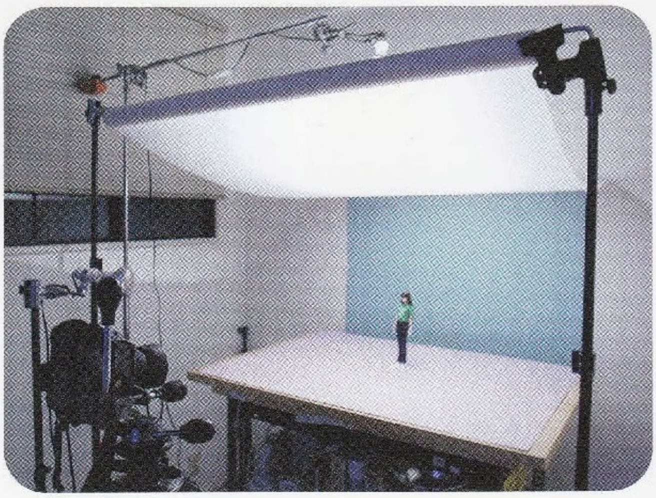
～ライティング～
ドールを輝かすライティングは"空と太陽"をイメージして！

「続いては室内で撮影するときのライティングの方法です。まずドールの頭上から照らす光となる『トップライト』をつけます。このとき、ライトとドールの間にトレーシングペーパーをいれて光を『ディフューズ（＝拡散）』させましょう。これによって光源が"点"から"面"となり、光が広くやわらかくドールにあたって、髪の毛に"天使の輪"ができます。

次にドールの横から照らす光となる『サイドライト』をつけます。この時もトレーシングペーパーでディフューズしましょう。

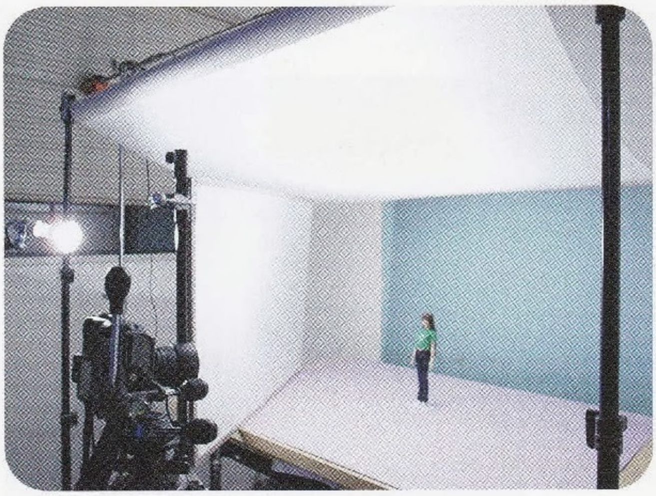
僕はトップライトが"空の光"で、サイドライトが"太陽の光"とイメージしてライティングをしています。トップライトのなだらかなグラデーションの光だけだと曇り空の下にいるようなものなので、サイドライトを太陽と考えて、太陽の光をポイントに加えるという考え方をしています。

最後に『レフ板』を用意。柔らかい光で照らすライティングを補うのがこのレフ版ですが、白くて光を反射するものであれば、板でも布でも構いません。色々なところにレフ板を置いてみて、一番気持ちよくドールにライトが当たると感じる位置を探し、見つけたらそこに固定します。これで室内撮影のライティングの準備は終了です！」



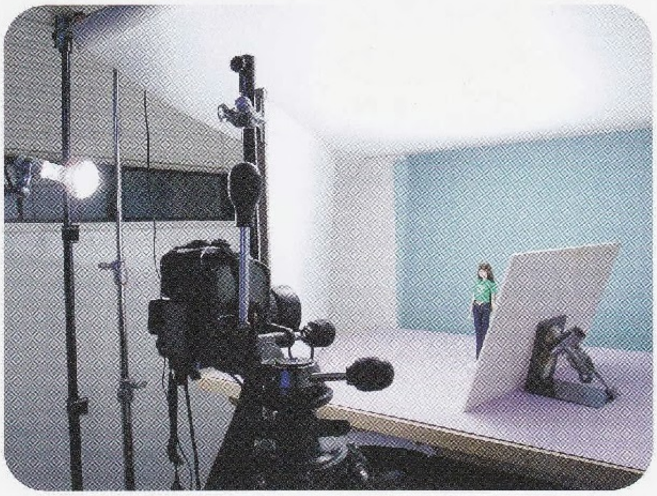
STEP1
TOP LIGHT

まず最初は"空の光"となるセッティング。ご覧のようにドールの上にライトを設置し、ライトとドールの間にトレーシングペーパーをいれます。光がディフューズされ、面光源になってドール全体に光が当たっているのがよく分かります。でもまだ"曇り空"なので、ちょっとうす暗いですね。



STEP2
SIDE LIGHT

次にサイドライトを設置。"太陽"がプラスされ、一気に明るくなりました。サイドライトを設置する位置は左側でも右側良いのですが「ほとんどのmomoko DOLLは瞳が右を向いているので、左から当てると黒目にハイライトが入りにくくなるのでオススメです」と米倉さん。
「ブライスのように目がくぼんでいるドールのときは、カメラの手前に鏡などを置き、目に光が当たるようにするとかわいく撮影できますよ」なるほど、奥が深い！



STEP3
REFLECTOR BOARD

最後にレフ板で光を補います。レフ板を置くポジションを探す時のポイントは「レフ板をサッと入れて、サッと抜く。こうするとレフ板がある状態と、ない状態のメリハリがつくので最良のポジションを見つけやすいですよ」。ドールにきれいに光をあてるポジションを見つけたら、ブックスタンドなどを使ってレフ板を動かないように固定しましょう。固定したらライティング、終了！　いよいよドールの撮影に入ります！



～ポージング～
背景を意識しながら背筋が通っているように！

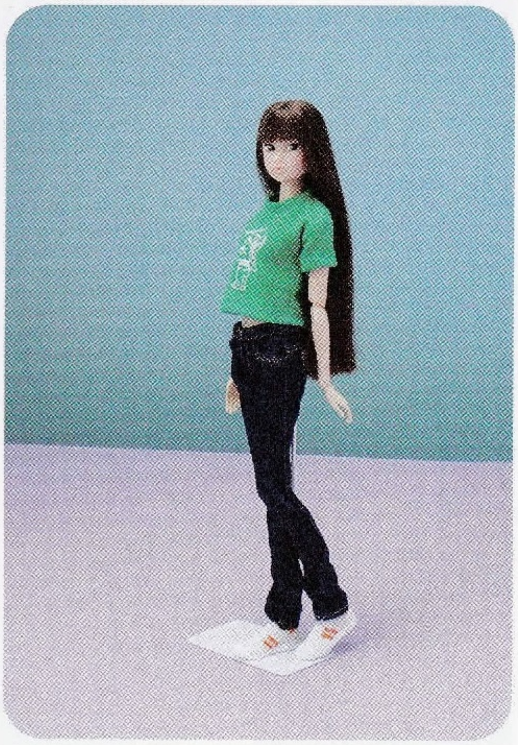
ライティングが完了したら、実際にドール置いて撮影です。モデルは表紙にも登場している「Wake-Up momoko DOLL WUD001」（Wake-Up momoko DOLLファッションセット WUF001着用）。

「まずは芯（背筋）が通って立っている感じが出るように立たせましょう。猫背になったり、背中が反らないように気をつけて。そして背景を意識しながら、置く場所を決めましょう。ただの棒立ちだと味気ないので、ちょっとポーズもつけてあげましょう。momoko DOLLの場合は、ちょっと片足を浮かしてあげてもカワイイです」と米倉さんがポージングしてくれたのが下の写真。うん、確かにカワイイです！

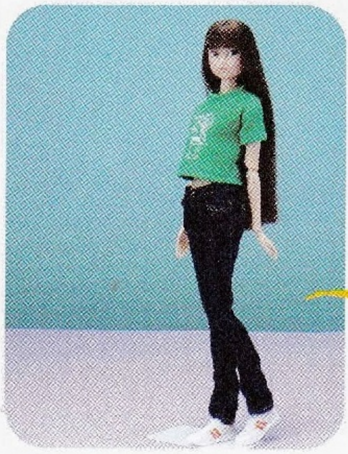
またポージングをするとき、momoko DOLLや関節が多いドールの場合は、関節が変な向きになっていないか、人間ではありえない方向に曲がっていないか、撮影前にチェックすることをお忘れなく！

ポージングが決まったら、撮影開始！

「目線をドールと同じ高さにすると、一番かわいく撮影できます。あと構図に困ったら、ナナメにしてみましょう。これだけで写真の見え方がガラリと変わりますよ」



まずはドールの正面から撮影。2色使いの背景も写って、カワイイです。でもスタンダードすぎて、つまらない？　全く同じ状態で、同じカメラでも米倉さんが撮影すると……左の3点のようになりました！



まずは目線を下げて、少しあおるように撮影。すらりとしたmomokoの脚が、さらに長く！　スタイリッシュな雰囲気がプラスされます。人間を撮影するときにも有効なので、脚長写真を撮りたいときにオススメです。



今度は構図をナナメに。背景のラインもナナメになり、動きを感じさせる写真になりました。全体的な雰囲気も、シャープになったように思いませんか？　"困ったら、ナナメ"のテクニック、どうかお忘れなく！



ナナメの状態のまま、momoko DOLLの顔にズーム。正面から撮影した時よりも、さらにキリリとした表情に。ちょっと角度を変えるだけでドールは表情が変わるので、色々と試してお気に入りの角度を見つけてみて！

～ぼかしのテクニック～

ぼかし＆ピント外して奥行きのある写真に！

最後は「ぼかし」と「ピント外し」のテクニックを使った写真をご紹介。"テクニック"といっても、そんなに難しいことではないのでご安心を。ちょっと工夫するだけで写真に奥行きがプラスされ、"世界"を感じさせる一枚に！　どうしても平面的な写真しか撮れない……とお悩みのときは、ぼかし＆ピント外しのテクニックを取り入れてみて。



まず少しmomoko DOLLから離れた場所に、表紙の撮影に使った姫リンゴを配置。少しあおるような構図にして、手前の姫リンゴにピントをあわせて撮影すると……遠くからmomokoがこちらを見ているような写真に！　映画のオープニングみたいに、何かが始まる予感を与えてくれます。



少し姫リンゴに近づき、今度はmomoko DOLLの顔にピントをあわせて撮影。写真の"主人公"はモデル、ということがハッキリと分かるカットに。物語が既にスタートしている、映画のワンシーンのような雰囲気が感じられます。



今度はmomoko DOLLと姫リンゴをさらに離して、手前の姫リンゴにピントをあわせて撮影。モデルがどんな空間にいるかが分かりやすい写真になりました。シチュエーションを、ハッキリとではなくイメージ的に出したいときにオススメです。





最後にmomoko DOLLのポーズを変えて撮影。スタンドから外して、地面に座らせます。正面から見ると右のようなカットに。ここで目線をmomoko DOLLの高さにし、顔にピントをあわせて撮影すると……左のように、奥行きを感じさせる写真に！　"どんな世界にこのモデルさんはいるんだろう？"と思わせる、印象の強いカットとなりました。

～最後に……～

まずは友達と一緒にロケ撮影からチャレンジ！

米倉さんによる写真撮影レッスン、お楽しみいただけましたか？"ライティングがちょっと難しいかも"という人は、まずロケ撮影にチャレンジを！

「天気の良い日に外で撮影する場合は、レフ板、ドールを固定したりする為の両面テープ、ヘアスタイルを整える為の水さえあれば大丈夫！　スタジオ撮影の楽しさを"5"とするならば、ロケ撮影の楽しさは"10"(笑)。色々なシーンが撮れるので、頭が堅くならずに楽しい気持ちで撮影できますから。あと仲間がいると、友達にドールを支えてもらっている間に自分が撮影したりと、連携プレーができるので、さらに撮影が楽しくなりますよ。ぜひ皆さんに一度、友達とドールと一緒にお出かけしてロケ撮影を体験してみて欲しいですね。クセになってしまうほど、ロケでのドール撮影は本当に楽しいですから」

もっとドールの撮影方法について知りたい人は、momoko　DOLLオフィシャルサイトで連載中の米倉さんの写真コラム「カメラマンの気まぐれコラム」をどうぞ！　楽しくドールの撮影についてお勉強できます。



momoko DOLLオフシャルサイト
http://www.momokodoll.com/

＊コラムをお楽しみいただくには会員登録（無料）が必要です。

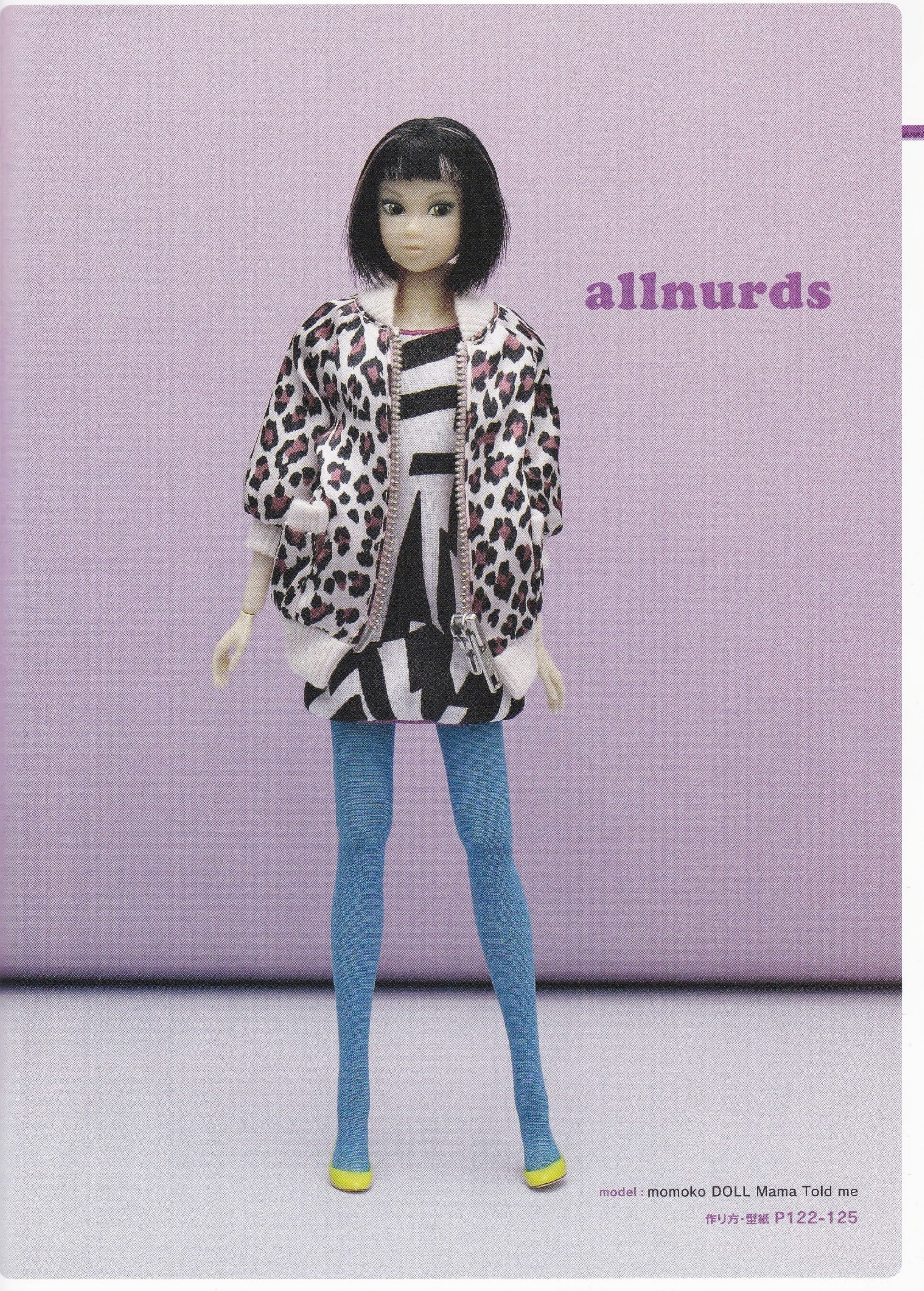
Cheerio!
チェリオ!

DRESS-UP LESSON
ドール・コーディネイト・レシピ LIGHT



子供の頃「お人形遊び」の延長で、空想のファッション画を描いて遊んだ記憶はありませんか？ 何でもできる「大人」となった今、"空想"は"現実"に変えて、ドレスアップを楽しみましょう！
おしゃれなリアルクローズの魅力はそのままに、サイズだけを1：6スケールにした型紙ブック『ドール・コーディネイト・レシピ（DCR）』シリーズ。このDCR『チェリオ！』バージョンをここからはお届け。
8人の人形服作家さんに"ドールライフ・ビギナーの私たちでも作れるものを"とオーダーしたところ、ご覧のファッションを提案してくれました！ 巻末にプロセスを丁寧に解説した型紙も用意しましたので、まずはドレスアップにチャレンジを。そして「もっとドレスアップを楽しみたい！」と思ったら、ぜひ本家DCRシリーズをチェックしてみて！





allnurds

model : momoko DOLL Mama Told me

作り方・型紙 P122-125

allnurds Works









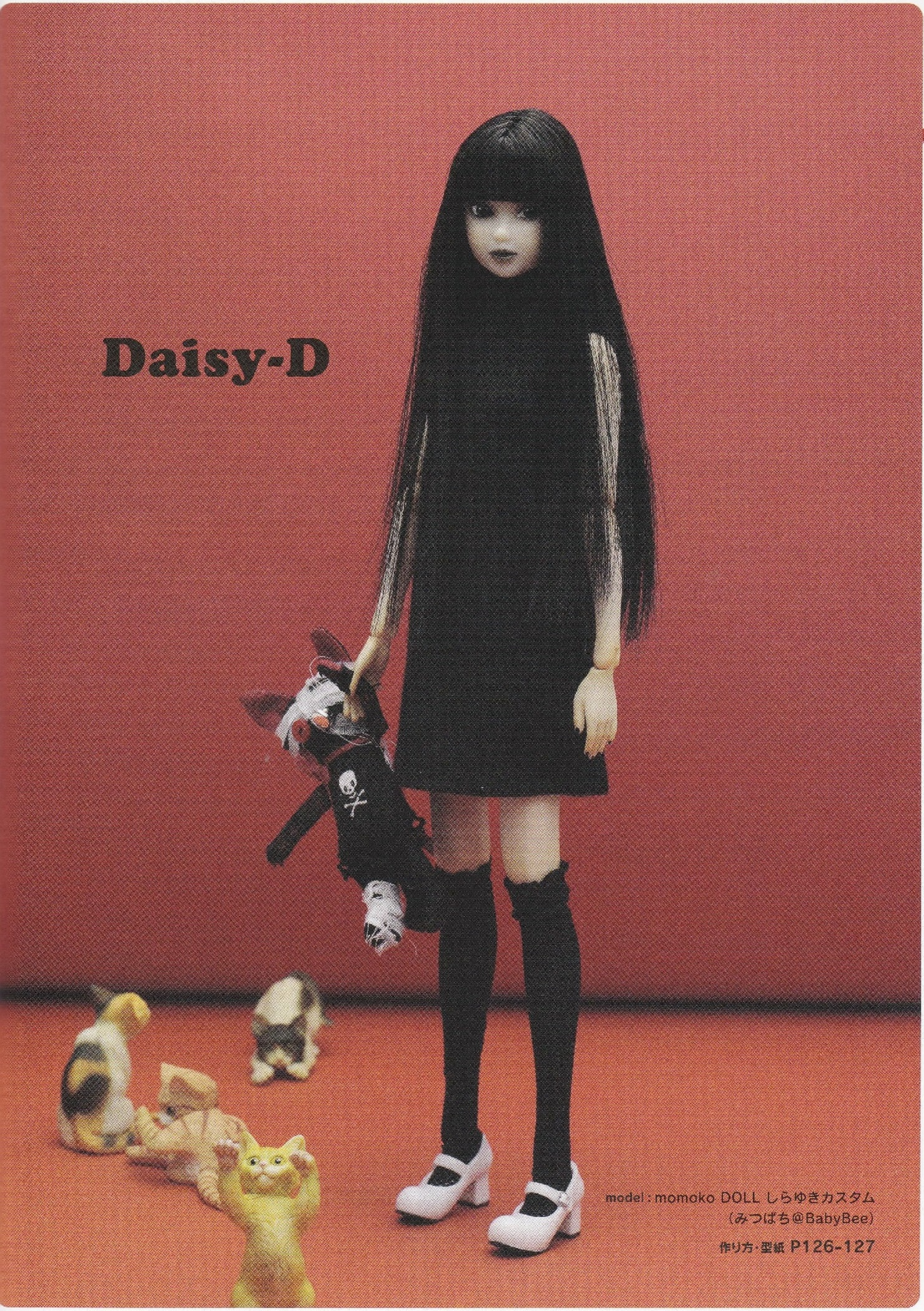


内山順子(allnurds)

服飾専門学校を卒業後、アパレルメーカーにパタンナーとして就職。後にフリーとなり2001年より「allnurds」として関西を中心に活動を開始。大阪らしいパンチの効いたテイストのお洋服を展開しつつ、現在は東京でも活躍の場を広げている。

http://allnurds.com/

Daisy-D

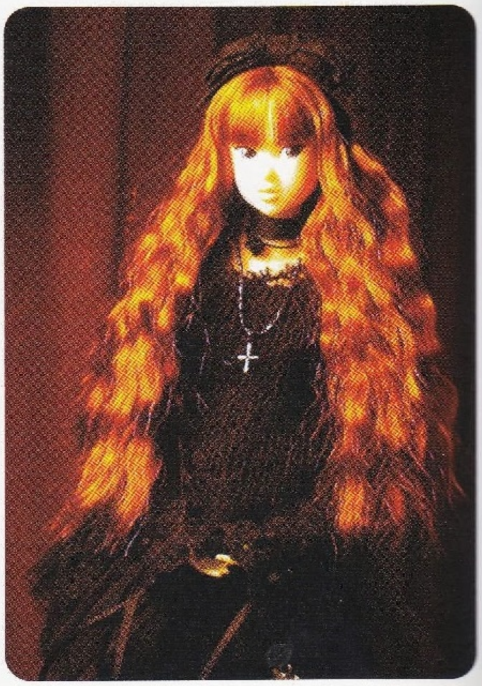


model : momoko DOLL しらゆきカスタム
（みつばち@BabyBee）

作り方・型紙 P126-127

Daisy-D Works







えびねひろこ(Daisy-D)

ロックテイスト溢れる着せ替え人形作家。人形活動チーム「LW DOLLS」のメンバーとして活動しながら、
個人ブランド「Daisy-D」としてドールイベント等に参加。2002年「Daisy-D」デザイン「momoko ver.02DD」発売。
2004年「LWDOLLS」デザイン「momoko ver.04 ANlw」発売。「ドール・コーディネイト・レシピ ③ イノセント・ガールズ」著者。

http://yaplog.jp/daisy_d/



QP

model : momoko DOLLカスタム（松石翠）

作り方・型紙 P128-129

QP Works











おかかずみ(QP)

文化服装学院卒業後、アパレルメーカー勤務を経て、フリーのパタンナーに。2003年、momokoドールの繊細な衣裳に出会いドール服の製作を始める。
現在はセキグチから発売しているmomokoドールの衣裳デザイン＆パターン作成を中心に活動中。
「ドール・コーディネイト・レシピ⑤ ノスタルジックベーシック」著者。

http://www.geocities.jp/q_pcollection/

KANIHORU

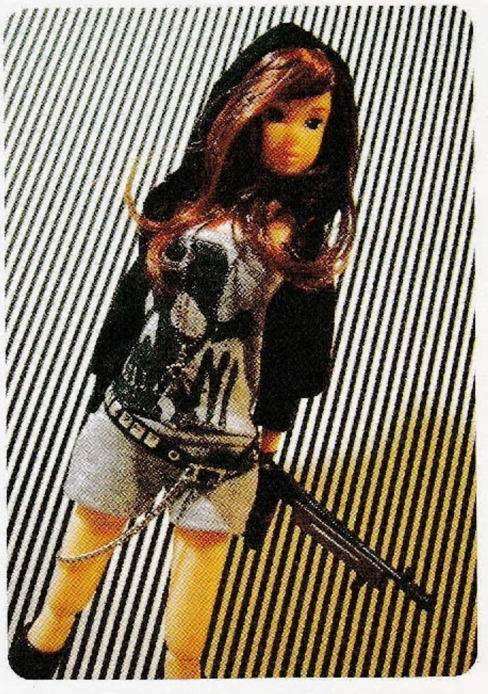


model : momoko DOLL 避暑地のメヌエット

作り方・型紙 P130-131

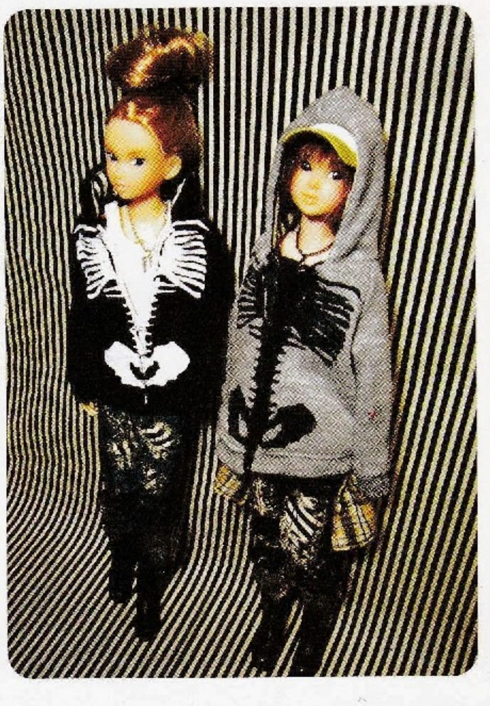
KANIHORU Works











カニホル

2002年22cmドールに出会ったことがきっかけで人形服作りがスタート。
以後ドールイベント、webサイト、ドールショップ、東京タワー蝋人形館での個展などで自作のお洋服を発表している。
2008年2月自身の作品集「ドール・コーディネイト・レシピ⑥カラフルパレード」を発表予定。

http://kanihoru.boo.jp/

salon de monbon



model : momoko DOLL 水色ラビリンス

作り方・型紙 P132-133

salon de monbon Works









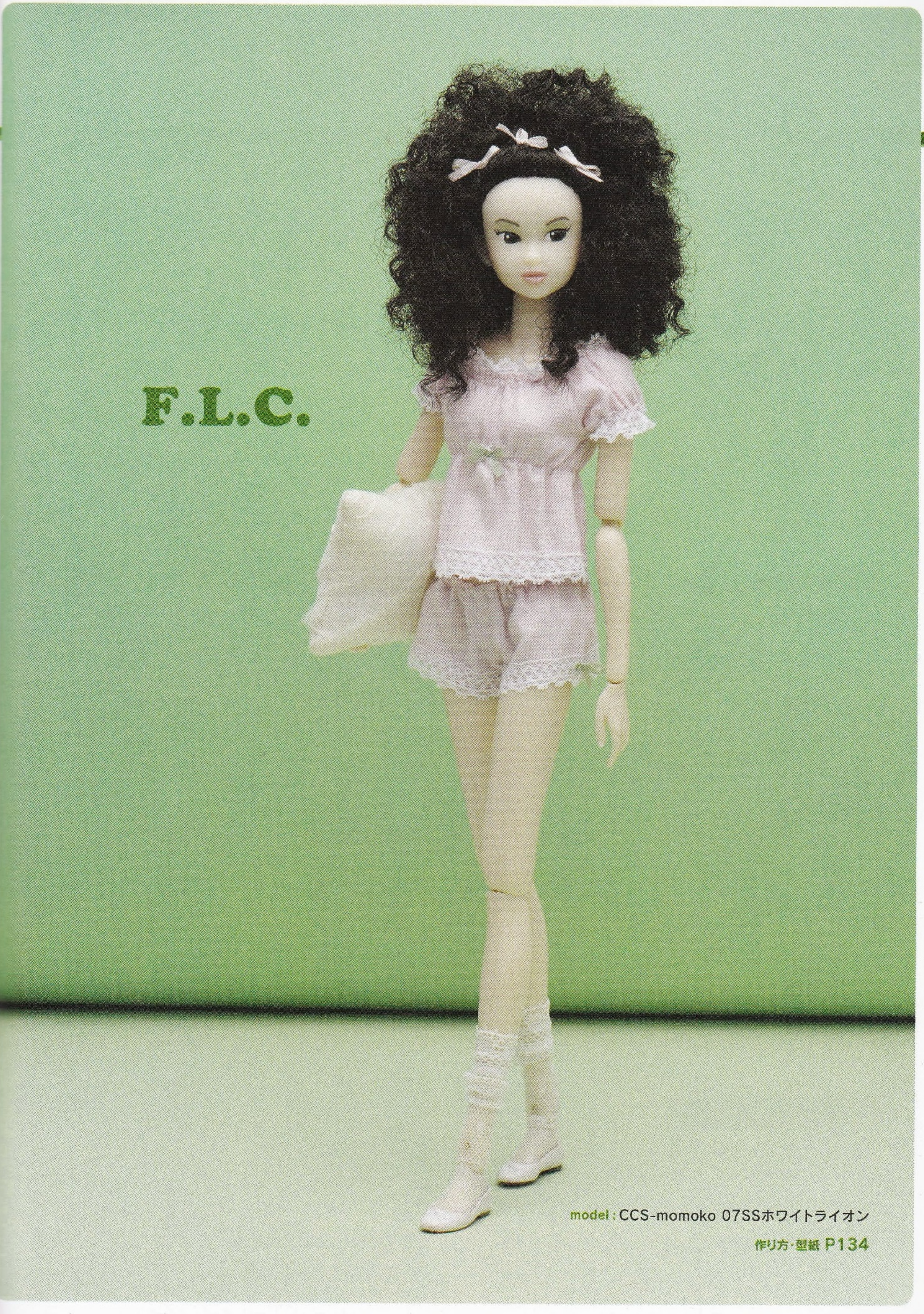


salon de monbon

2001年よりドール服の製作を開始。22cmドール＆momokoドールサイズ用の
「salon de monbon」を中心に、着物の「もん屋」、タイニーベッツィー用の「ちび屋」を展開。
上品な女の子らしさをコンセプトに、コーディネートを楽しめるお洋服作りを目指している。

http://mondo-ane.cool.ne.jp/sdmonbon/sdmbtop.html

F.L.C.



model : CCS-momoko 07SSホワイトライオン

作り方・型紙 P134

F.L.C. Works











関口妙子(F.L.C.)

プティート・サイズ・デザイナーとしてPetWORKs、セキグチ、アゾンインターナショナル他で衣装のデザイン＆パターンを手掛けつつ、
新宿髙島屋での1:6人形服の販売や、オリジナル衣装の製作を行っている。
「ドール・コーディネイト・レシピ①リアルクローズ、④ロマンティック・ガーリー」著者。

http://www.geocities.jp/flc022

...★charm_bus★...

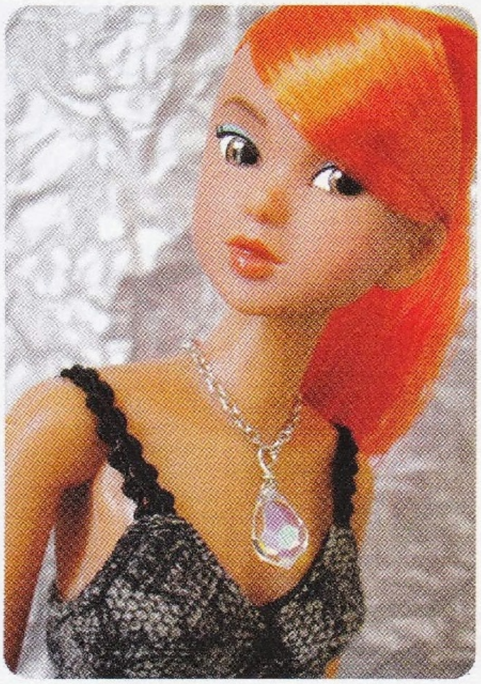


model : CCS-momoko 06SS クールホワイト

作り方・型紙 P135-136

…★charm_bus★… Works











…★charm_bus★…

2002年に22cmサイズのドールと出会い人形服作りをスタート。
「コーディネイトを考える」という着せ替えの醍醐味を原点に、毎回テーマを持った新鮮なアウトフィットを作ることが目標。
ジャンルに囚われず、常に新しいものにチャレンジするように心がけている。

http://members.jcom.home.ne.jp/charm_bus/

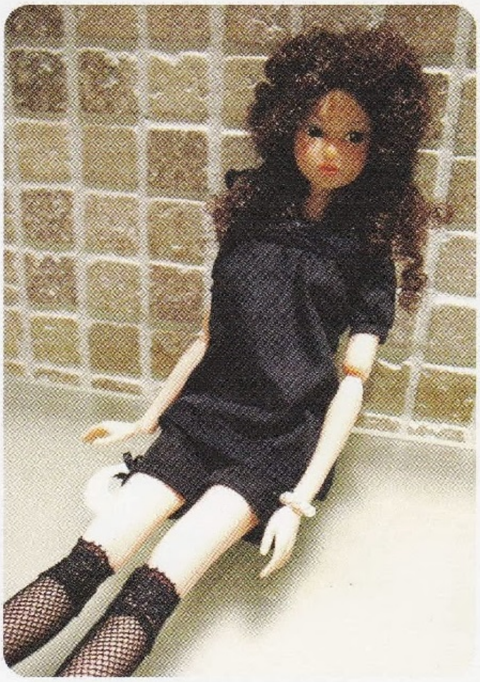


Be Free*

model : momoko DOLL ゲットレディ・サマー

作り方・型紙 P137-139

Be Free* Works




Be Free* MINAMI

1998年より人形イベントに参加。以後、年に3～4回のペースで出店しているが、現在の本業は洋服作りとは全く繋がりのない仕事をしている。時代の空気を取り入れながらスタンダードなナチュラル服を製作する人気のディーラー。momokoドールと22cmサイズのドールが好き。

http://www2u.biglobe.ne.jp/~syaranra/

ORIGINAL ITEM CATALOGUE





volumed jumer (front / back)



long socks

allnurds

patterns : page 122 - 125





balloon one-piece (front / back)



simple one-piece (front)



socks

Daisy-D

patterns : page 126 - 127



socks



smock blouse (front / back)

F.L.C.

patterns : page 134



flared pants (front / back)



skarf

KANIHORU

patterns : page 130 - 131



socks



sweat one-piece (front / back)

...★charm_bus★...

patterns : page 135 - 136

all-in-one (front / back)









high-necked cut-sewn (front / back)

leg warmer



cap



under skirt



camisole one-piece (front / back)





leggings



bare top



Be Free*

patterns : page 137 - 139

wear & item catalogue

momoko DOLL ウェア&アイテム

ドレスアップ・レッスンの最後にお届けするのは、これまで発売されたmomoko　DOLLのセットからセレクトしたウェア＆アイテムをテイスト別にご紹介するカタログ。色々な雰囲気のmomoko DOLLがいるように、彼女たちのウェア＆アイテムのテイストも実に様々！　個別発売されていないアイテムもありますが「このお洋服には、このアイテム！」と脳内コーディネイトを楽しみながら、ドレスアップ・テクニックをアップしてみて！

Photographs by Hirotaka Yonekura

ROMANTIC

思わず「かわいい～♡」と声に出してしまいそうなほどキュートなウェア＆アイテムたち。普段はジャケットや上着のインナーになっているため目立たない存在のものも多いですが、単体で見るとハートを射抜かれちゃうほどかわいいものも！ だけど子供っぽい"かわいい"にならないところがmomoko DOLLのウェア＆アイテム。いつものスタイリングに少しだけ甘さをプラスしたいときにも活躍してくれそうです。



左上より時計回りに、レース付きタートルネック（みんなでつくるmomoko DOLL 2006）、
ノースリーブブラウス（バニラウエハース）、麦わら帽子／ワンピース／レースソックス／ホワイトブーツ（全て 避暑地のメヌエット）、
リボンサンダル（バニラウエハース）、バッグ（Groovy Baby）

CASUAL

ほど良いフレッシュな印象をプラスしてくれる、カジュアルなウェア＆アイテム。たまにはちょっと着崩したスタイルも楽しみたい、という方にもオススメです。カジュアルだけど品の良さも感じさせる、そんなところにmomoko DOLLのこだわりが垣間みえるはず。「もう大人になったから……」と、大好きだったカジュアルスタイルを“卒業”した人も、時にはmomoko DOLLでカジュアル・スタイルの楽しさを思い出してみては？



左上より時計回りに、トートバッグ（スクールガールミックス）、キャップ（ぽっかりオフタイム）、ピンクパーカー（グリッターナイト）、ハーフパンツ（午後は休講）、デニムスカート（ぽっかりオフタイム）、スニーカー【白】（午後は休講）、スニーカー【緑】（ぽっかりオフタイム）、タートルネック（カフェオレに角砂糖）、モンチッチ・ノースリーブ（スクールガールミックス）

SEXY & CUTE

「セクシーなウェアにも興味はあるけど、ギャルっぽい雰囲気にはどうしても抵抗が……」という悩みを抱えている"大人女子"は、一体どれほど世の中にいることでしょう？　そんな方々にぜひオススメしたいのが、ご覧のセクシー＆キュートなmomoko DOLLのウェア＆アイテム。セクシーなだけでなく高級感もあるので、ギャルっぽくならないのがウレシイところ。品の良さも"モテ度"もアップしてくれる、一石二鳥なアイテムです。



左上より時計回りに、ノースリーブブラウス／ゴールド・バッグ（共に ナイン・トゥ・ファイブ）、ベロアバッグ（ミラクルパーティーガール）、
クラッチバッグ（ゲットレディ・サマー）、豹柄ニーハイソックス（Mama Told Me）、花柄ノースリーブドレス（最愛デニムエンジェル）、
ホワイトロングブーツ（ドラマティック・ブライド）、豹柄リボン付ミュール（グリッターナイト）、ブラウンミュール／タイトスカート（共に　ナイン・トゥ・ファイブ）、
豹柄キャップ（I Wanna Be a BOY）、三連パールネックレス（バニラウエハース）

TRAD STYLE

女の子のスタイリングで意外と難しいのがトラッド・スタイル。タータンチェックで上品にコーディネイトしたのに「ちょっと堅いかな？」と着崩した途端、パンクルックになってしまったという悲劇を体験したことがある人も多いはず。momoko DOLLにはカッチリしたものからソフトなものまで、色々なトラッド・テイストのアイテムもあるので、トラッド・スタイルに再挑戦したい人はぜひチェックしてみてください。



左上より時計回りに、ニットカーディガン／中に着たシャツ（共に ソッコー下校）、ストラップシューズ（マロングラッセ）、
マフラー（カフェオレに角砂糖）、ハンチング（ワイルドセクシーチューン）、トレンチコート／ロングブーツ（共に カフェオレに角砂糖）、
ハイソックス（GO FOR VICTORY!!!）、タータンチェックスカート（スクールガールミックス）

REAL DRESS-UP

着せ替え人形の「ドレス」というと"子供が夢見るお姫さま"モードだったり、"子供が夢見るお嫁さん"スタイルばかりで、大人になった今から見ると現実にはありえないものがほとんど。でもmomoko DOLLの「ドレス」はご覧のように、どれもリアルなドレスアップ・スタイル。あなた自身もドレスアップする機会が多いパーティー・シーズン、momoko DOLLと一緒にドレスアップすれば、さらに楽しい気分を味わえるかも？

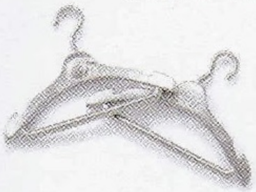


左上より時計回りに、ショートジャケット（ミラクルパーティーガール）、ロングマフラーにも使えるしごき（しらゆき）、
ビンテージ風ワンピース／レースアップサンダル（共に ゲットレディ・サマー）、
ウェッジソールパンプス（Groovy Baby）、ブーケ（ドラマティック・ブライド）、ピンクドレス（ミラクルパーティーガール）、
ストラップシューズ（スウィートプードル）

ドールの周辺

一見、ドールの世界とは無関係に存在するmomokoドールの周辺グッズ。意外と魂焦がして作っています(笑)。僭越ながら、momokoのマネージャーが周辺グッズというフィルターを通したmomokoの歴史を駆け足で紹介させていただきます。押忍。

2001年 12月



1:6ハンガーセット 609円

ペットワークス・ミニチュア魂炸裂第1弾。「着せ替えといえばハンガーでしょう。」と意気込んで制作してしまった一品。2個セット。

2001年 8月



DOLL HEAD EXHIBITION 2001 ポストカード

ラップネットシップでの個展DM。すべてはこの日からはじまった。2001年8月11日はmomokoの誕生日。

2002年 4月



原美術館チラシ

原美術館から依頼の米倉裕貴氏初momoko写真。当時はまさかオフィシャルカメラマンになるとは夢にも思わなかったに違いない。

2001年12月



1:6ダンボール 504円

ペットワークス・ミニチュア魂炸裂第2弾。「やっぱりダンボールは欲しいよね。」と意気込んで制作してしまった一品。2個セット。

2002年 8月



大作戦Tシャツ 3,000円

お買い物大作戦よりデザイナーとして「POSITRON」が参戦。文字でmomokoがかたどられた、男女が兼用できるデザイン。

2002年 8月



大作戦団扇型フライヤー

真夏に行われたラップネットシップの展覧会で制作したCDサイズのフライヤー。実際団扇として使用されたかどうかは不明。

2002年 4月



原美術館パンフレット

ハラドキュメント7:完成で未完成で…着せ替え人形<桃子>のパンフレット。1:6と1:1と6倍が共存する空間を表現。

2002年 4月



原美術館ポストカード

原美術館には着せ替えコーナーが設置され、「王様のブランチ」の取材なども受けた。ここから私もmomokoプロジェクトに参加。

2003年3月



桃魂フライヤー

渋谷パルコ・ロゴスギャラリーの「アニミズム」をテーマにした展覧会「桃魂」のB4・8つ折フライヤー。「POSITRON」デザイン。

2002年 12月



1:6ダンボールチェア

「FINAL HOME momoko」を買うともれなくもらえたダンボールチェア。「FINAL HOME」の通常商品としてラインナップ。

2002年 8月



ブリスター台紙セット 各1,050円

右記のブリスターの2枚組別売バージョン。米倉氏の写真Ver.、ささこ氏、深谷友一郎氏のイラストVer.合計7セットを制作。

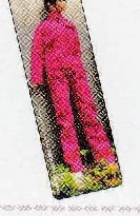
2002年 8月



ブリスターパックセット 3,150円

ドールを飾っておく時に「洋服と同様に背景も着せ替えられたら。」という視点で制作したブリスターパックセット。台紙4枚入り。

2003年 8月



C3用栞(しおり)

momokoのファンは「読書率」が高いという予測で制作した「栞」第一弾。C3会場で配布。これ以降何度となく栞を制作。

2003年 8月



フリーペーパーDH

03ANのテーマは「働く女性」。その働く女性をテーマに制作したフリーペーパー。表紙は女子プロレスラーの「お船ちゃん」。

2003年 3月



ROUROUドールバッグ

「ROUROU」デザイン。展覧会「桃魂」で販売。momokoが5体きれいに収納できる、人形ものの実用性を考えた優れものバッグ。

2003年3月



FINAL HOME Tシャツ

ファッションブランド「FINAL HOME」から提案された、1:6サイズのmomokoTシャツの型紙がプリントされた人間用Tシャツ。

2003年10月



momoko with
サクラ クーピーペンシル 1,050円

HPで偶然ネーミングに「革命」という意味が込められていることを発見し、すかさず「サクラクレパス」に突撃電話をして制作。

2003年10月



あなたが作るmomoko
ぬりえノートブック 525円

展覧会に合わせて「大人のぬりえ」本を制作。イラストレーションは当時ベルギー在住のアジサカコウジ氏。

2003年10月



ぬりえ型フライヤー

ロゴスギャラリーの展覧会「DAYDREAM BELIEVER~記憶~」用のフライヤー。これ自体がコンテストの応募用紙になっていて会場に展示。

2003年8月



1:6パイロン 1,029円

ペットワークス・ミニチュア魂炸裂第3弾。「働く女性といえばパイロンでしょう。」と意気込んで制作してしまった一品。3個セット。

2005年4月



momoko DOLLショッピングバッグ

セキグチからメジャーデビューするにあたり一番最初に制作した販促物。実は2種制作され、キディランド版は側面がピンクだった。

2004年4月



HAPPY OUTSIDER!
ダンボール 500円

ロゴスギャラリーの展示で使用した、白地に白の桃マークを印刷したダンボールを少量販売。正直販売していたことも忘れていました。

2004年4月



HAPPY OUTSIDER!ポストカード

インディーズmomoko最後の展覧会「HAPPY OUTSIDER!」告知用。ヨネクラ写真事務所で本撮影終了後に偶然撮れた1枚。

2004年1月



ROUROUmomokoバッグ

「ROUROUmomoko」お買い上げでプレゼントされた、momokoの箱がぴったりと入るバッグ。桃マーク入り。

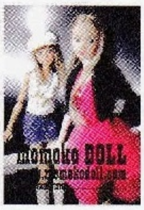
2006年11月



しらゆき百人一首カード

カンバラクニエのイラストレーションが描かれた百人一首モチーフのカード。「しらゆき創作コンテスト」を告知。

2005年11月



ポストカード

都内各所のカフェ＆レストラン、書店などで配布のフリーのポストカード。とにかく置いてもらう為に突然お店に飛び込むゲリラ作戦を展開。

2005年4月



idol写真集 500円

当初米倉氏はサイパンに行く予定だったが、火山灰で着陸できず成田で足止め。その日のうちに翌日のグアム行きのチケットを渡した。鬼だ。

2005年4月



idol展 ポストカード

メジャーデビュー＝アイドル化という概念で制作した展覧会。当時上戸彩さんや後藤真希さんのイラストを描いていた江口寿史氏に依頼した。

2006年11月



エコバッグ

「Mama Told Me 伊勢丹 Ver.」に付属したエコバッグ。おなじみのチェック柄を使い、最速で完成させたmomoko周辺グッズ。

2006年11月



新宿伊勢丹CCシンデレラシティ カタログ

新宿伊勢丹でのカタログ。伊勢丹創業120周年を記念し、各ブランドのmomokoドールが各12万円で抽選販売された。

2006年8月



GAINAX レンチキュラー

私の悲願、レンチキュラーをGAINAXバージョンの告知カードで実現。ワンフェスで配布。下に傾けるとmomkoドールが現れた。

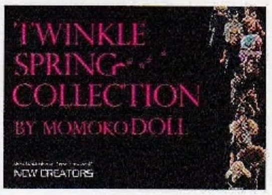
2006年5月



セキグチドール★オールスターズ 栞

マルイワン新宿のイベントで配布したセキグチドールの紹介栞。この時からセキグチドールの一員としての活動を行う。

2007年12月



ニュークリエーターズ カタログ

新宿髙島屋で実施したモードなカタログ。ランウェイを歩く14人のmomokoドールを撮影。この為、米倉氏は事務所で合宿を敢行した。

2007年4月



STYLE&EDIT カタログ

「STYLE&EDIT」新宿店の07SSカタログ。読み物形式で各ブランドを紹介。ブランドさんからのmomokoドールに関するコメント付。

2007年4月



STYLE&EDIT 栞

GWに新宿髙島屋で実施の「STYLE&EDIT× F.L.C. with momoko DOLL」告知用栞。ドールショウ他で配布。

2006年11月



はじめてのmomokoドールの遊び方

「momoko DOLL」を知らない人に向けて遊び方を紹介。今回の「チェリオ!」が生まれるきっかけになったアイテム。

Doll-Life * * *



For more Happy

DOLL-LIFE COLUMNS

COLUMN 1
HANDBOOKS FOR DOLL-LIFE

COLUMN 2
SHOP OF SMALL ITEMS

plus

DOLL CORDINATE RECIPE LIGHT

DRESS PATTERNS

めくるめくカラフルなビジュアルと共に「大人のドールライフ」を提案してきましたが、ここからは「大人のドールライフ」をさらに楽しいものにしてくれる情報をお届け。
ドールライフをもっと楽しむための“参考書”となるビジュアルブックをご紹介する「ドールライフ・ハンドブックガイド」、ドールと一緒に楽しめる“大人な”ミニチュアアイテムと出会えるオンラインショップ紹介、ドレスアップ・レッスン～ドール・コーディネイト・レシピLIGHT～に登場した人形服作家さんたちが提案するお洋服のパターンなど、これからドールライフをスタートする人だけでなく、既にドールライフを満喫している人にも役立つ情報を集めてみました。
まずはドールライフをより満喫するための知識を得られるハンドブック紹介。「大人のドールライフ」の世界へと続く扉まで、あと少しです。

DOLL-LIFE
COLUMNS

DOLL-LIFE COLUMNS

HANDBOOKS FOR DOLL-LIFE

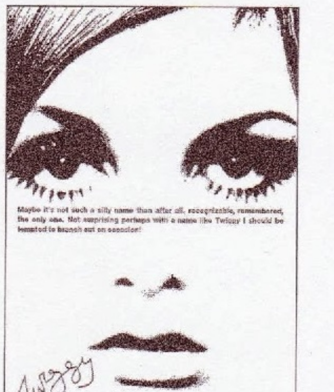
Handbooks for FASHION STYLING

ファッション・スタイリングのハンドブック

スタイルアップ・レッスンのページでも書きましたが、アイテムの組み合わせを変えるだけで全く違う雰囲気を楽しめるのがファッション・スタイリングの醍醐味。でも素敵なスタイリングができるようになるには、日頃からファッション・センスを磨くことが大切。ここではセンスをピカピカに磨いてくれそうな４冊をご紹介。素敵な洋服を着た"女の子"たちのスタイル、ぜひあなた自身のファッションの参考にもしてみてください。

"妖精"が着こなす60年代ファッション
『TWIGGY PLEASE GET MY NAME RIGHT』

子猫のような、大きな瞳。すらりとしたスレンダーな身体。そしてスタイリッシュな着こなし……女の子であれば、きっと一度は"彼女みたいになりたい"と憧れる60年代のアイコン、ツィギー。そんなツィギーのビジュアルブック『TWIGGY　PLEASE GET MY NAME RIGHT』には、キュート＆クールにキメた彼女の写真がいっぱい！「ミニの妖精」が着こなすミニルックはもちろん、ヘアメイクやポージングの参考になるベストショットが満載。カラフルなビジュアルは21世紀となった今見ても斬新さを感じさせるものばかり。自分では着こなせない60年代スタイルをドールで楽しみたいと考えている人、必読の一冊です。



『TWIGGY　PLEASE GET MY NAME RIGHT』
発行：プチグラパブリッシング　2756円（税込）

「少女」から「大人」へのスタイル
『青の時間 THROUGH THE LOOKING-GIRL』



親交のある女の子たちが「少女」から「大人」へと成長していく様子を３年に亘って写真家・永瀬沙世が撮影した『青の時間』。この写真集に登場するのは女優として活躍する清水ゆみ、写真家／モデルの東野翠れんをはじめとする"今"を象徴する女の子ばかり。そんな彼女たちが、あどけない表情の「少女」から、意志をもった「大人」へと少しずつ変化していく様子は、はかなさと美しさの両方を感じさせます。また彼女たちの心の"変化"は洋服にも少しずつ現れてくるので、「少女」／「大人」らしいスタイルや、「少女」「大人」の中間にあるスタイルを追求したい人はぜひ手にとってみて。

『青の時間　THROUGH THE LOOKING-GIRL』
著者:永瀬沙世　発行:プチグラパブリッシング　2940円(税込)

乙女なアクセントのレッスン
『レースつけるだけ』

スタイルアップ・レッスンのページで、スウィートかつロマンチックなスタイリングをしてくれたスタイリスト・鍵山奈美さん。ちょっとしたリボンやレース使いに彼女のセンスの良さを感じた人も多いはず。そんな彼女がスタイリングを手がけた『レースつけるだけ』。色々な既製品にレースをぬいつけるだけで、オリジナルの洋服や小物に変身するメソッドを紹介しています。手作りはしたいけれど、難しいお裁縫はちょっと苦手……という人にぴったりな一冊。ドールと自分の洋服に"乙女"なテイストをプラスしたいとき、ぜひ参考に。



『レースつけるだけ 簡単でかわいい、ガーリー・リメイク』
著者:田中ハンナ　発行:マーブルトロン　発売:中央公論新社　1680円(税込)

ちょっぴり懐かしい、永遠のかわいさ
『おばあちゃんのエプロン』



家内製手工業人のmoss*(石澤敬子)と、写真家の和田直美が旅先のポーランドとハンガリーの田舎町で出会った、おばあちゃんたちの日常を描いたフォトエッセイ『おばあちゃんのエプロン』。ほんわかとした優しい雰囲気を醸し出しながらも、芯の強さも感じさせるおばあちゃん。そんなおばあちゃんたちが毎日を一緒に過ごすエプロンは、気持ちをキリリと引き締める大切なアイテムなのかもしれません。女の子にとって永遠の"かわいい"アイテムであるエプロンを"カッコ良く"着こなすおばあちゃんたちの姿を参考に、ただ"かわいい"だけでないスタイリングにチャレンジしてみて。

『おばあちゃんのエプロン』
写真:和田直美　文:石澤敬子　発行:mille books　1050円(税込)

Handbooks for ITEM STYLING

セレクトのセンスを高めるハンドブック

自分だけのための、ちょっとした贅沢をする。例えば質の良い食器を使ったり、雑貨をお気に入りのデザインで揃えたり……本当に“ちょっとした”ことだけど、毎日を楽しくしてくれる大切なことでもあるのです。でも、そんな贅沢をするには“良質な物”を見極めるセレクトのセンスが大切。そんなセンスを磨く6冊をここではご紹介。ピカピカに磨いたセンスはドールのスタイリングや写真撮影をするときの小物選びにも活かされるはず。あなたの生活もドールライフもワンランク・アップさせて、さらに充実した日々を過ごしてみて。

究極のおしゃれアイテム、大集合！
『ソニアのショッピングマニュアルⅠ 新装版』
『ソニアのショッピングマニュアルⅡ』



『ソニアのショッピングマニュアルⅠ 新装版 1 to 101』
『ソニアのショッピングマニュアルⅡ 102 to 201』
発行：ソニア パーク 発行：マガジンハウス 1890円（税込）

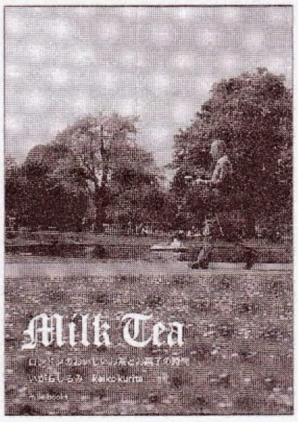
スタイリスト、ソニア パークが厳選したスタイリッシュアイテムを、本人の解説と共に紹介する『ソニアのショッピングマニュアル』。おしゃれ好きな皆さんは既に一冊持っているかもしれません。この究極のお買い物バイブルの第2弾『ソニアのショッピングマニュアルⅡ』が登場！ ファッションアイテムから雑貨まで、彼女があらたに出会った逸品や、作り手にエールを送りたいものなど、大集合した素敵なアイテムたちは、どれもスタイリングに取り入れたいものばかり。ファッションだけでなく、あなたのライフスタイルそのものを上質なものにしてくれる、とっておきのアイテムをぜひ見つけてみて。

毎日をハッピーにする、幸せの“断片”たち
『fragments』

かわいいものだけに囲まれて暮らしたい……と、思ったことありませんか？ そんな願いを現実に近づけるヒントとなるのが『fragments』。生活雑貨、ファッションアイテム、コスメ、キャラクターまでPLAZAで取り扱われているアイテム141点が登場する書籍なのですが、写真とスタイリングがとても素敵！ 見慣れているアイテムも視点を変えるだけで、こんなに魅力的に感じられるのかとページをめくりながら驚くこと間違いなし。撮影の時の小物のスタイリングや、お部屋のインテリアの参考にもなる『fragments』。小さくて、かわいいモノが好きな人は必読の一冊です。



『fragments フラグメンツ』
発行：マガジンハウス 1470円（税込）



かわいくて、おいしいお茶の時間のスタイリングに
『Milk Tea ロンドンのおいしいお茶とお菓子の時間』

女の子同士のお茶会で、お人形をプレゼントされたというコンセプトで『チェリオ！』のカバーは撮影したのですが、この「お茶の時間」にちなんだ一冊をご紹介。菓子研究家・いがらしろみさんが、ロンドンで出会ったかわいいお茶のお菓子や、お茶の風景を紹介する『Milk Tea』。ミルクティーの入ったマグ、お茶と一緒に出されるスコーンやビスケットをはじめとするスウィーツ、マグを持った手……“なんで全てがこんなにかわいく感じるの？”と不思議に思ってしまうほど「お茶の時間」のまわりに“かわいさ”が溢れていることを気付かせてくれる一冊。友達をお茶に招くとき、ぜひ『Milk Tea』を参考にテーブルをかわいくスタイリングしてみて。

『Milk Tea ロンドンのおいしいお茶とお菓子の時間』
著者：いがらしろみ　keiko kurita　発行：mille books　1260円（税込）

乙女の視点で出会う東京の魅力
『乙女の東京』



「東京」という響きから、何をイメージしますか？　時代の先を行く最先端の情報が集まる空間、いくつもの高層ビルがそびえ立つ場所……と、新しいけれど温もりがあまりなさそうなイメージが強いかもしれません。そんな東京の“かわいい”魅力を教えてくれる『乙女の東京』。甲斐みのりさんが“乙女”の視点で紹介してくれる「愛おしい東京のかけら」たちを知れば、もっと東京を好きになれるはず。そして東京が持っている“ぬくもり”に気がつけば、お出かけがもっと楽しくなるはず。またページをめくるたびに“乙女”の感覚が研ぎすまされていくので「最近、女の子のとしての感覚が鈍くなっているかも……」という人にもオススメです。

『乙女の東京　洋菓子・和菓子、ホテル・旅館、美術館・博物館、雑貨・化粧品…乙女心の東京案内』
著者：甲斐みのり　発行：マーブルトロン　発売：中央公論新社　1575円（税込）



テーブルの上にもロマンティックを
『スージー・クーパーのロマンティックスタイル』

英国家庭のテーブルに彩りを添えてきたスージー・クーパーという食器を知っていますか？　時を経てアンティークとなった現在においても多くの女性の心を虜にしつづけている彼女の食器の魅力を紹介する『スージー・クーパーのロマンティックスタイル』。数あるスージー・クーパーの食器の中から本当に“かわいい”ものばかりが登場しています。また食器を紹介する写真も、とってもロマンティック。毎日使う食器だからこそ、かわいいものを。あなたのテーブルの上にもロマンティックをプラスしてみて。

『スージー・クーパーのロマンティックスタイル 英国のとびきりかわいい食器たち』
監修：飯塚恭子　協力：酒井景都　発行：マーブルトロン　発売：中央公論新社　1680円（税込）

Handbooks for SHOOTING

写真撮影をもっと楽しむハンドブック

スタイリングやセレクトのセンスがアップしたら、ぜひアップさせたいのが撮影スキル。ここでは撮影をより楽しくしてくれるスキルが学べるハンドブック、“こんな写真が撮りたい”という撮影イメージを作るときに参考にしたい写真集、そしてロケ場所選びに役立つ書籍をご紹介。でも一番の上達方法は実際にたくさん写真を撮影して、経験を重ねて“写真心”を高めること。ハンドブックから得た知識をフルに活用して、撮影を楽しみながら腕前と“写真心”をアップしてみて！



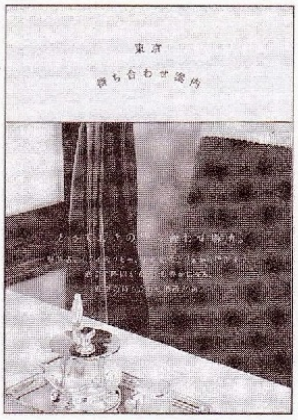
HOLGAで撮影する“かわいい”風景
『ハッピーHOLGA!』

世界中のアーティストに愛用され、“トイカメラの王様”とも呼ばれている「HOLGA」。デジカメのクリアな雰囲気とはまた違う、やわらかいイメージの写真が撮影できるHOLGAの魅力を教えてくれる『ハッピーHOLGA!』。実際にHOLGAで撮影した写真と一緒に、HOLGAについてもっと知ることができる一冊です。今や写真撮影といったらデジカメが主流のようですが、たまにはアナログカメラで撮影を楽しんでみては？ ちょっとした気分転換みたいに、新鮮な気持ちになれるはず。

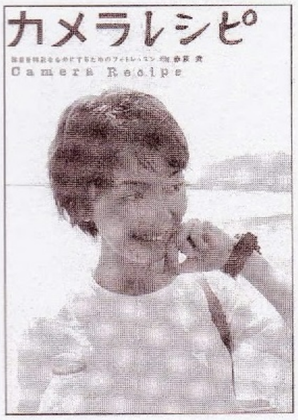
『ハッピーHOLGA!』
著者：マーブルブックス編集部　発行：マーブルトロン　発売：中央公論新社　1680円(税込)

カメラ片手に楽しみたい待ち合わせ
『東京待ち合わせ案内』

約束の時間より少し早く待ち合わせ場所についてしまったとき、いつもより時間がゆったりと流れているように感じるはず。そんなちょっと贅沢にも思える時間を楽しく過ごせる待ち合わせ場所を紹介した『東京待ち合わせ案内』。ターミナル駅で、ビジネスの街で、休日を過ごす場所で……３つのシチュエーションごとに紹介されている“名(待ち合わせ場)所”は、なぜか風景として絵になる場所ばかり。こんな素敵な場所での待ち合わせなら、少し早目に家を出て、ポケットにいれたカメラで写真を撮りたいなと思うはず。ちょっとしたお出かけ(と待ち合わせ)を“小さなロケ撮影”へと変えてくれる場所で、あなたも待ち合わせをしてみませんか？



『東京待ち合わせ案内』
発行：プチグラパブリッシング　1628円(税込)



楽しく、かわいく写真を学ぶ
『カメラレシピ』

雑誌『カメラ日和』でおなじみのカメラマン・赤荻武による『カメラレシピ』。ポートレート写真をかわいく撮影する方法、ロケ地案内など、普段なかなか知ることができないプロのテクニックと情報を学べる一冊。かわいい写真を撮りたいのに、なかなかコツがつかめないとお悩みの方にオススメです。楽しく学んで、かわいい写真をたくさん撮りましょう!

『カメラレシピ』
著者:赤荻武　発行:マーブルトロン　発売:中央公論新社　1680円(税込)

「ユルかわ」な撮影スポットを紹介!
カメラレシピ2「晴れの日、ぶらり。ロケ地案内」

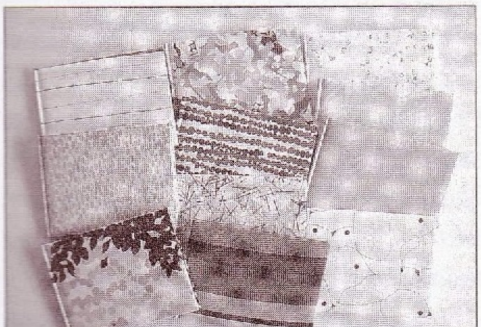


かわいいお部屋での撮影も楽しいですが、晴れた空の下での開放感のあるロケ撮影にはまた違う楽しみが。でも、絵になる場所を見つけるのはちょっと大変。そこでオススメなのが、ゆるくてカワイイ(=ユルかわ)写真が撮れる撮影スポットを教えてくれる『カメラレシピ2「晴れの日、ぶらり。ロケ地案内」』。日本各地の「ユルかわ」スポットだけでなく、ロケ撮影で役立つアイテムや、撮影する際のポイントまで"ロケ撮影のイロハ"までもが紹介されています。初めてロケ撮影に行く前にぜひ読んでおきたい一冊です。

『カメラレシピ2「晴れの日、ぶらり。ロケ地案内」』
著者:赤荻武　発行:マーブルトロン　発売:中央公論新社　1680円(税込)

オランダ人の女の子と過ごした、ひととき
写真集『meisje / メイシェ。』

『meisje / メイシェ。』
著者:木寺紀雄　発行:プチグラパブリッシング
2310円(税込)



ファッション誌や広告を中心に活躍している若手写真家・木寺紀雄の初作品集。雑誌の取材で訪れた、オランダにある著名アーティストの自宅。壁にはいくつもの穴があき、色々なものが部屋のあちこちにラフに置かれている、『長くつ下のピッピ』の家を思わせるような空間。元々は犯罪者が所有していて、警察からの逃げ道を用意しておくために壁に穴があけられていたという不思議な建物の中で、木寺さんが出会ったのは元気いっぱいのアーティストの娘。アイスをかじりながら得意げにアコーディオンを演奏したり、ボール片手に庭を走りまわったりと、猫の目のようにクルクルと変わる仕草と表情。そんな彼女と過ごしたひとときが描かれた『meisje / メイシェ。』。乱雑に物が置かれているのにかわいい部屋、窓から差し込む光、そして光でキラキラとしている金髪……夢を見ているような気分になるほど、素敵な世界が描かれた一冊。木寺さんが撮る"光"の美しさにも注目しながらページをめくってみて。またこの写真を気に入ったミナ ペルホネンのデザイナー・皆川明さんの協力により、ご覧のミナ ペルホネンのファブリックを用いた装丁が実現。本棚にしまわずそのまま飾っておいても素敵な『meisje / メイシェ。』、ぜひあなたのお部屋にも一冊どうぞ。

Music for Doll-Life

大人のドールライフを
楽しくする音楽

最後は“本”ではないですが「大人のドールライフ」を楽しくするための必需品ということで、『チェリオ！』編集部がセレクトした音楽作品をご紹介。気分を盛り上げたいときに、ちょっと切ない気持ちのときに、リラックスしたいときに……どの作品もあなたのライフスタイルとドールライフを充実させてくれるはず。また何気にジャケットワークのかわいさも重視してセレクトもしていますので、こちらも音楽と一緒に楽しんでください。

もっとハッピー！　さらにドーリー?!

Kiiiiiii『GOLD & SILVER』

同じくKiiiiiiiの作品なのですが、こちらはCDではなく彼女たちのファーストDVD『GOLD & SILVER』。実はアルバムより先にリリースされていたというこのDVDは、彼女たちが創り出す世界を音楽だけでなくビジュアルと一緒に楽しめ、Kiiiiiiiが創り上げる世界から放たれるパワーをとことんキャッチできる作品。かわいく着飾った二人が、想像を絶するほどパワフルに演奏する様子は必見！　寝起きに観れば目はパッチリと覚め、寝る前に観れば夢の中でも楽しい時間が続くはず。またLakin'が制作したドールたちが出演する、海外教育番組風のショートクリップもキュート（かつ良い感じにシュール）なので、こちらもお見逃しなく！



『GOLD & SILVER』
Kiiiiiii
BPDV-001
2625円（税込）

ハッピー＆ポジティブな気持ちを倍増！

Kiiiiiii『AL & BUM』

インタビューにも登場してくれたLakin' the Kiiiiiiiがドラムの、女の子二人組バンドKiiiiiii（キー）のファーストアルバム『AL & BUM』。海外でも数々のライヴアクトを行い、今や“21世紀のジャパニーズ・ガールバンド代表”といった存在となりつつある彼女たちが奏でるのは、聴いていると楽しい気持ちとポジティブ・マインドが倍増する音楽。１回目は彼女たちの世界観を知るために、２回目以降はじっくりと耳を傾けて、フレーズの中に登場するドールライフ的なキーワードや、隠しアイテム的に散りばめられた少し懐かしい気持ちになれるフレーズを見つけてみて。Lakin'がアートワークを手がけたアルバムについている豪華ブックレットの中にもドールたちがこっそり（バッチリ?!）Kiiiiiiiの二人と登場しているので、こちらもぜひチェックしてみて。



『AL & BUM』
Kiiiiiii
BSPT-001
2625円（税込）

元気いっぱいにスウィングしたいときに
ROCO & The S.S. Band『Session Time!』

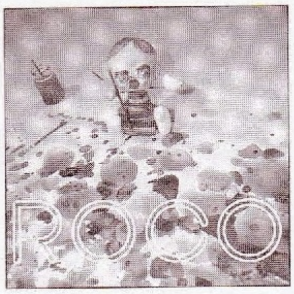
同じくROCOのアルバムですが、こちらは初のセルフ・カヴァー・アルバム『Session Time!』。これまでリリースされたアルバムの中から彼女自身が選曲し、定期的に行っているワンマンライヴのバンドメンバーと共に大胆なリアレンジを加えた11曲を収録。タイトルの"セッション"とあるように、ライヴ＆グルーヴを感じさせるアルバムです。デビュー当時の、あどけなさが残るROCOの歌声もかわいいのですが、今の"大人"を感じさせる歌声の方が、私たち「大人女子」世代にはきっとしっくりくるはず。気取らずに、元気いっぱいに(でも、お転婆になりすぎずに!)スウィングしたいときに、メロディを口ずさみながら楽しみたい一枚です。



『Session Time!』
ROCO & The S.S. Band
APPR-2501
2625円(税込)

毎日をカラフル＆キュートに彩る
ROCO『カラフルファンファーレ』

歳を重ねて"大人"になるたびに、それまでできなかったことができるようになるけれど、同時に"大人"ならではの悩みも増えて行くのね……と、ちょっとセンチな気持ちの時に聴きたいのがROCO『カラフルファンファーレ』。かわいい声だけど子供っぽくない、でもソウルフル過ぎることもない「大人女子」の私たちの耳に心地良く響くROCOの歌声。アルバムと同名の「カラフルファンファーレ」は、グレーな気持ちを虹色に変え、心のスイッチを切り替えてくれるので特にオススメです。また気持ちをあらためて何かをはじめるときのBGMにピッタリなので、これから「大人のドールライフ」をはじめる方はぜひどうぞ!



『カラフルファンファーレ』
ROCO
APPR-2201
2310円(税込)

"ボサノバの神様"が奏でる優雅な音楽
ジョアン・ジルベルト『三月の水』

代表作「イパネマの娘」でその名を世界的に知られ、"ボサノバの神様"とも呼ばれているジョアン・ジルベルト。そんな彼の代表傑作といわれる『三月の水』は彼のボーカルとギター、そしてシンバルのみの伴奏という無駄な音を一切排除し、美しさを凝縮させたともいえる作品。アントニオ・カルロス・ジョビン作曲の、ブラジルの秋の訪れを描いた「三月の水」はメロディも美しいのですが、実は歌詞も素敵。どんな歌詞かはアルバムのブックレットでチェックして、ぜひあのメロディにあわせて口ずさんでみてください。無理な背伸びをしないまでも、たまには"大人の女らしさ"をアップさせたいと感じたとき、ぜひ手にとって欲しい一枚です。



『三月の水』
ジョアン・ジルベルト
UCCU-9409
2800円(税込)

音楽で楽しむヌーヴェル・ヴァーグ
ミシェル・ルグラン『ヌーヴェル・ヴァーグ作品集』

90年代に青春時代を過ごした「大人女子」世代が虜になった映画作品をリストにしたら、きっとゴダール作品が多く含まれるはず。そんなゴダール作品のサウンドトラックを手がけたミシェル・ルグランの『ヌーヴェル・ヴァーグ作品集』。映画『華麗なる賭け』でアカデミー歌曲賞を受賞し、世界的な成功をおさめる以前に彼が取り組んだ『女は女である』『女と男のいる舗道』をはじめとするヌーヴェル・ヴァーグ期の作品が収録されています。彼の心地良い音楽は、ひとりで過ごすリラックスタイムにぴったり。アンナ・カリーナに憧れていた頃を思い出しながら、耳を傾けてみてください。



『ヌーヴェル・ヴァーグ作品集』
ミシェル・ルグラン
UCCM-4046
2300円(税込)

Shop of Small Items

ドールライフをもっと楽しむ Cherrio! オススメの オンラインショップ

ドールライフ・コラム、続いてご紹介するのはかわいいものと出会えるオンラインショップガイド。キュートなアイテムから、本格的なドールハウスのアイテムまで、あらゆる"かわいい"と出会えるオンラインショップ 7 店をご紹介。ショップによっては店舗もあるので、実物をぜひみたいと思ったら、ぜひ店舗にも足を運んでみて。お気に入りを見つけたら、その瞬間から楽しいドールライフがはじまるはず!

かわいい“お気に入り”がきっと見つかる 海外絵本のキャラクターショップ『Cuddlesome』

今や子供が読むだけでなく、大人の女性にとって心のリラックス・アイテムのひとつとなった絵本。あなたのお部屋の本棚にも、お気に入りの一冊が大切にしまってありませんか？“大人のドールライフ”をこれからはじめる人の中には「インテリアにもなる、大好きな絵本のドールが欲しい」と考えている人もいると思います。そんな方ににオススメしたいのが海外絵本のキャラクターショップ『Cuddlesome（カドルサム）』。

海外絵本のかわいい登場人物たちをモチーフとした生活雑貨やステーショナリーといったアイテムが一堂に集まった、絵本好きにとっては夢のような空間の『カドルサム』。まず注目なのは、そのキャラクターのセレクション。誰もが一度は読んだことがある定番絵本のキャラクターだけでなく、『ラチとらいおん』『ラーバン』『ハリー』『クリフォード』そして『アラン・グレ』作品といった、海外絵本に詳しい人でも思わず唸ってしまう“通”な絵本のキャラクターもちゃんとセレクトされているのです。そしてどのアイテムも、大人の私たちが手にしても子供っぽくなりすぎない、品の良さを感じさせるものばかり。自分のためにはもちろん、ママがお子さんと一緒に使っても違和感のないアイテムが揃っているので、出産祝いをはじめとするママ＆キッズに贈るプレゼントを選ぶときにも重宝しそうです。

扱っているキャラクターの種類だけでも30近くあるので、さすがに全アイテムをショップでチェックするのには時間がかかってしまいそう。『カドルサム』のオンラインショップもあるので、優柔不断気味な方はショップへ行く前にこちらでアイテムを事前にチェックしておくと良いかも。またオンラインショップではプレゼント包装もしてくれるので、ショップへプレゼントを選びに行く時間がないときに活用してみては？

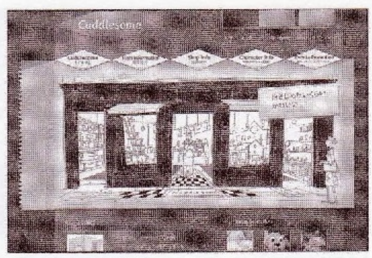
子供だけでなく、大人でも楽しめる“かわいい”がいっぱいの『カドルサム』。あなたのドールライフをより楽しく、そしてかわいくしてくれる“お気に入り”と出会ってみて。



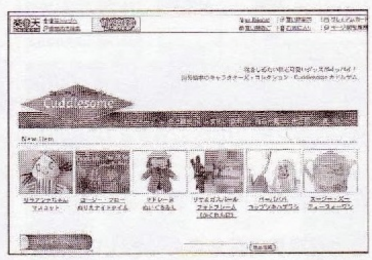
Cuddlesome（カドルサム）

流山おおたかの森S・C店
千葉県流山市西初石
6-185-2
流山おおたかの森S・C　1F
TEL：04-7156-7711
営業時間：10:00～21:00

青葉台東急スクエア店
神奈川県横浜市青葉区
青葉台2-1-1
青葉台東急スクエア North-2 2F
TEL：045-985-8134
営業時間：10:00～21:00



WEB SITE
http://www.cuddlesome.jp/



ONLINE SHOP「カドルサム オンライン」
http://www.rakuten.co.jp/cuddlesome/

小さなものから、大きなものまで！
お部屋のインテリア感覚で楽しめるプレイモービル

www.playmoland.com

小さくてかわいいものが好きな人であれば、誰もが一度は目にしたことがあるプレイモービル。手のひらに乗るサイズ、カラフルな色使い、そしてその種類の豊富さに魅了され、実際にいくつか持っているという人も多いかと思います。"プレイモービルって？"という方にぜひアクセスしてもらいたいのがプレイモービルのネットショップ『プレモランド』。品揃え、在庫量ともに日本一をほこる、この『プレモランド』では900種類近くのプレイモービルが紹介されているのです！　でも、そんなにたくさんあると、好みのものを見つけるのが大変そうという心配はご無用。「プレイモービルを選ぶ」のコーナーにいけば、ジャンル別にアイテムが紹介されているので、すぐに好みのプレイモービルと出会えます。

読者の皆さんに特にオススメしたいのが「おとぎの宮殿」シリーズ。お城、馬車、ロマンチックな小道具、そしてドレス姿のプレイモービル……と、キュート＆カラフルな"お姫様の世界"をたっぷりと味わえます。これを見て、胸をときめかさない女の子はいないはず！　この他にも卵型ケースにプレイモービルが１体入った「エッグ」シリーズや、ウサギの顔のついたシリーズなど乙女心をくすぐるアイテムがたくさん。

また「目的で選ぶ」「箱で選ぶ」「マニアックに選ぶ」という切り口でプレイモービルを紹介するスタッフのコラムもぜひチェックを。読んでいて楽しいだけでなく、プレイモービルの生まれ故郷であるドイツについても学ぶことができちゃいます。

でも実際に自分の目でサイズや色をを確かめてから入手したい……という方は、東京・下北沢にあるプレモランドリアル店舗『プレモランドショップ』へぜひ！　等身大のプレイモービル＝デカモビくんたちが入り口でお出迎えしてくれますよ。また動物のフィギュアでその名を知られるシュライヒの専門店『シュライヒランド』も店内にあるので、動物の形をした"小さくてかわいいもの"をお探し中の人は、ぜひこちらのコーナーにも足を運んでみてください。



プレモランド　http://www.playmoland.com/





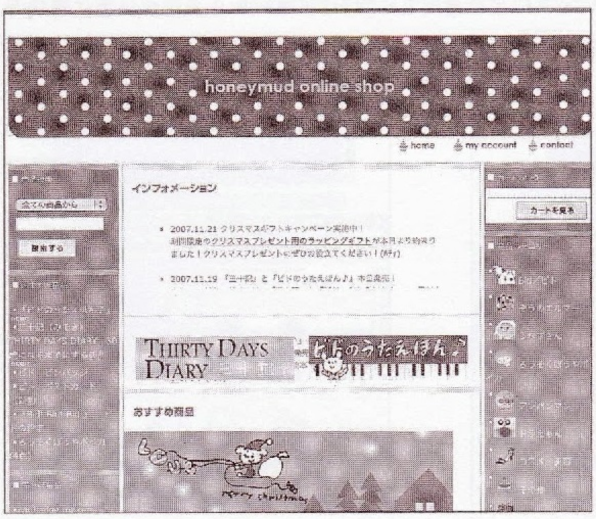
プレモランドショップ

東京都世田谷区北沢1-40-11（1F）
TEL：03-5478-2005
営業時間：月～金　12:00～20:00
土日祝　11:00～20:00
年中無休

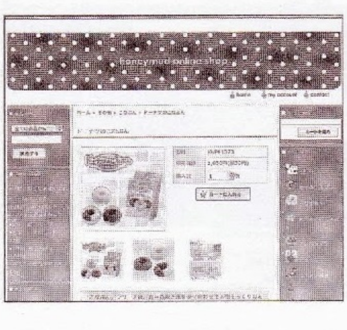
大人女子による、大人女子のためのかわいいモノ！ セレクトショップ『honeymud online shop』

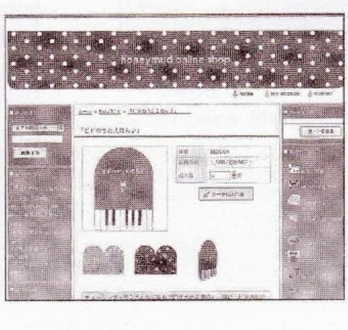
http://honeymud.shop-pro.jp/

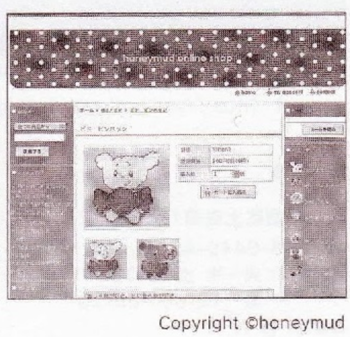
今や世界的にその名を知られている玩具メーカー、バンダイ。バンダイというとガンダムのプラモデルをはじめとする“男の子”（と“大人の男の子”）向けのアイテムが多そうなイメージがありますが、“女の子”向けのアイテムだってたくさんあるのです。そんなバンダイの中でも“大人の女の子（＝大人女子）”のためのアイテムを制作するチームが運営しているオンライン・ショップがあるのはご存知でしょうか？
インタビューページに登場してくれた甲斐みのりさんが手がけている「ビド」のアイテムや、“大人女子”でも楽しめるバンダイの玩具をセレクトして販売している『honeymud online shop』。アイテムを見るとかわいいモノ好きの間で大人気の「うなずきん」や「ろうそくぼうやポイカ」、専用の粉と水を混ぜ合わせて本物そっくりのミニチュアサンプルを作ることができる「こなぷん」、絵本「ぞうのエルマー」の雑貨など、私たち“大人女子”のツボをつくものばかり！「どうして私たちの好みをこんなに熟知しているの？」と思ったら、運営スタッフの方々も“大人女子”！ そんな「大人女子が大人女子のために」セレクトしてくれたアイテムが揃うオンラインショップ、イマイチなアイテムがあるわけありません。また玩具系のアイテムだけでなく、書籍やコスメ用品など「大人のドールライフ」を楽しむ私たちの「ライフ」をメンタル面でもフィジカル面でもサポートしてくれるアイテムも取り扱ってくれているのも嬉しいところ。
ジャンルにこだわらず、実に様々な素敵アイテムと出会える『honeymud online shop』。今後どんな「大人のドールライフ」を充実させてくれるようなアイテムが登場するか、ぜひチェックしていきたい存在です。



honeymud online shop
http://honeymud.shop-pro.jp/







フランスの蚤の市で出会った小さくて、かわいいもの
ビンテージアイテムショップ『clozzet』&『soup』
www.clozzet.com

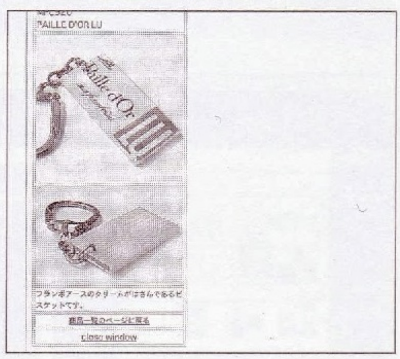
普段見慣れているものでも、小さくなると数倍かわいく思えてしまう謎の法則。これに“古き良き時代のフランス”という、文化系少女が大好きなテイストが加わったアイテムがあれば……と思っていたら、見つけてしまいました！　オーナーがフランスの蚤の市で買い付けたアンティーク雑貨やアメリカのファイヤーキングをはじめとするビンテージアイテムを取り扱うオンラインショップ『clozzet』。ここで見つけてしまったのは、60年代のフランスで広告用に作られていたキーホルダーたち。このキーホルダー、大きさは４センチ四方程度にも関わらずあらゆるものを、現物にものすごく忠実な形でミニチュア化したものがついているのです。

ビスケット、サブレ、ショコラ、マドレーヌといったフランスらしさを感じるお菓子類にはじまり、卵やヨーグルトやチーズなど誰の家の冷蔵庫にも入っていそうな食料品のパッケージ、そして石鹸などの日常雑貨までもがミニチュア化されているキーホルダー。もう男女問わず、文句なしにカワイイと思ってしまうはず。このミニチュアを、ドールの小物として持たせたら……なんて想像しただけで、頭の中が“かわいい”の感情でいっぱいになってしまいます。キーホルダーの種類も実に豊富なので、ぜひ一度サイトにアクセスして画像を（カラーで！）見て欲しいです。

ミニチュアキーホルダーの他にも、かわいい上に趣味の良いものが『clozzet』では紹介されているので、ぜひ他のアイテムもチェックしてみて。また大阪には『clozzet』の実店舗『soup』があるので、このページの写真を見て心をゆさぶられた関西の方は、ショップに足を運んでミニチュアキーホルダーがいかに精巧か（そしてかわいいか）を自分の目で確かめてみて。







clozzet　http://www.clozzet.com/

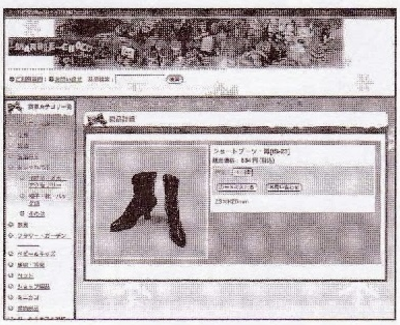
soup

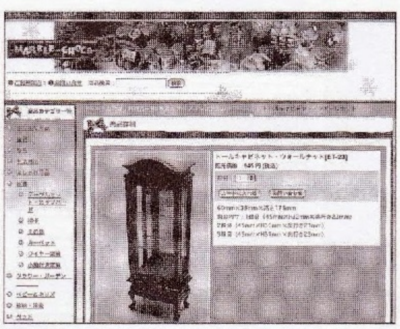
大阪市西区土佐堀1-1-5　2F
TEL: 06-6449-4303
営業時間: 火～木・土12:00～19:00
金　12:00～20:00
定休日: 日・月

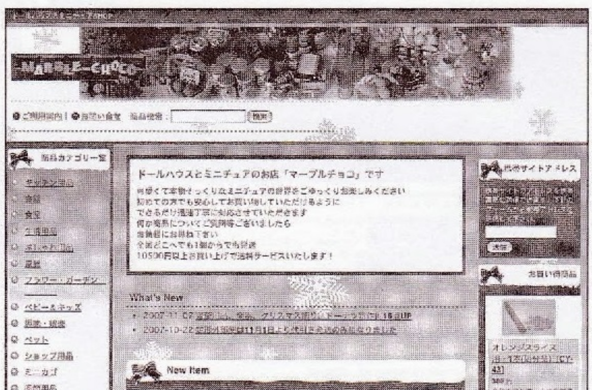
ドールハウスとミニチュアのお店『マーブルチョコ』

www.marble-choco.com

着せ替え人形よりもさらに小さく精巧なドールハウスのコレクションは、まさに“大人の人形遊び”という表現がぴったり。西洋風のお屋敷をまるごとそのままミニチュアにしたものを揃えるのには、時間と手間とお金がどうしてもかかりますが、まずはお部屋の中にあるものをミニチュアにした、単体でもかわいいアイテムから集めてみるのはどうでしょう?
ドールハウスとミニチュアアイテムを取り扱うオンラインショップ『マーブルチョコ』には、見ていてかわいいと思ってしまうようなものばかり。しかも商品のカテゴリーの種類が実に多く、ドールハウスという世界の奥深さを知ることもできます。
『マーブルチョコ』で特に見て欲しいのが「おしゃれ用品」。アクセサリー、香水のボトルや化粧品、そして化粧道具のミニチュアは画像を眺めているだけで思わず溜息をついてしまうほど精巧。また帽子、靴、バッグといったファッション小物もクラシカルなテイストのものが多く、1:6スケールのアイテムとはまた違う魅力を感じられます。またアンティークやビンテージの家具を思わせるデザインのアイテムも充実。自分のお部屋の家具を全部ビンテージのものにしたいけど予算が……と、夢を叶えるまでもう少し時間がかかってしまいそうな人は、ミニチュアのアイテムを使って自分の理想の部屋の設計模型を作り、夢が叶うときの準備をしておいてはいかがでしょう。アイテムをひとつずつ揃えてミニチュアの空間を完成させていくことは、夢や理想を現実のものにするための作業にもどこか似たところがあるはず。ミニチュアの空間が完成していくにつれて希望も膨らみ、夢の実現に向けて頑張ろうという前向きな気持ちになれると思います。そんな夢を叶えようとするあなたを応援してくれるアイテムと『マーブルチョコ』で出会ってみてください。







マーブルチョコ
http://www.marble-choco.com/

素材にもこだわったミニチュア厨房調理器具
ドールハウス＆ミニチュア販売ショップ『ミニ厨房庵』

minityuan.ocnk.net

実際に料理をするのは得意でなくても、デザイン性と機能性の両方を兼ね備えている厨房調理器具についつい見とれてしまう人もいると思います。そんな厨房調理器具のミニチュアを数多く揃えているのがドールハウス＆ミニチュア販売ショップ『ミニ厨房庵』。
銅、鉄、ステンレス、ホーロ仕立てと、本物と同じ素材で作られた厨房調理器具は、眺めていて思わず溜息がもれてしまうほど精巧。ホームページでは各アイテムを画像付きで紹介していて、それぞれのアイテムの横にサイズ比較のために10円玉硬貨が置いてあるのですが“10円玉硬貨をこんなに大きく感じるは生まれて初めてかも！”と、まず驚くと思います。さらにお鍋やフライパンなどの鉄器にはじまり、トング、ナイフ、泡立て器など細かい部分まで実物と同じように作られたアイテムを見て“一体どうやって、こんな細かい作業を……”と職人さんの腕前に感動を覚えてしまうはず。
また作家さんが作られたミニチュアサイズの食品も紹介されているのですが、こちらも実に精巧。そして精巧なだけでなく美味しそうなのです！ 久保睦子さんが作られたケーキシリーズはホールケーキだけでなく、タルトやエクレアといったものまであり、まるでパティシエが作ったケーキのように美しいものばかり。10円玉硬貨が隣になければ、ミニチュアだと気がつかずに本物のケーキの写真だと思い込んでしまうほど。
紹介写真をみるごとに感動を覚える『ミニ厨房庵』のアイテムたち。栃木県・那須高原にショップと東京・荒川に工房があるので、ぜひ足を運んで芸術品ともいえるアイテムの美しさと小ささに感動してみてください。（＊那須高原ショップと荒川工房の営業日・時間はホームページにてご確認ください）



ミニ厨房庵
http://minityuan.ocnk.net/





momoko DOLLをはじめ、かわいいドールがたくさん！
セキグチファンダイレクトショップ

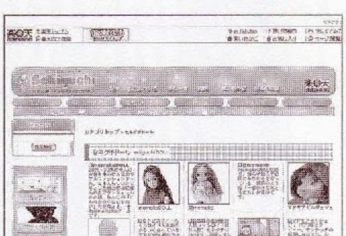
www.rakuten.ne.jp/gold/monchhichi/

『チェリオ！』のイメージモデルならぬイメージドールとして大活躍してくれたmomoko DOLL。彼女が見せる様々な表情に魅せられて「大人のドールライフ」を momoko DOLLと一緒にスタートさせたいと考えている人も多いはず。“でも、お店に買いに行くことがなかなかできなくて……”という人にご紹介したいのがmomoko DOLLはもちろん、momoko DOLLの妹分「豆momoko」をはじめとするドールをオンラインで購入できる『セキグチファンダイレクトショップ』。
現在発売されているmomoko DOLLだけでなく、これから発売されるmomoko DOLLの予約までできるのです。あなたの「大人のドールライフ」のファースト・ドールとなる一体と出会ってください。
また「セキグチ」の別ブランド「STOC」のページでは、STOC MARKET限定のmomoko DOLL用のシューズや、1：6ドールサイズのトルソーといったアイテムも販売されています。「大人のドールライフ」をより充実させたい人は、こちらのページもチェックしてみて。
momoko DOLLの最新情報を入手したい人は、公式サイト（www.momokodoll.com）へアクセスを。実は販売ショップなどが限定されている、レアなモデルのmomoko DOLLもいるので、ドールライフ歴が長くなり“レアなmomoko DOLLも欲しい……”と思うようになったらmomoko DOLL公式サイトで発売情報をチェックして、特別な一体を手に入れてみては？



セキグチファンダイレクトショップ
http://www.rakuten.ne.jp/gold/monchhichi/

momoko DOLL公式サイト
http://www.momokodoll.com/











カニホルに「ロック魂」はあるのか?!

東京タワー蝋人形館特別企画展
「Kanihoru KuroSiro Parade」
会期：2007年10月20日(土)～10月31日(水)
会場：東京タワー蝋人形館
(東京都港区芝公園4-2-8　東京タワー3F
TEL:03-3436-6661)
＊こちらのイベントは既に終了しております。ご了承ください。

リリーフランキーさんの小説や、三丁目の夕日、墨田区の新タワーの建設などトピックスが重なり、今再び注目されているスポット「東京タワー」。中に一歩足を踏み入れれば、かなりの活況を呈していることがわかる。今回、気鋭の人形服作家カニホルさんの個展が絶賛開催中とのことで、昨年開催されていたビートルズのイベント「Yesterday&Today」以来1年半ぶりに蝋人形館を訪れた。

東京タワー蝋人形館は東京タワーのシンボル的な存在として1970年代から存在し続け、そのおどろおどろしくもリアリティを感じさせる世界観で、今もいたいけな修学旅行生たちをある意味感動させ、ある意味恐怖に陥れている。定番である世界の偉人たちや、『拷問部屋』(!)はもちろんのこと、現在では40年ぶりにロンドンで見つかった、ビートルズのジャケット撮影で実際に使用された「サージャント・ペパーズ・ロンリー・ハーツ・クラブ・バンド」の蝋人形をはじめ、「ジミ・ヘンドリックス」、「リッチー・ブラックモア」、「フランク・ザッパ」などの歴代のロックスターたちをはじめ、現在活躍中の「ジャーマンロック」のミュージシャンの蝋人形がずらりと並ぶ「ロック魂」溢れるスペースとして知られている。さらに、蝋人形館の最後にあるミュージアムショップは、「ロック関連ストア」として都内屈指の品揃えを誇る。そのディープで「ロック」な世界の中で、気鋭の人形服作家カニホルさんがどう表現しているかわくわくしながら入場した。

入口では等身大のmomokoがご挨拶。この衣裳もカニホルさんの縫製とのことで1：6とお揃いです。しかも、ビートルズの蝋人形の横に立つ等身大momokoという光景はかなりシュール。その横にある、今回の個展のメインビジュアルで使用されたレースの目隠しをした黒白2体のmomokoドール。入口からカニホルワールド全開です。中に入ると「カニホル展までダッシュで1分」と告知ポスター。メインビジュアルより連なっているmomokoドールの人数が増えている！ さらに「銀幕のスター」



Photographs by Hirotaka Yonekura



DOLL EVENT REPORT

や「政治家」の蝋人形の通常展示をゆっくり見ながら歩いて行くと……ありました、カニホル・コーナーを発見！『ドール・コーディネイト・レシピ⑥』の告知のポスターと今回のコンセプトとプロフィールが入ったメインビジュアルの子たちのポスター。さらにメインの展示スペースでは今にも歌い出しそうなmomokoドールがいっぱいです。カスタムされた「おでこちゃんとニッキ」もかわいいです。会場には人形ファンだけでなく、蝋人形館のお客さんも多く訪れ、修学旅行生たちから「うぁぁ、よくできたリカちゃん！」と展示も褒められています（苦笑）。またメイン展示の正面にはくつろげる椅子が用意され、カニホルさんの展示を見ながら妄想に浸れるというステキな空間が作られていました。

会場でカニホルさんを見つけたのでお話を聞きました。

―― そもそもなぜ蝋人形館で個展をやろうと思いついたんでしょうか？

「蝋人形館って現実と非現実が交わる空間な気がしたんですよね。だから自分の世界観を表現するにはかなりいいスペースなのではと思いました」

――「人形」つながりというのも大きかったんでしょうか？

「いや、正直そこまでは考えませんでしたね。やっぱり空間だと思います」

―― なんでパレードだったんでしょうか？

「うーん。私がさみしがりやなので、いつもみんなと一緒にいたいというか……潜在的な願望かもしれません」

――（まずい「ロック」なイメージがあまりない……。質問を変えてみよう……）モノトーンの世界館で統一したのはなぜですか？

「もちろん私が好きなのもありますが、シンプルにした方が個展として見せたい方向が絞られるかなって。スペース的にもその方が合うと思いました」

―― 気鋭の作家の個展ということで力入ってましたよね？

「若手とか気鋭と言われるのは正直いやなんですよ。若手と言うには意外といい歳ですし（苦笑）。でも人形服作家ということいえば多分私は第三世代だと思うんですよね。自分も尊敬する第一世代や第二世代の人たちに負けないくらいがんばって、人形服制作の楽しさを次の世代に引き継いでいきたいですね」

ローリングストーンズのキース・リチャーズ曰く「先人の作ったブルースやロックンロールを継承することが自分の役目」。最後にカニホルさんの「ロック魂」が爆発して、ほっとして蝋人形館をあとにした。



蝋人形が文化としてきちんと根付いている欧米では、蝋人形になって展示されることは社会的に認められた証しとして誇らしいものとして認知されているそうだ。以前ロンドンの蝋人形館でサッカーのデビット・ベッカム（いわゆるベッカム様）が蝋人形になるニュースで夫人のヴィクトリアと満面の笑みを浮かべていたことは記憶に新しい。

ITEMS FOR BRAND NEW DOLL-LIFE

香りで演出する、大人のドールライフ

「大人のドールライフ」を提案する、というコンセプトでこれまでお送りしてきた『チェリオ！』ですが、「大人のドールライフ」を楽しむための〝知識〟のご紹介ばかりだったので、ここでは『チェリオ！』編集部が考える「大人のドールライフ」を楽しくするための〝モノ〟をご紹介。

ドールと一緒に街へ出かけたり、外で撮影することもあると思いますが、〝インドア〟で過ごす時間の方が長いドールライフ。それならばお部屋をもっと心地良い「大人」仕様にするのはどうでしょう？　時間（と予算）があればインテリアを新調して、お部屋の雰囲気を変えるということができますが、もっと気軽な方法があります。それはお部屋の〝香り〟を変えること。

香水やコロンの香りも良いのですが、どうしても使い切るまでしばらくかかり、ずっと同じ香りに飽きてしまいます。でもアロマキャンドルやお香なら、香水ほどお値段もはらないので種類を揃えることができますし、色々な香りをそれこそ日替わりでだって楽しめます。

では、何の香りを選ぶか？　香りの好みは人によって別れやすいですが、果実系の香りは男女問わず受け入れやすいもの。気分を若々しくリフレッシュしてくれる柑橘系や、とことんリラックスさせてくれる無花果などの濃厚な香りも良いですが、『チェリオ！』編集部としてオスス

incense

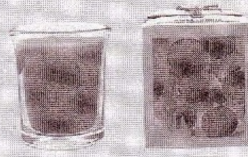


心を和らげる「和の香り」が、
繊細で風雅な雰囲気を漂わせます。
エッセンシャルオイルを配合し、
和をイメージした香りを表現。

和のお香　コーンタイプ　もも　504円(税込)

candle

キャンドルそのものの色にも
心癒されそうな「fav」シリーズ。
パッケージがかわいいところも
女心をくすぐります。



fav グラスキャンドル　ピーチ　630円(税込)

candle

側面のデザインもかわいいキャンドル。
たくさん並べて楽しんで。



デリ キャンドル ピーチ　378円(税込)

candle

かわいい缶にはいった
アロマキャンドル。
ちょっとしたプレゼントにもピッタリです。



カプリスフレグランス　ティーライトキャンドル
イメージラベル　ピーチ　157円(税込)

メしたいのは〝桃〟の香り。桃の形のように、どこか丸みのある甘さ。みずみずしいけど、やさしさも感じさせる。そんな〝桃〟の香りこそ「大人のドールライフ」を送る私たちにぴったりな香りじゃないでしょうか？

心からリラックスしたい夜のひとときにはお香タイプのものを選び、ゆらめく煙を眺めながら、一日をふりかえってみたり、忙しない日々のことを忘れてみてはいかがでしょう。美しい曲線を描きながら立ち上る煙の形状に心を癒されたあとはぐっすりと眠れそうです。

日中に気持ちを切り替えたいときには、好きなときに消せるキャンドルタイプがおすすめ。またキャンドルタイプなら、ナイトタイムに優しい光をみつめながら香りを楽しむこともできます。今はひとつのシリーズでも、実にたくさんの香りのライナップが用意されているので、色々と買いそろえてお部屋の中に並べればインテリアとしても楽しんでみてはいかがでしょう。

香りのある、大人のドールライフ。香りと共に〝大人の余裕〟を心にもたせて、さらに楽しく、充実したドールライフをぜひ過ごしてください。

作ってみよう!

Just make it!

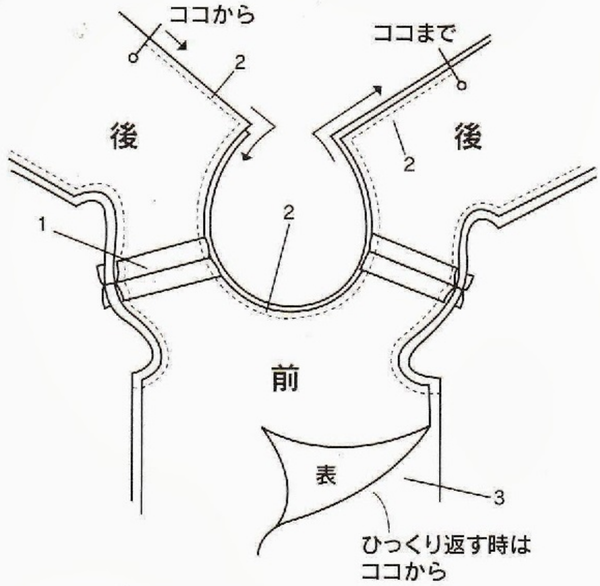


ドール・
コーディネイト・
レシピ LIGHT

DRESS
PATTERNS

Just make it!

内山順子(allnurds)
P68-69



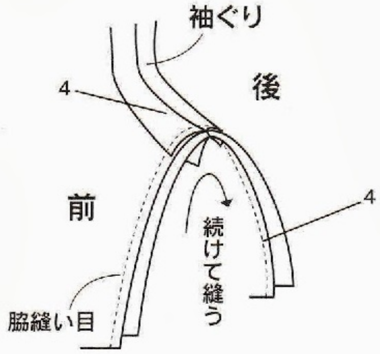
バルーンワンピースの作り方

［材料］

用尺:表裏各15cm×20cm、4mmボタン1個

［作り方］

1. 表地、裏地はそれぞれの前後肩を縫い合わせ、縫い代をアイロンで割る。
2. 身頃を中表に合わせ、襟ぐりと袖ぐりを縫い合わせる。
   ※襟ぐりは、後ろあき止まりからぐるりと続けて縫い合わせる。
3. 前身頃側の肩から後ろ身頃を引っぱり出し、表に返してアイロンで整える。
4. 身頃の脇を表地から裏地まで続けて縫い合わせた後、縫い代を割る。
5. 表地の裾はギャザーを寄せておき、身頃が中表になるように裾を合わせて縫い合わせる。
6. 表に返したら、後ろ中心のあき止まりより下の表地のみを、中表に縫い合わせる。難しい場合は手まつりでもOK。あとは裏地の開いている部分をまつっておく。
7. 後身頃にボタンと糸ループを付ける。(左にボタン、右に糸ループです。)



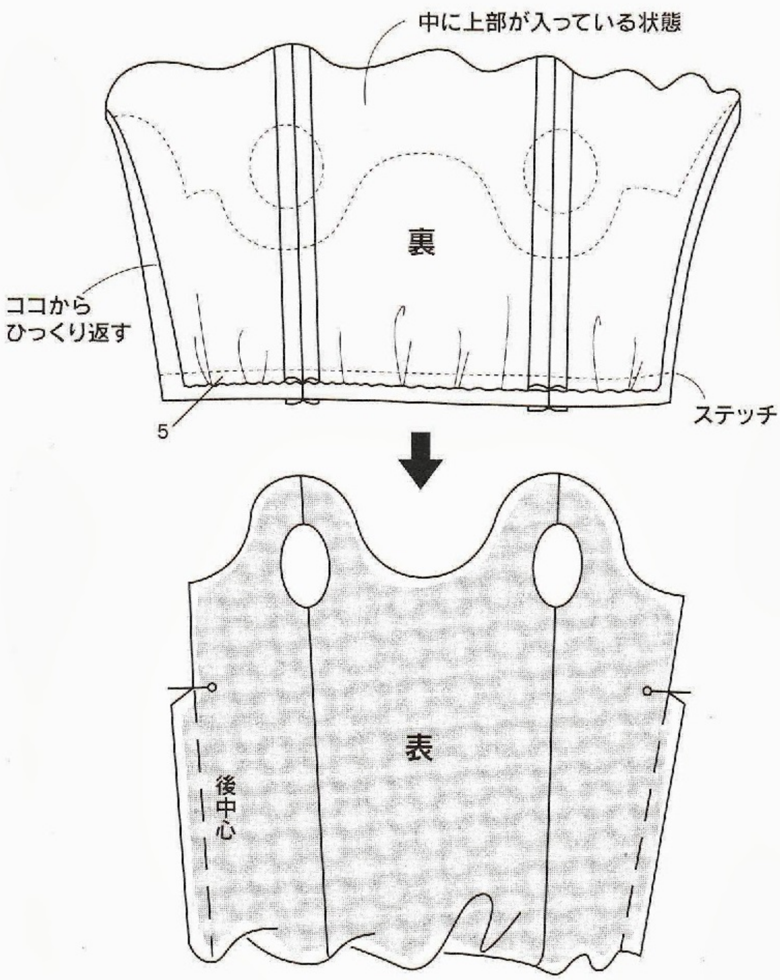
ロングソックスの作り方

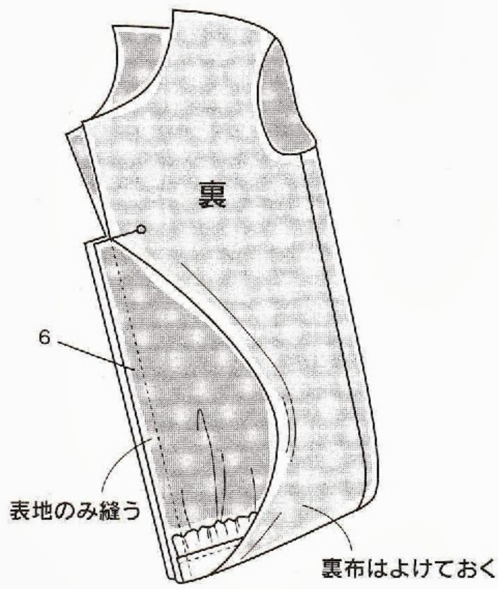
［材料］

用尺:15cm×15cm

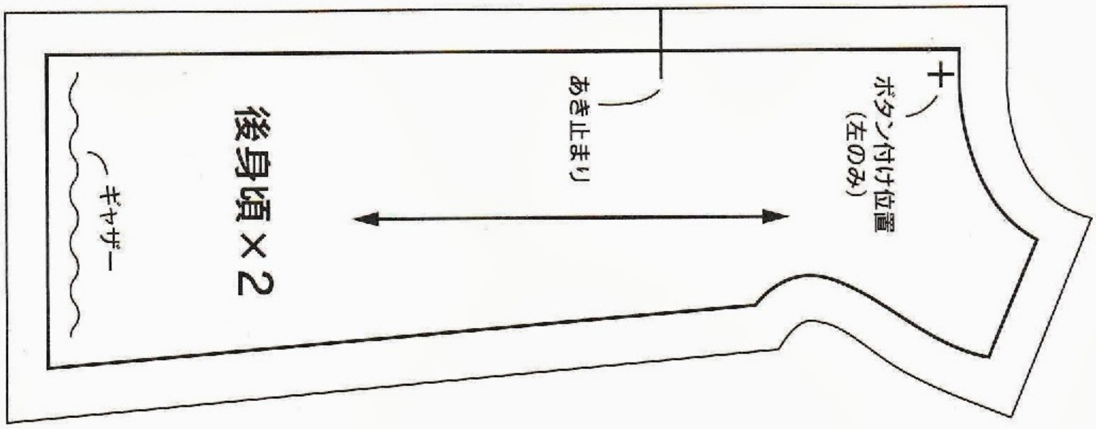
［作り方］

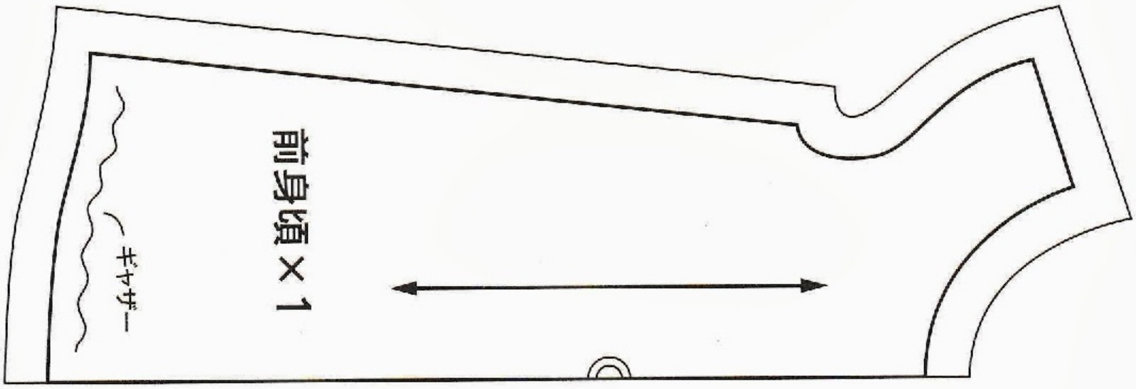
1. ソックス上部をアイロンで折ってステッチをかける。
2. 中表に縫い合わせ、表に返す。左右作るのを忘れずに!



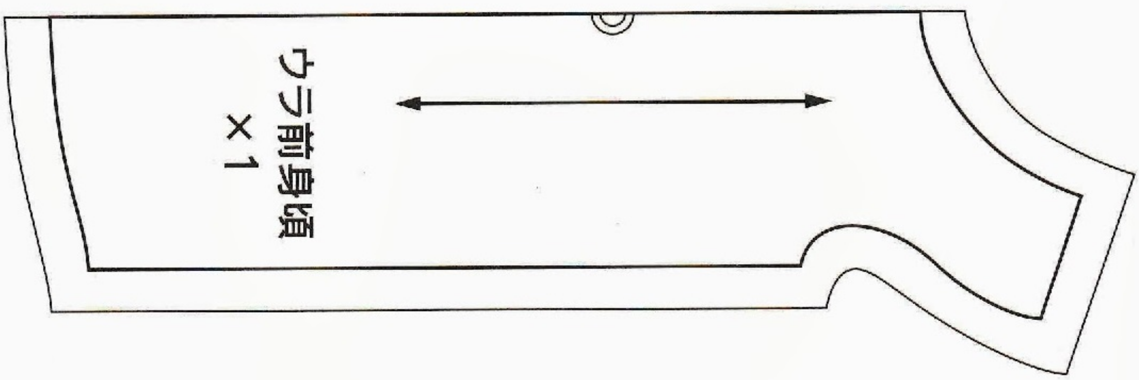


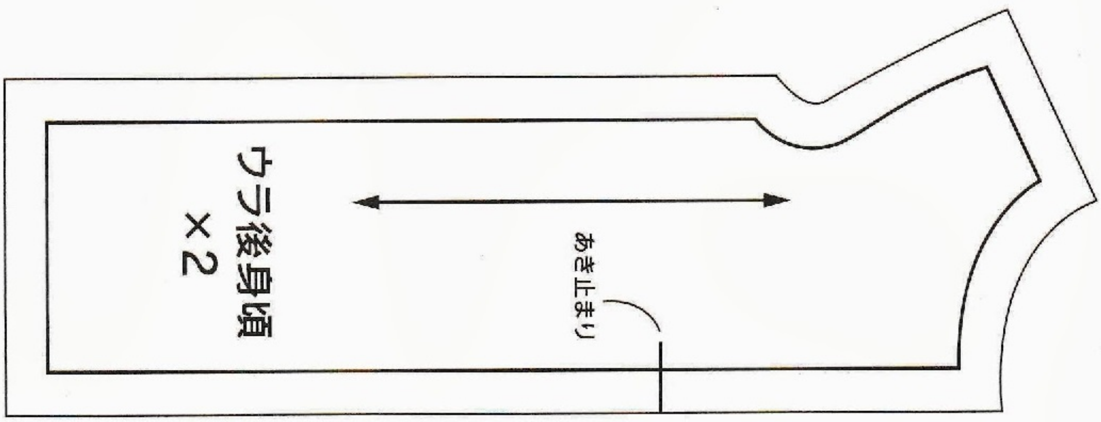


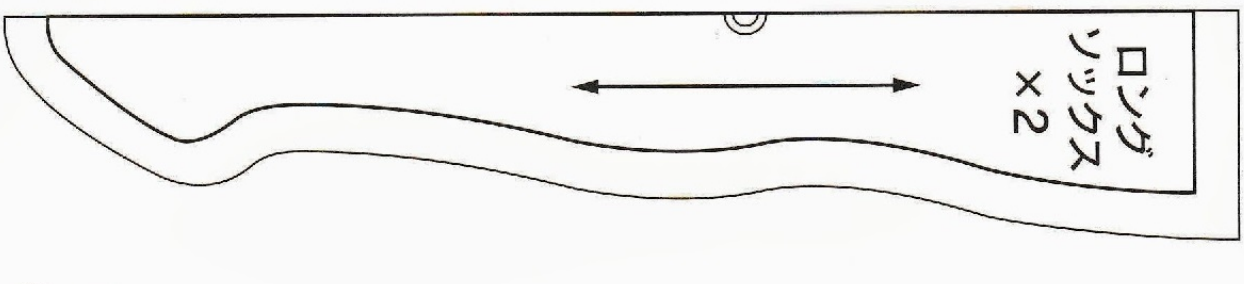




momoko DOLL pattern×100%







Just make it!

内山順子(allnurds)
P68-69

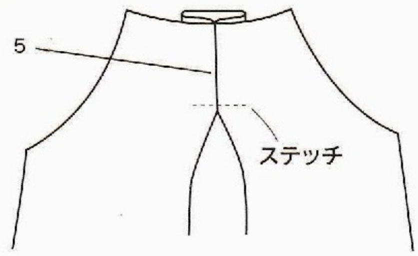
ボリュームジャンパーの作り方

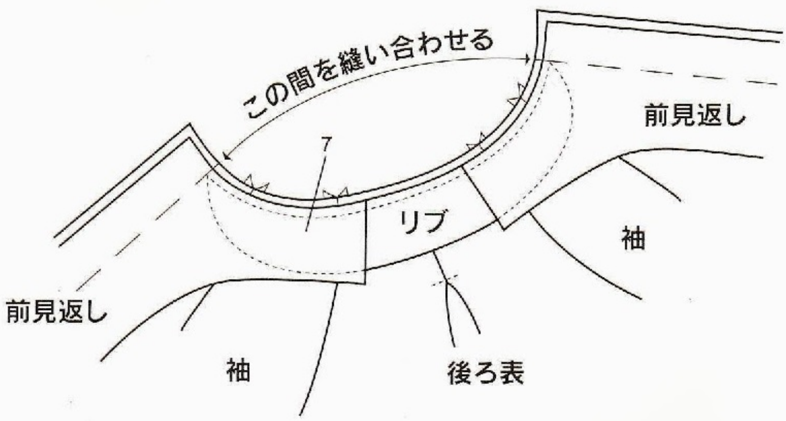
[材料]

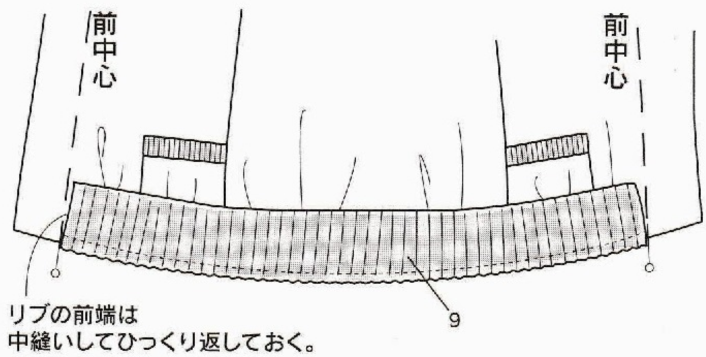
用尺:15cm×60cm、リブ布 10cm×15cm、オープンファスナー1本(8cm)

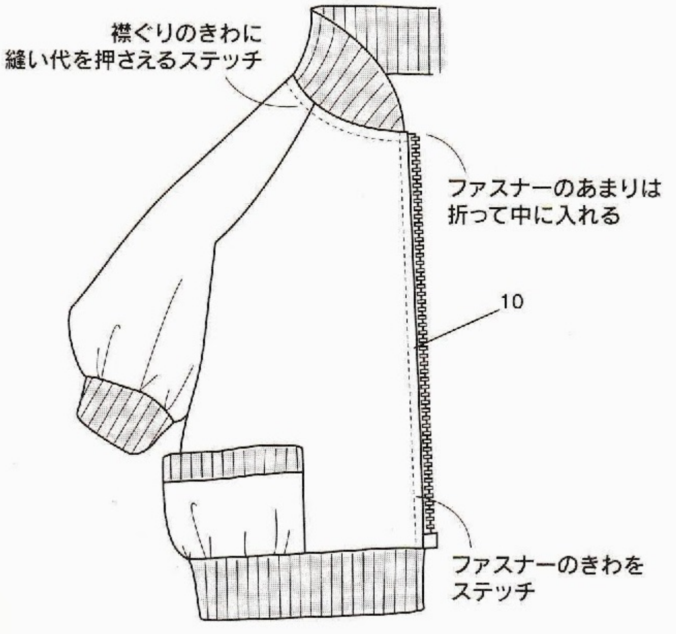
[作り方]

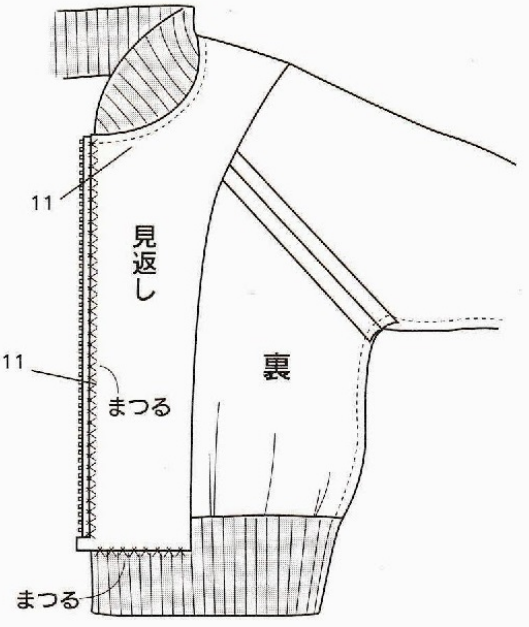
1. 布を型紙どおりに切り、すべての端にほつれ止めを塗っておく。リブ布にはしなくて良い。
2. 袖口にギャザーを寄せておき、二つ折りにしたリブ布を伸ばしながら付ける。
3. ポケット口のリブも二つ折りにしてから、ポケット口の寸法に伸ばしながら付ける。
4. ポケット布の前中心側のみをアイロンで折り、前身頃のポケット位置に付ける。
5. 後ろ中心のボックスプリーツをあき止まりまで縫い、アイロンで割ったら表からあき止まりにステッチをかける。
6. 袖の前後を間違えないように注意し、それぞれ身頃と縫い合わせる。
7. 襟ぐりのリブ布を二つ折りにして、伸ばしながら襟ぐりにしつけで留めておく。前見返しを重ね、一緒に襟ぐりを縫い合わせる。
8. 前後を中表に合わせ、袖下から身頃脇を続けて縫い合わせる。この時、前のポケットを一緒にはさみ込むのを忘れずに。
9. 身頃の裾はギャザーを寄せておき、両端を中縫いした裾リブ布を付け位置に合わせて伸ばしながら縫い付ける。
10. 寸法に調節したオープンファスナーを前身頃に付ける。この時、見返しは除けておく。
    ※ファスナーは一番上に付いている止め具を外し、寸法部分の金具をペンチなどで外してから指定の位置へ付け替えてください。止め具は単品で売っている場合もあります。
11. 襟ぐりのきわに縫い代を押さえるステッチをかけ、見返しをファスナーへまつり付けたら完了!

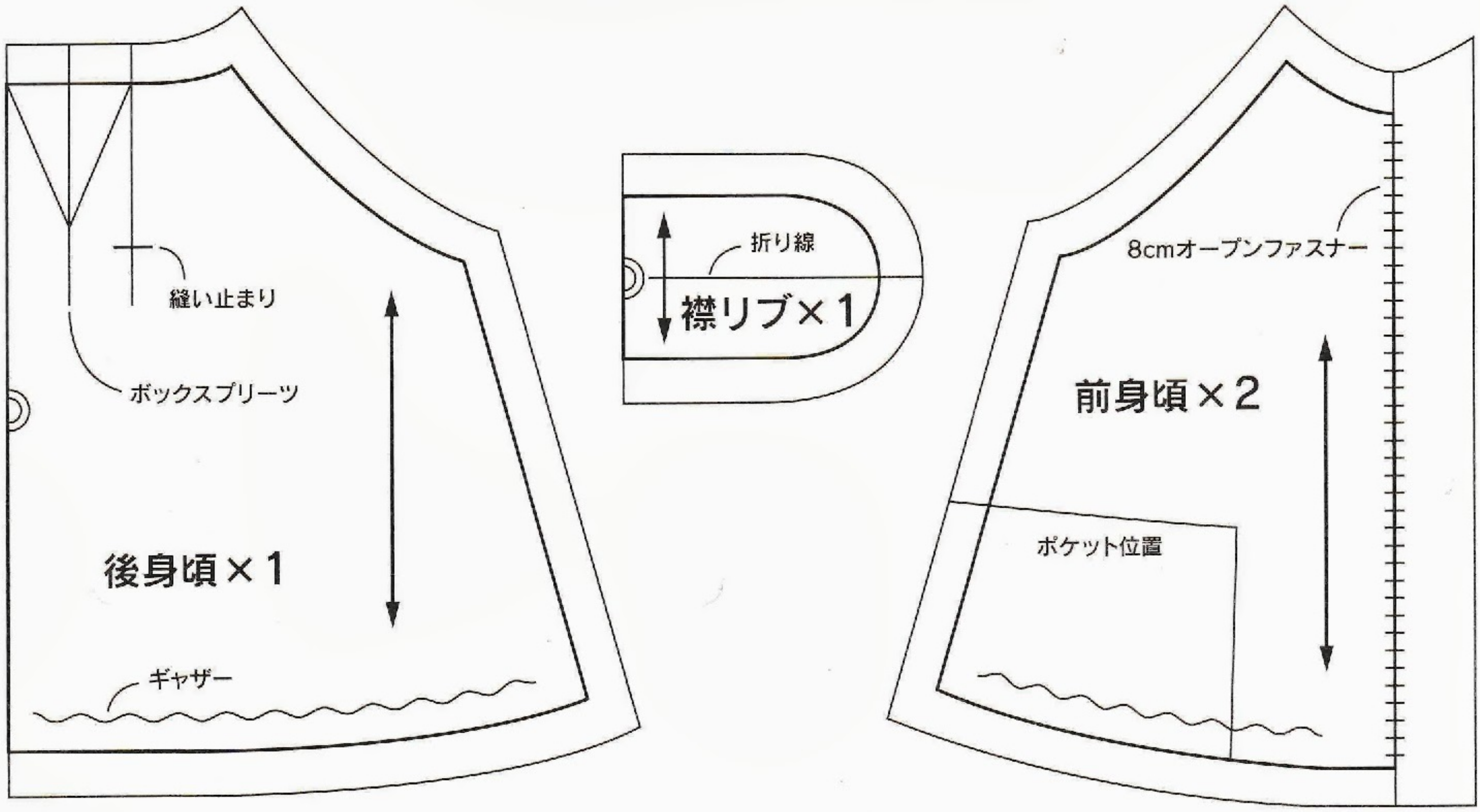




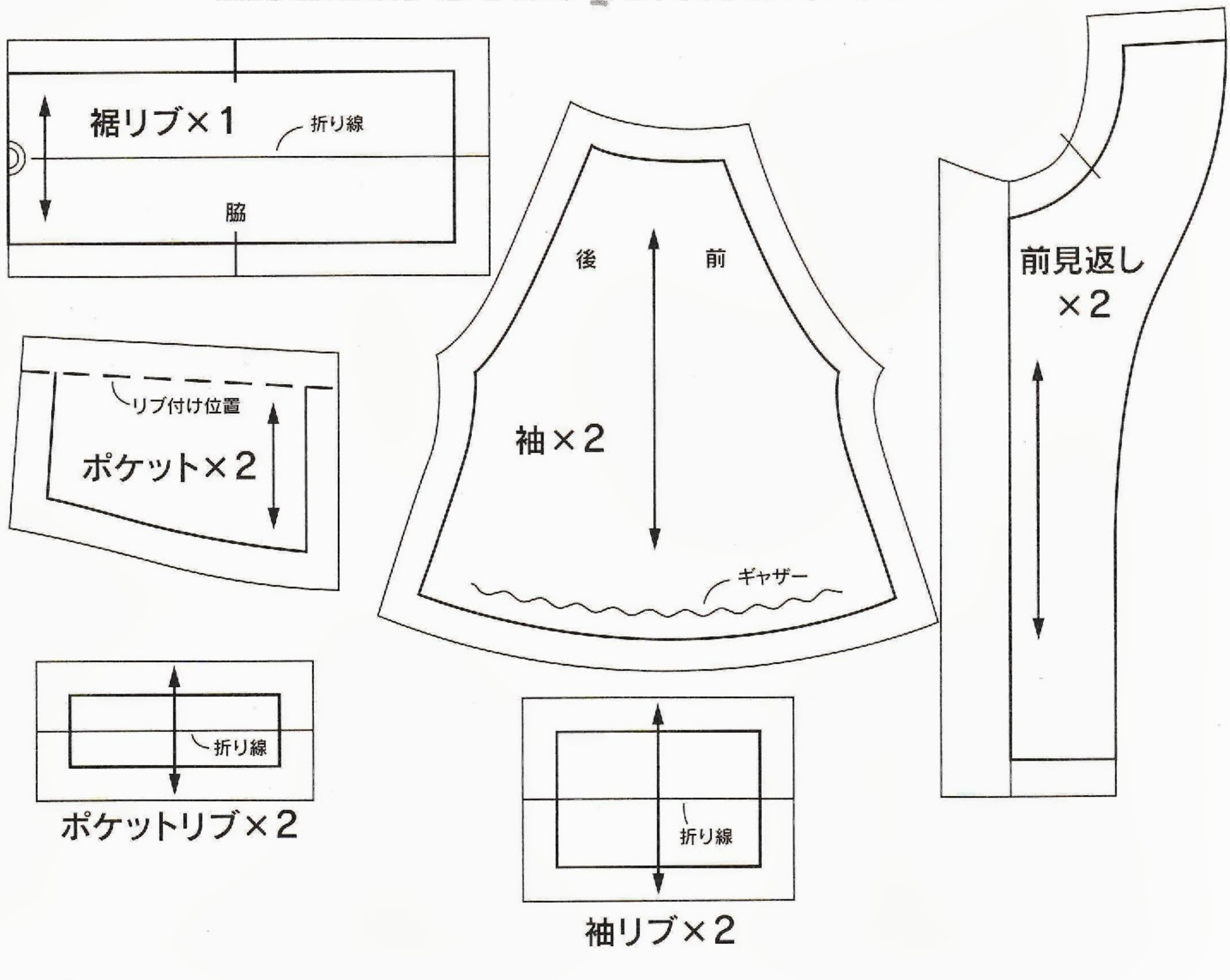






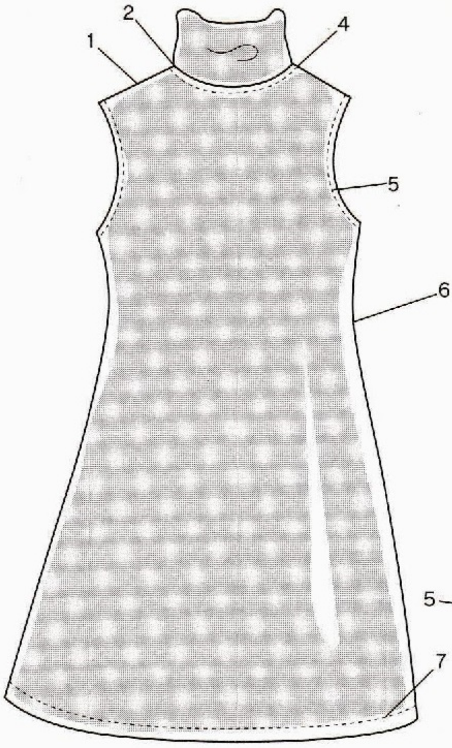


momoko DOLL pattern×100%



Just make it!

えびねひろこ(Daisy-D)
P70-71

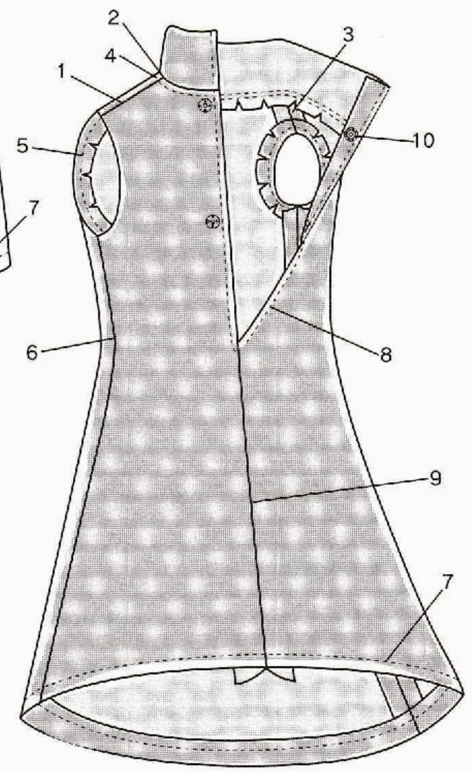


表

シンプルワンピースの作り方

［材料］
ニット地(天竺、綿ジャージ、ニット等の伸縮性のある薄手布地)
25cm×25cm、スナップボタン2組

［作り方］
1. 肩を中表に縫う。縫い代を割ってアイロンで押さえる。(※注1)
2. 折り線で折った襟を前中心合い印に合わせ、襟ぐりに縫い合わせる。
3. 襟ぐり縫い代に切り込みを入れ(※注2)、厚みが出てしまう場合は縫い代を落とし(※注3)、身頃側に倒してアイロンで押さえる。
4. 表から襟ぐりにステッチをかける。
5. 袖ぐりの縫い代に切り込みを入れ、出来上がりに折り、表からステッチをかける。
6. 脇を中表に縫う。縫い代は割る。
7. 裾を出来上がりに折り、表からステッチをかける。
8. あきにステッチをかける。
9. 後ろ中心を裾からあき止まりまで中表に縫う(※注4)。縫い代は割る。
10. 表に返して、スナップボタンを縫い付ける。



裏

ワンポイントアドバイス

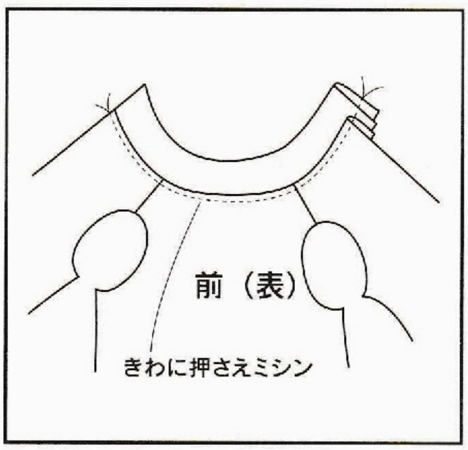
(※注1) アイロンで押さえる
1工程縫い終わったら、その度にアイロンで押さえると仕上がりがきれいに。

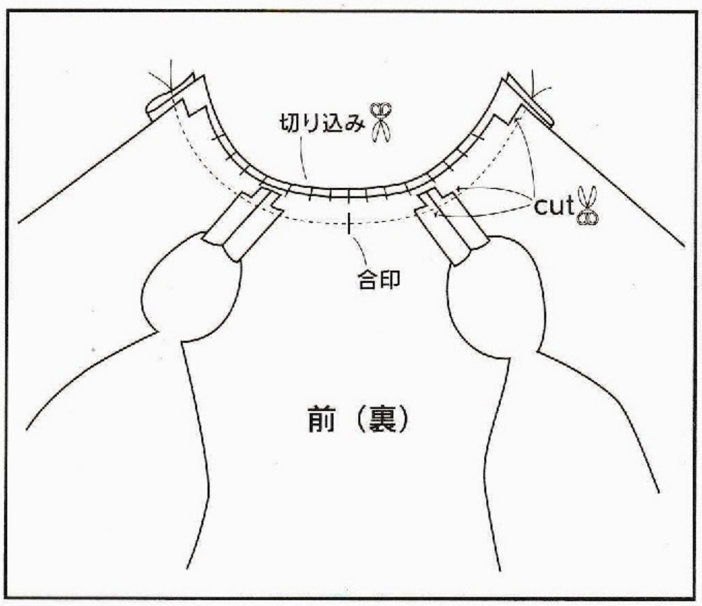
(※注2) 切り込み
表に返した時につれないようにするため、カーブの強い部分に切り込みを入れる。
切り込みは線に対して直角に入れるようにする。

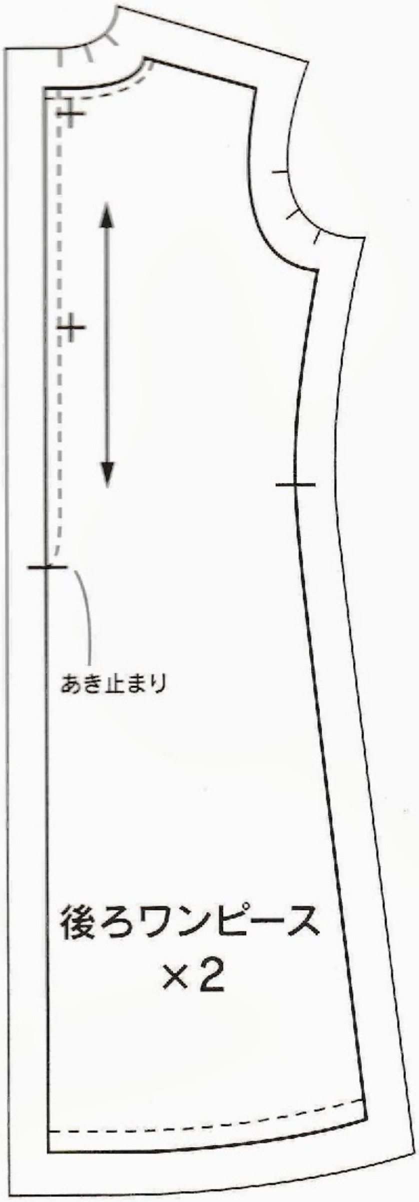
(※注3) 縫い代を落とす
布地が厚かったり、縫い代が重なって厚みが出てしまう場合は、見えない部分の不要な縫い代だけ切って落とし、厚みを押さえるようにする。厚みが出なければそのままでも大丈夫。

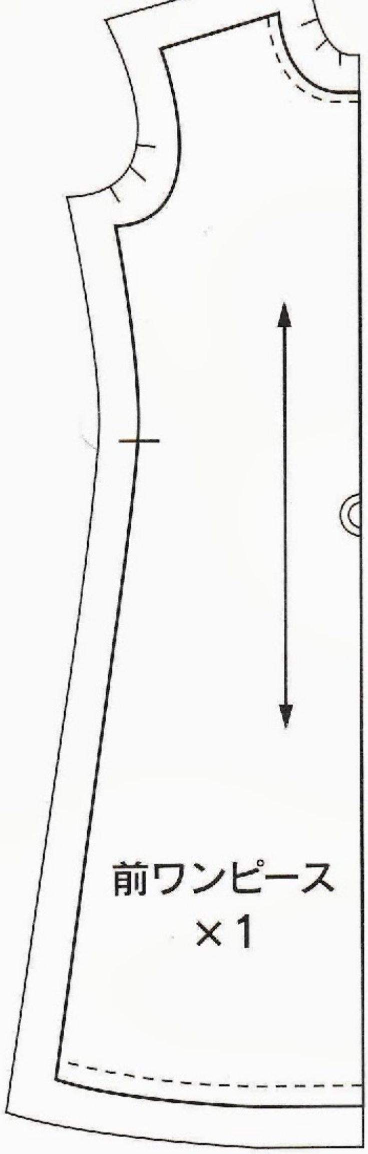
(※注4) あき止まりまで縫う
あき止まりは着せ替えの時に力がかかる場所なので、しっかり返し縫いをする。

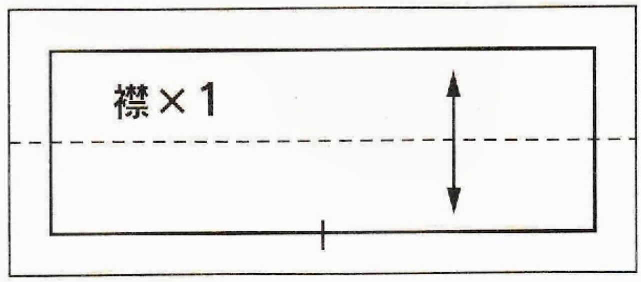
・ミシンがない人は手縫いでもOK! 手縫いの場合は返し縫いで裾ステッチはまつり縫いで。
・着ていない自分のTシャツなどを使用して、人形の服にリメイクしてみてもいい。
・ミシン糸は、あればニット用ミシン糸を使う。
・ミシン縫い時に布が伸びるようだったら、下に紙を敷いて縫う。
・端はほつれ止め液などで処理してもいい。
・アレンジ例を参考に、いろいろなデザインでアレンジしてみてください。











momoko DOLL pattern×100%

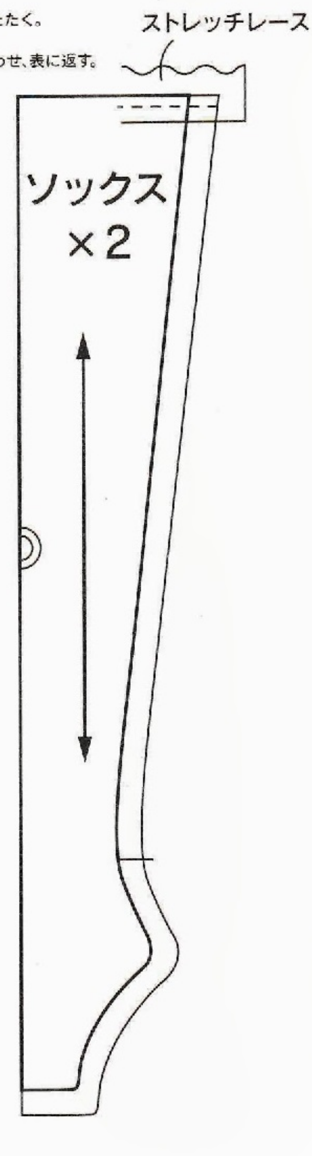
ソックスの作り方

[材料]

薄手ストレッチ生地15cm×15cm、
ストレッチレース12cm

[作り方]

1. 履き口にレースをたたく。
2. 後ろ中心を縫い合わせ、表に返す。



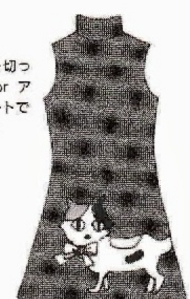


基本のワンピース



基本シンプルワンピをもとにして、いろいろアレンジしてみてね!

好きな柄の布を切って、アップリケ or アイロン接着シートでワンポイントに!





フリルのリボンをスタンドカラーにして、前立てとラインストーンボタンをプラスしてお嬢様ワンピに。



フラットカラーの襟にして。ロリータ風ワンピに。



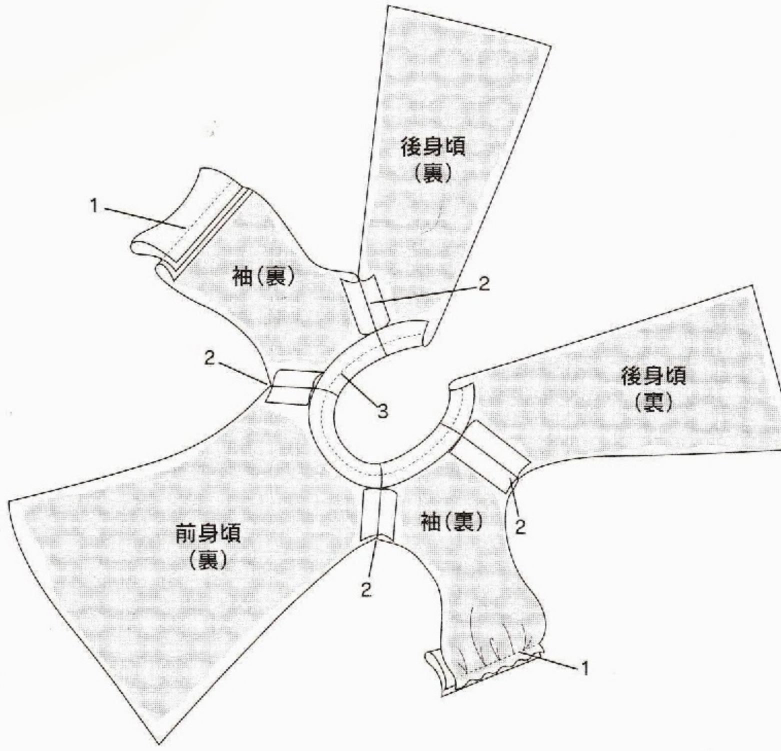
襟とアームホールと裾にレースを使って。



着なくなった自分のTシャツで。

おかかずみ（QP）

P72-73

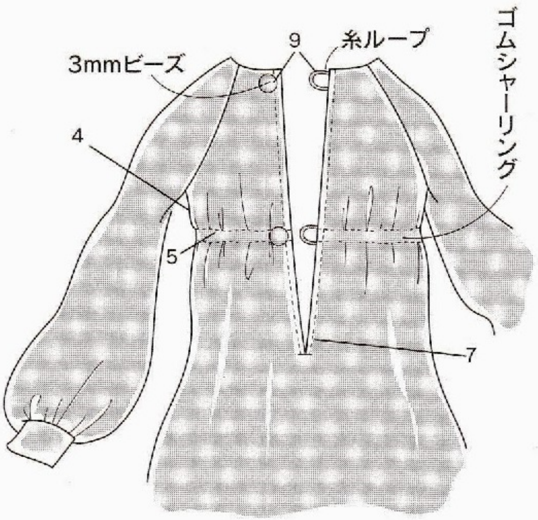


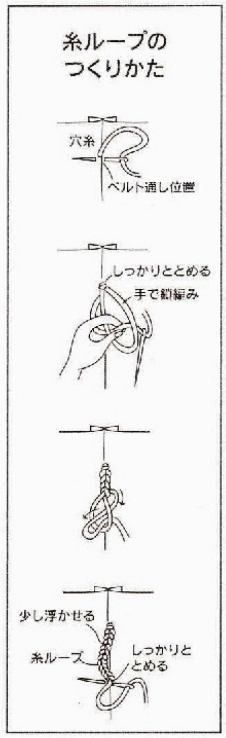
ワンピースの作り方

［材料］天竺 タテ20cm×ヨコ40cm、シャーリングゴム9cm、3mmビーズ 2個

［作り方］

1. 二つ折りにした袖口布を袖に巾を合わせて伸ばしながらステッチで押さえる。
2. 袖ぐりで前身頃と袖の前側、後身頃と袖の後ろ側を中表にそろえてそれぞれ縫い合わせる。
3. 襟ぐりを5mm折り込んでステッチで押さえる。
4. 前、後身頃を中表に合わせて袖下から脇にかけて縫い合わせる。
5. 胸下にシャーリングを入れる為、裏面にゴムをのせて身頃の幅に合わせてゴムを伸ばしながらステッチで押さえる。
6. 裾布を身頃の幅に合わせて伸ばしながらステッチで押さえる。
7. 後ろあき部分をネックからあき止まりまで、それぞれ5mmに折ってステッチで押さえる。
8. 後ろ中心をあき止まりから裾まで中表にそろえて縫い合わせ、表に返す。
9. 後ろあきに3mmビーズと糸ループを付ける。





ウールのマントの作り方

［材料］

表地…薄手のウール タテ15cm×ヨコ40cm、裏地…キュプラ
タテ15cm×ヨコ40cm、3mm平丸ボタン8個、カギホック2個、スナップ1組

［作り方］

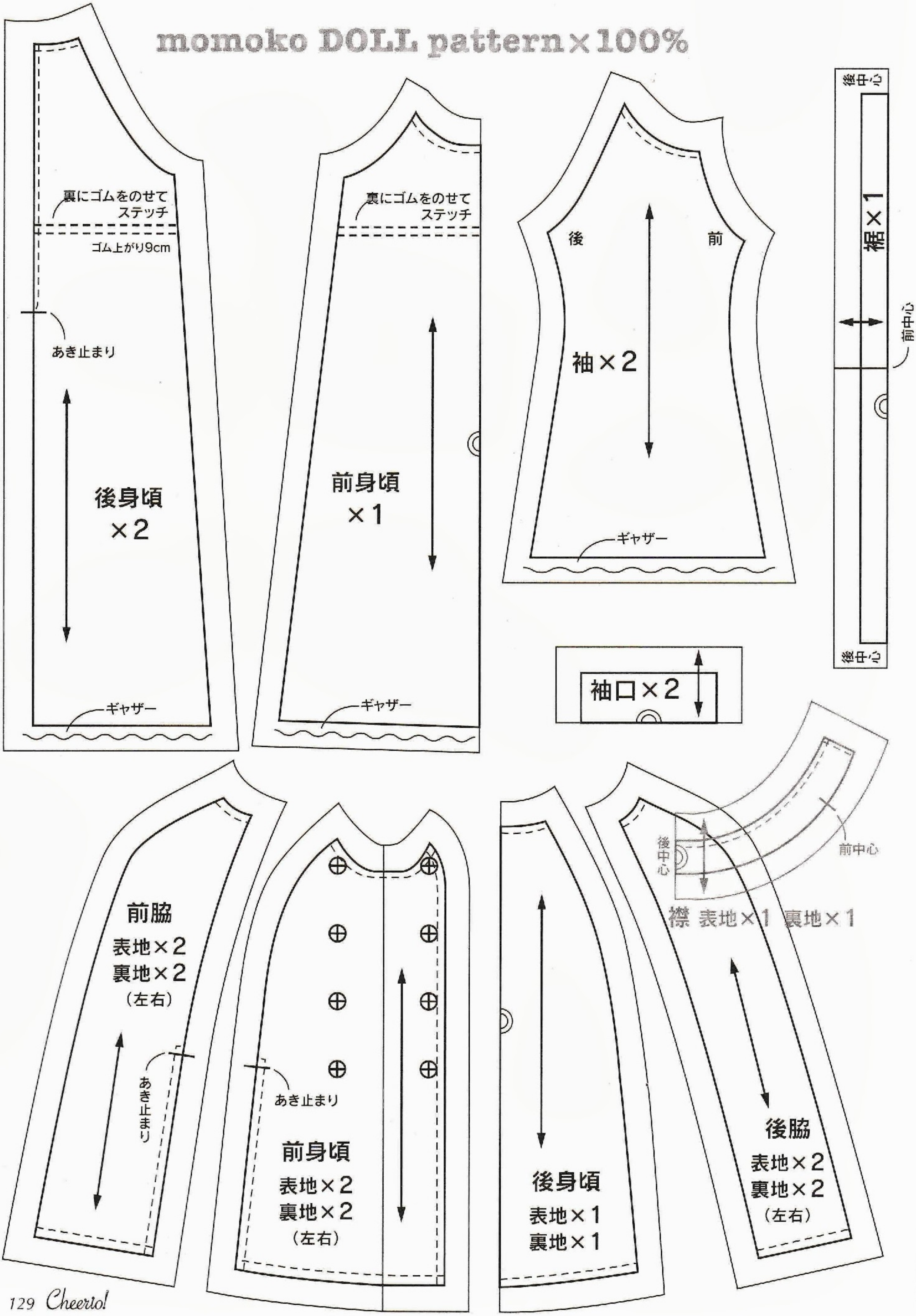
1. 表地の後身頃と後脇を中表にそろえて縫い合わせる。
2. 前身頃と前脇を中表にそろえてからスリットのあき止まりまで縫い合わせる。
3. 前身頃と後身頃脇で中表にそろえて縫い合わせる。
4. 裏地も同様に縫い合わせる。
5. 表地と裏地を中表に合わせて、前端、裾、前スリットをそれぞれ縫い合わせる。
6. ネックの所から表面が外側になるようひっくり返し、形を整えて端にステッチをかける。
7. 表襟と裏襟を中表に縫い合わせ、ひっくり返して形を整え端にステッチをかける。
8. 表地の襟ぐりに襟を縫い付ける。
9. 表地襟ぐりの縫い代、襟の縫い代、裏地襟ぐりの縫い代が内側に入るように折って、形を整え、ステッチをかけて押さえる。
10. 前合わせの内側にカギホック・糸ループとスナップをつける。
11. 飾りのボタンを付ける。



各パーツを縫い合わせてから
表地と裏地を中表に揃えて縫い合わせる。



momoko DOLL pattern×100%



Just make it!

カニホル
P74-75

スウェットワンピースの作り方

［材料］
スウェット生地 30cm×40cm、薄型マジックテープ4.5cm×1cm

［作り方］
1. 袖にギャザーを寄せて袖口を縫い付ける。
2. 前後身頃に袖を付ける。
3. 身頃に襟布を伸ばしながら縫い付ける。
4. 袖口～脇を縫う。
5. 裾に裾リブを伸ばしながら縫い付ける。
6. マジックテープを指定の位置に縫い付ける。
7. 後ろ中心を縫い止まりまで縫い合わせる。

スカーフの作り方

［材料］
用尺:15cm×15cm

［作り方］
1. ほどき止まりまで縫い、布目に沿った2辺を
ほどき止まりまで解く。
2. 手洗いをする。
3. バイアスになった部分を折って縫う。

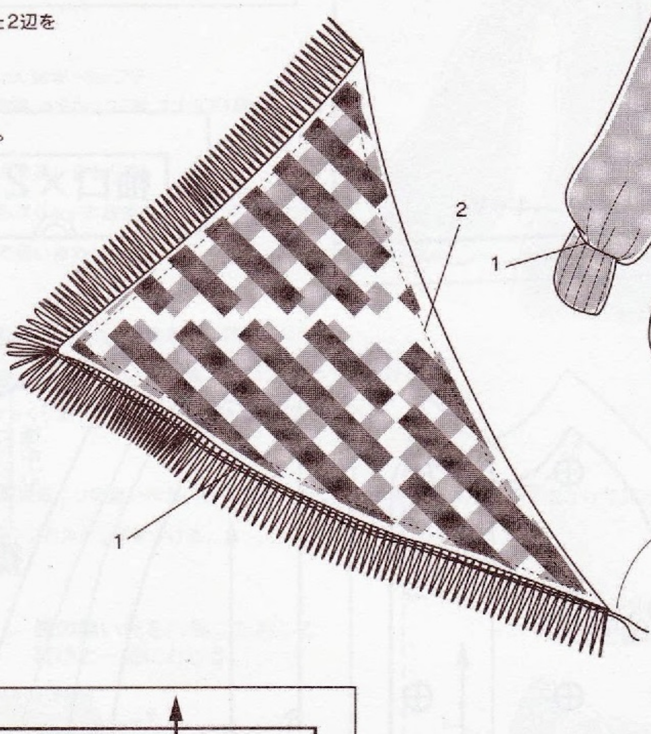
ニーソックスの作り方

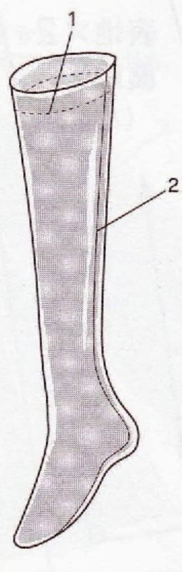
［材料］
用尺:15cm×15cm

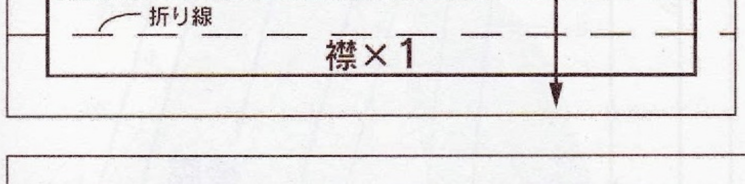
［作り方］
1. 入り口を仕上がり線に折って縫う。
2. 二つに折って袋状にして縫う。
ひっくり返す。

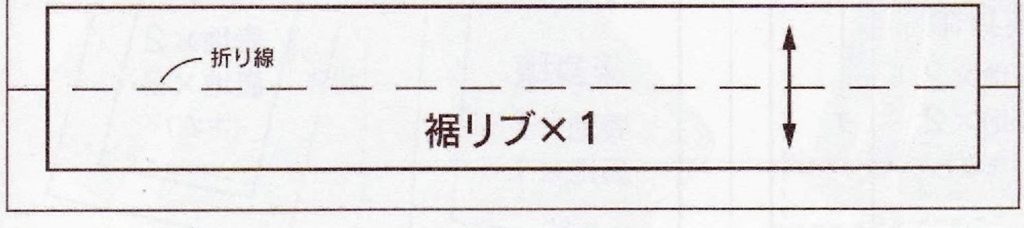


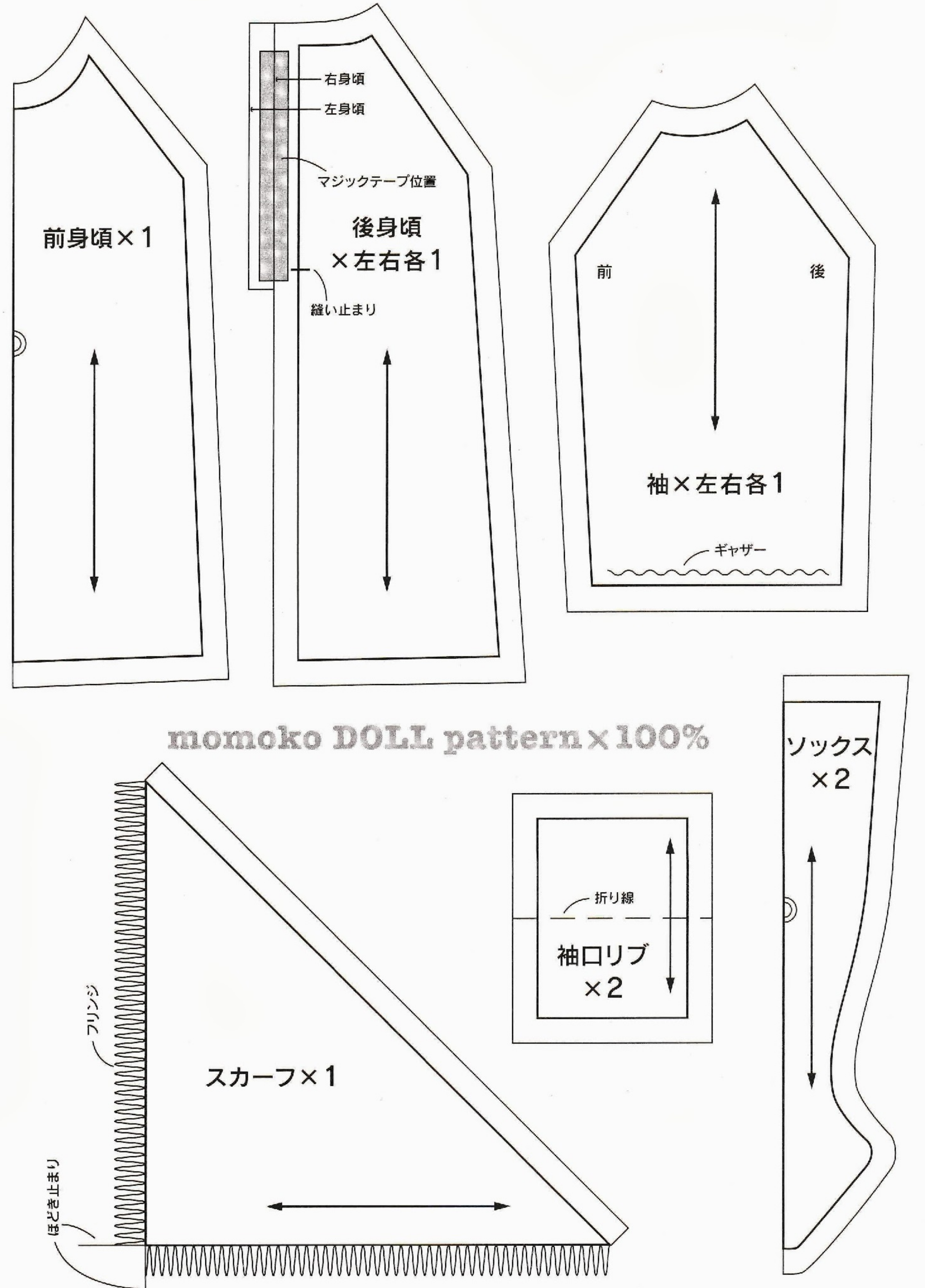











前身頃×1
右身頃
左身頃
マジックテープ位置
後身頃
×左右各1
縫い止まり
前
後
袖×左右各1
ギャザー
momoko DOLL pattern×100%
ソックス
×2
折り線
袖口リブ
×2
フリンジ
ほどき止まり
スカーフ×1

Just make it!

salon de monbon P76-77

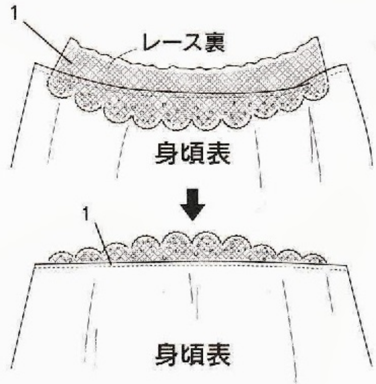
キャミソールワンピース（インナー用）の作り方

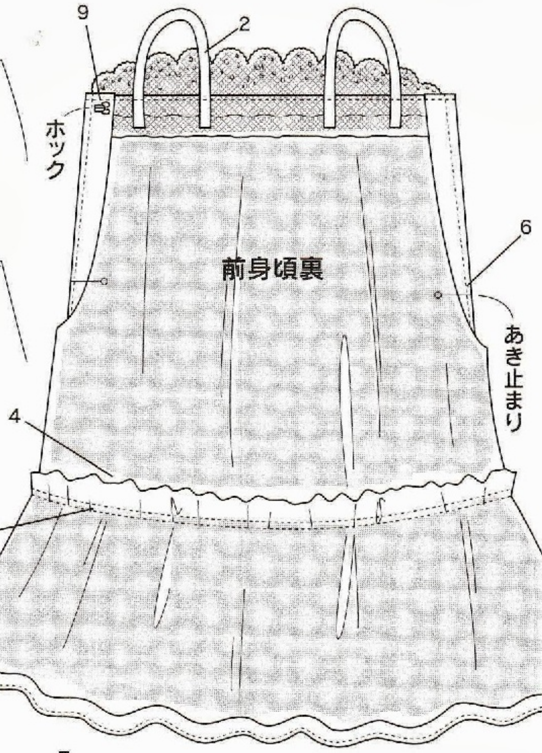
［材料］

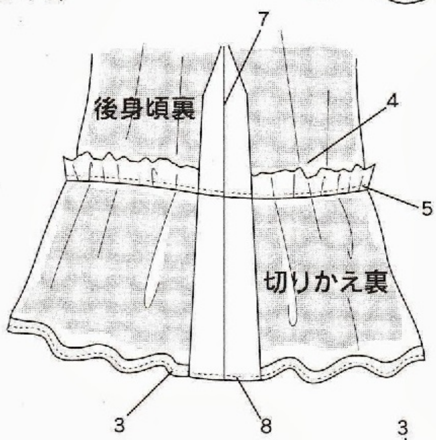
ポリエステルシフォン（プリーツ加工）タテ16cm×ヨコ26cm、
2cm巾レース 13cm、2mm巾リボン 7cm×2本、ホック 1個

［作り方］

1. 身頃にレースを図のように両端が少し中に入るように中表にのせ、縫ってから後ろに折り返し、ステッチで押さえる。
2. 身頃のリボン付け位置に2mm巾リボンを縫い付ける。（人形に当てながら、長さを調節するとよい。）
3. 切り替えの裾を二つ折りにしてステッチをかける。
4. 切り替えの上部にギャザーを寄せる。
5. 身頃と切り替えを中表に縫い合わせ、縫い代を身頃側に倒してステッチをかける。
6. 身頃の後ろ中心をあき止まりの1cmほど下まで内側に折り込みステッチをかける。
7. 後ろ中心からあき止まりまで中表に縫い合わせる。
8. 後ろ中心の縫い代をアイロンで割り、裾を縫い留める。
9. 後ろあきに1ケ所ホックと糸ループを縫い付ける。







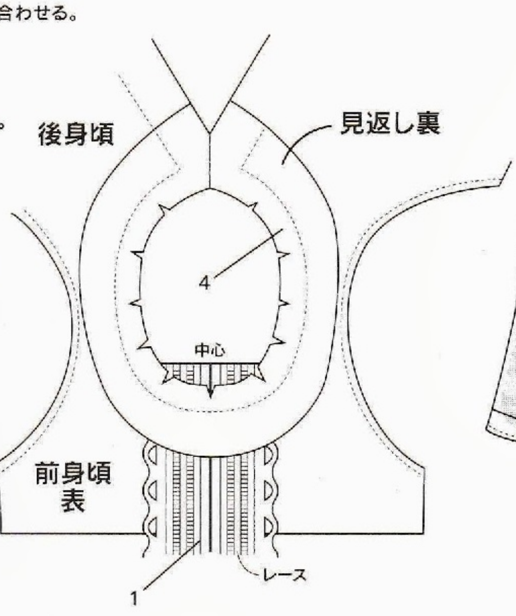
ノースリーブワンピースの作り方

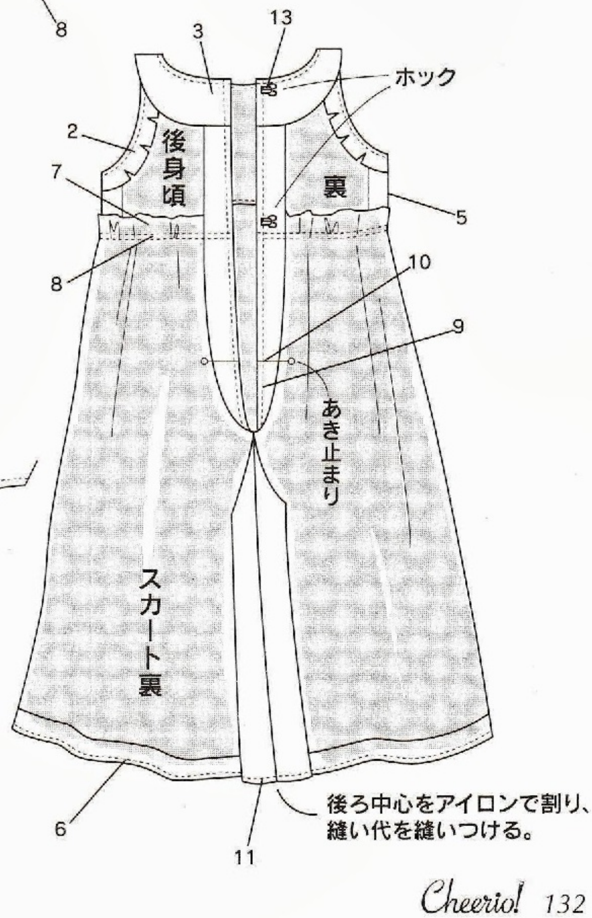
［材料］

薄手コットン タテ22cm×ヨコ23cm、1cm巾レース 3cm×2本、
2mmパールビース 6個、ホック 2個

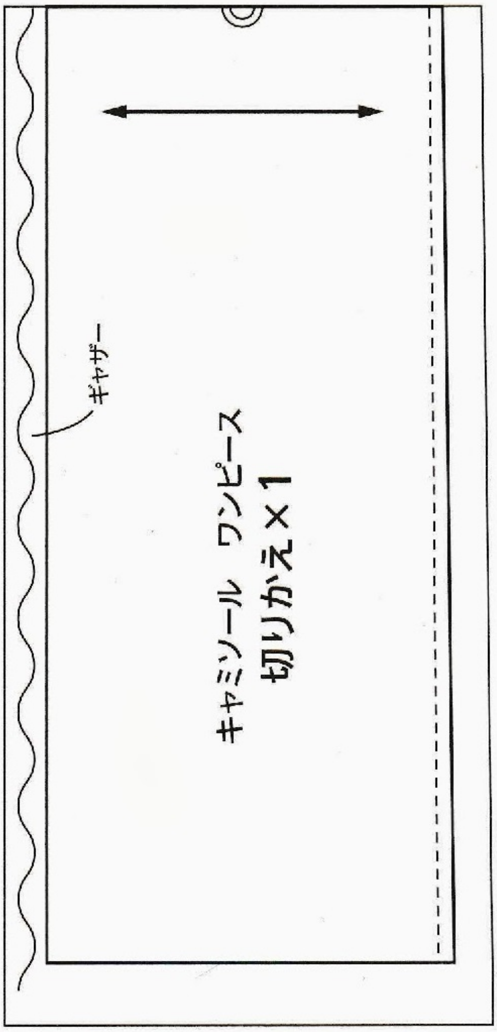
［作り方］

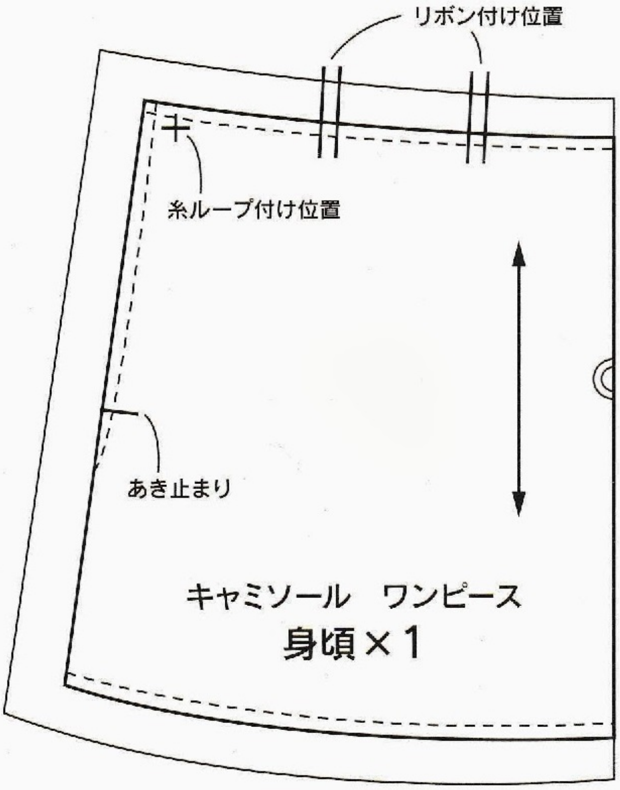
1. 前身頃の中心から左右対称にレースをたたく。
2. 袖ぐりに切り込みを入れ、二つ折りにしてステッチをかける。
3. 身頃と襟ぐり見返しを中表に縫い合わせる。
4. 襟ぐり、身頃の縫い代に切り込みを入れ、見返しを裏に返し、襟ぐりの形を整えステッチをかける。
5. 身頃の両脇を中表に縫い合わせ、縫い代をアイロンで割っておく。
6. スカートの裾を二つ折りにしてステッチをかける。
7. スカート上部にギャザーを寄せる。
8. 身頃とスカートを中表に縫い合わせ、縫い代を身頃側に倒してステッチで押さえる。
9. 後ろ中心をあき止まりの1cmほど下まで内側に折り込みステッチをかける。
10. 後ろ中心からあき止まりまで中表に縫い合わせる。
11. 後ろ中心の縫い代をアイロンで割り、裾を縫い留める。
12. 前身頃中心にパールビーズを縫い付ける。
13. 後ろあきに2ケ所ホックと糸ループを縫い付ける。

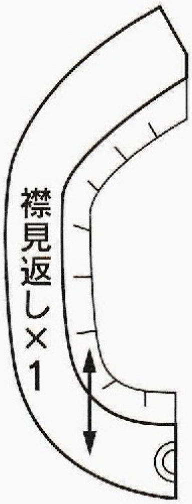


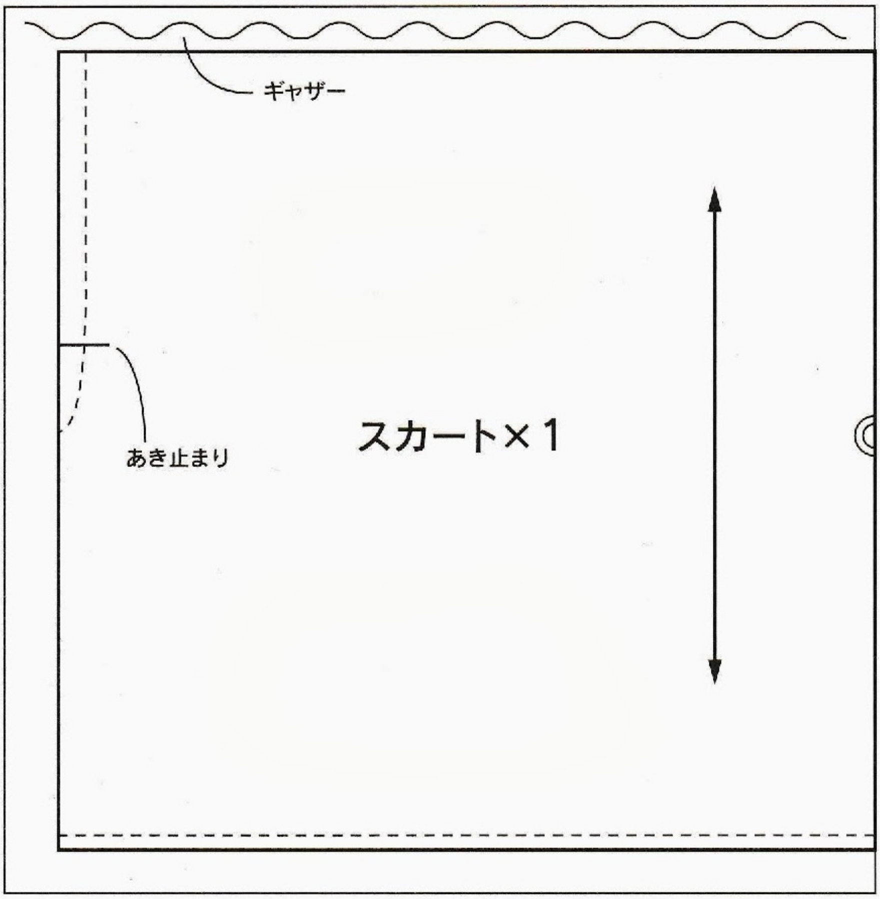


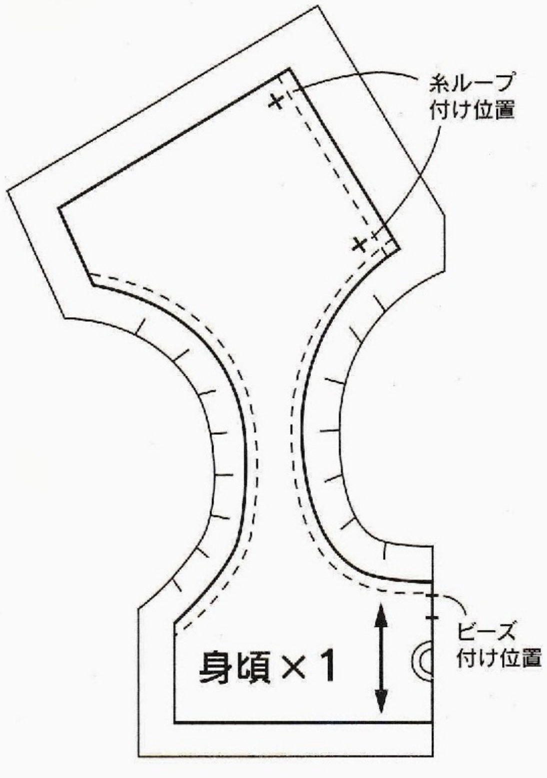
momoko DOLL pattern×100%











Just make it!

関口妙子（F.L.C.）
P78-79

フレアパンツの作り方

［材料］
コットン生地 11cm×12cm、8mm幅レース 約20cm、3mm幅ゴムテープ 適量、細幅リボン 適量

［作り方］
1. 前中心を中表に縫い合わせ、縫い代に切り込みを入れ両割にしてプレスする。
2. 裾にレースをたたく。
3. ウエストを二つ折りにしてプレスし、ゴムテープをたたく（ゴム上がり7.5cm）。
4. 後ろ中心を中表に縫い合わせ、縫い代に切り込みを入れ両割にしてウエスト部分にステッチをかけて縫い代を押さえる（イラスト3の要領で）。
5. 股下を中表に縫い合わせる。
6. 両サイド裾に飾りのリボンを縫い付ける。

ソックスの作り方

［材料］チュール生地 10cm×10cm、
10mm幅ストレッチレース 8cm

［作り方］
1. ソックスの履き口にレースをたたく。
2. 後ろ中心を中表に縫い合わせ、表に返す。

ブラウスの裾をのばしてワンピースにしたり、袖をのばして長袖にしたり、パンツの裾にもゴムテープをたたけばかぼちゃパンツに。色々簡単にアレンジできます。

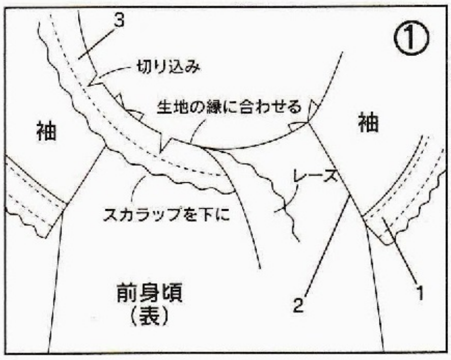
※裁断したパーツにはあらかじめピケを塗り、ほつれ止め処理をする。
※前後身頃の胸下ゴムたたき位置にチャコペンで印を付けておく。

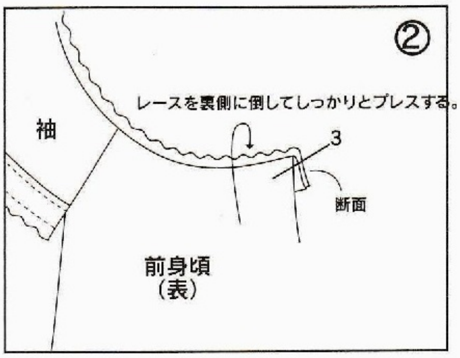
スモックブラウスの作り方

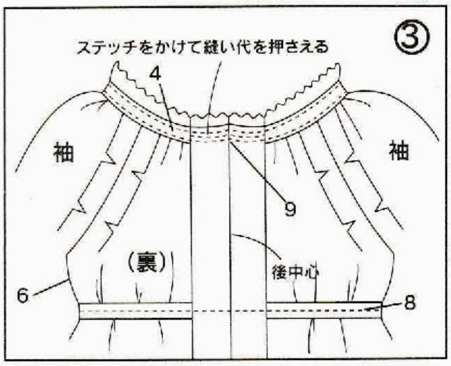
［材料］
コットン生地 21cm×11cm、8mm幅レース 約50cm、3mm幅ゴムテープ 適量、細幅リボン 適量

［作り方］
1. 袖口にレースをたたく（レースを指定の位置に合わせ、ミシンをかける）。レースをたたく時はレースの端と生地の端、2ケ所ステッチを入れる（パターン参照）。
2. 前後身頃と袖をそれぞれ中表に縫い合わせ、縫い代に切り込みを入れ、両割にしてプレスする。
3. 襟ぐりにレースを縫い合わせ、縫い代に切り込みを入れ、裏側に倒してプレスする（イラスト1.2参照）。
4. 襟ぐりの裏側にゴムテープを引きながらたたく（ゴム上がり10cm）。
※ゴムテープをたたく時は、あらかじめテープにゴム上がりサイズの印を付けておき、下に紙を敷いて縫うと縫いやすい（コピー用紙等でOK）。紙の上に身頃パーツとゴムテープを置き、一針刺してから生地をまっすぐに引っ張り、数ミリ折り返し縫いをした後ゴムを最後まで一気に引っ張ってステッチをかける。少しずつ引っ張ると ギャザーが均等に入らないので注意。
5. 袖ぐりも同じ要領でゴムテープをたたく（ゴム上がり3.5cm）。
6. 袖～脇を中表に縫い合わせ、脇に切り込みを入れ両割にしてプレスする。
7. 裾にレースをたたく。
8. 胸下のゴムたたき位置にゴムテープをたたく（ゴム上がり8cm）。
9. 後ろ中心を中表に縫い合わせ、縫い代を両割にして襟ぐり部分にステッチをかけて縫い代を押さえる（イラスト3参照）。
10. 胸下中心に飾りのリボンを縫い付ける。

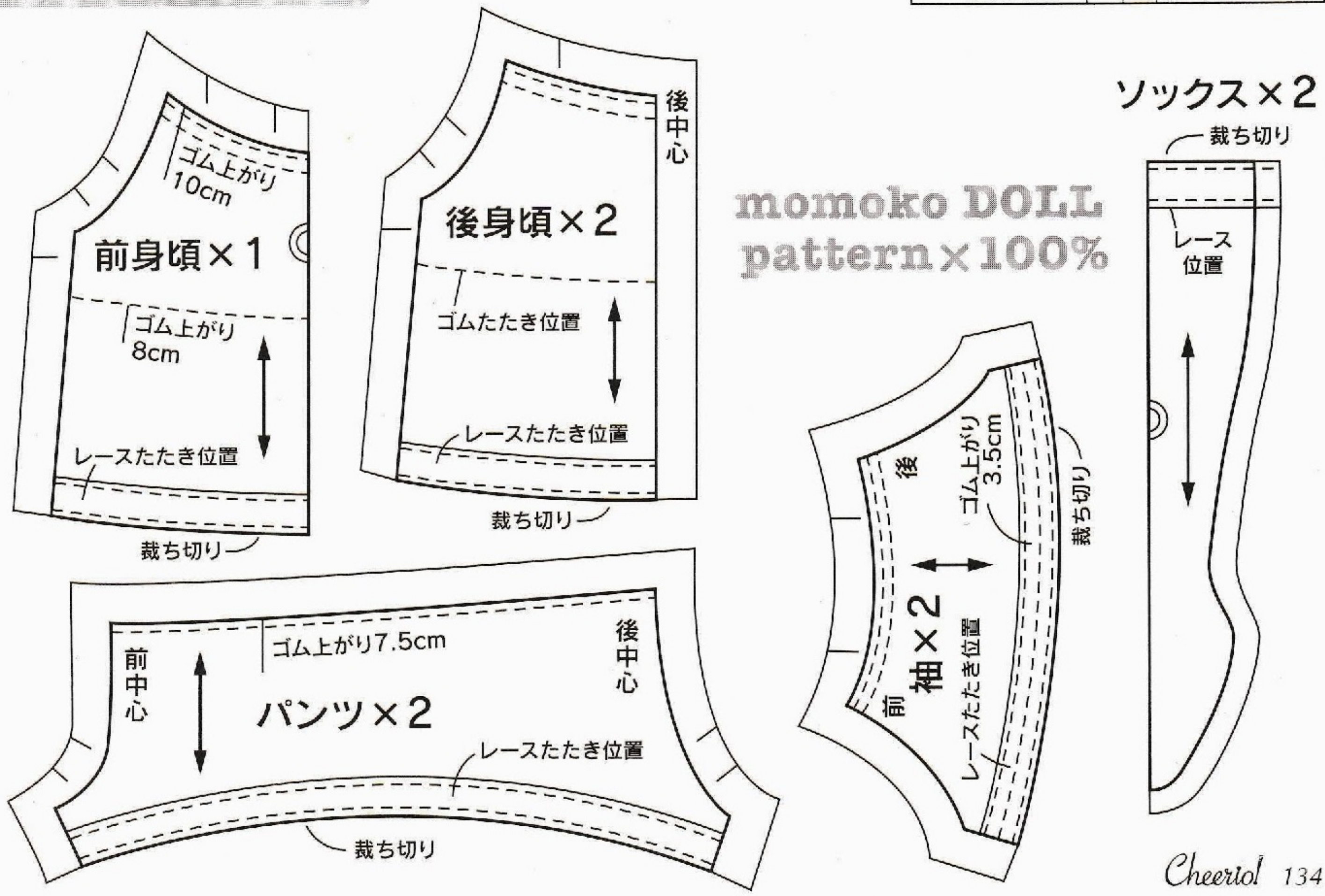
※このブラウスには開きがありません。
足元からはかせ、ゴムを伸ばして着せ付けます。







momoko DOLL
pattern×100%



…★charm_bus★…
P80-81

オールインワンの作り方

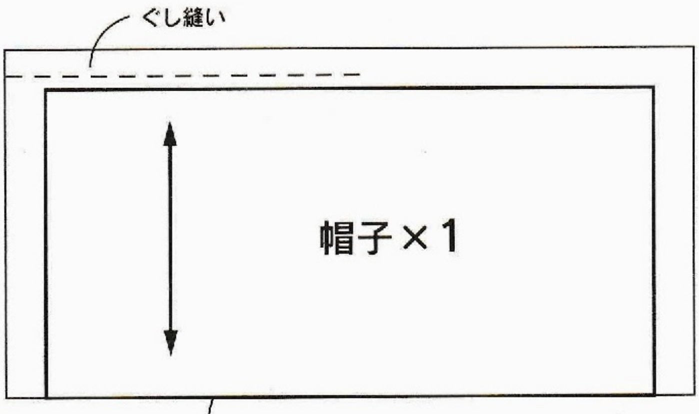
［材料］ ニット生地 15cm×17cm、バックル1個、スナップ2個

［作り方］
1. パンツの前中心を縫い、前身頃と縫い合わせる。
2. 脇を縫い、袖ぐりと裾を二つ折りにしてステッチをする。
3. 身頃の肩を縫い、襟ぐりを二つ折りにしてステッチをする。
4. ベルトにステッチをして後ろ身頃に縫い付ける。
5. 後ろ中心の縫い止まりからベルトを挟んで縫い合わせる。
6. 股下を縫う。
7. スナップをつけ、ベルトにバックルをつける。

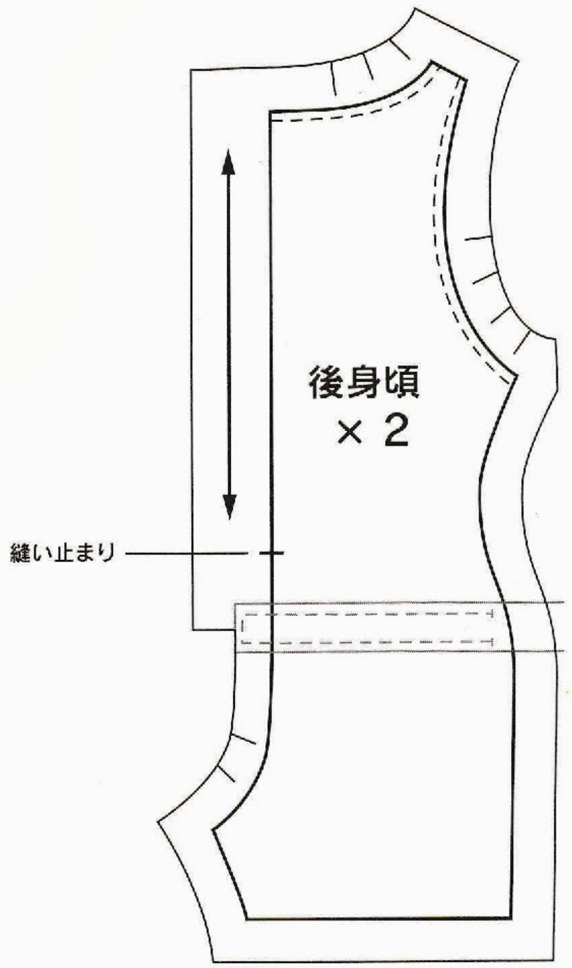
キャップの作り方

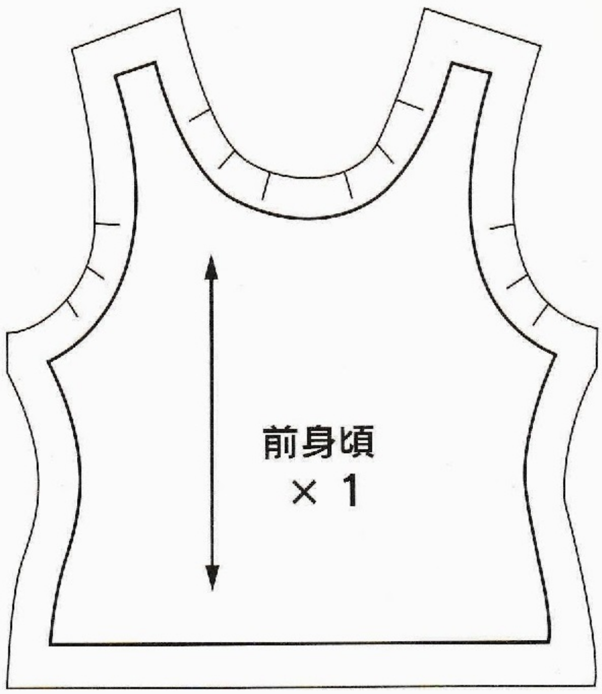
［材料］ ニット生地 5cm×9cm

［作り方］
1. 後ろ中心を縫う。
2. 上部をぐし縫いで縮める。

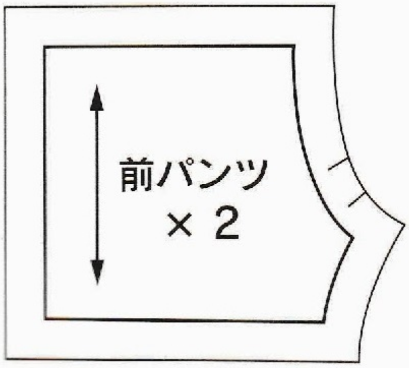


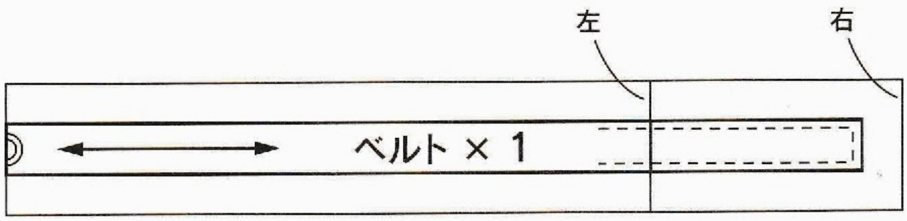
※ 端処理が必要無い布を使っています。





momoko DOLL pattern×100%





…★charm_bus★…
P80-81

ハイネックカットソーの作り方

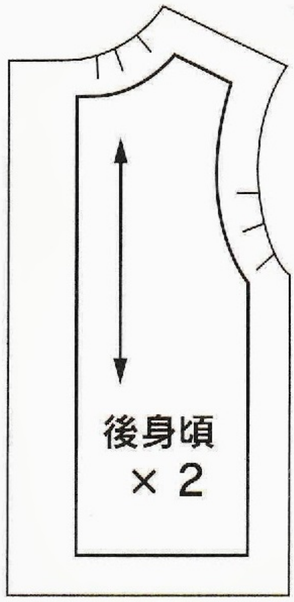
［材料］
ニット生地 19cm×13cm、スナップ2個

［作り方］
1. 身頃の肩を縫う。
2. 袖口を二つ折りにしてステッチをし、身頃に縫い付ける。
3. 襟の両端を縫い、身頃に縫い付ける。
4. 脇を縫い合わせる。
5. 裾を二つ折りにしてステッチをする。
6. スナップを付ける。

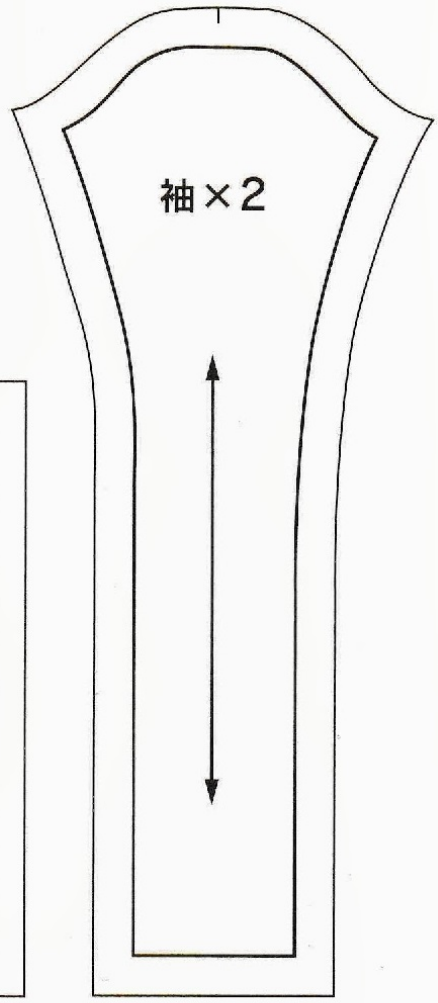
レッグウォーマーの作り方

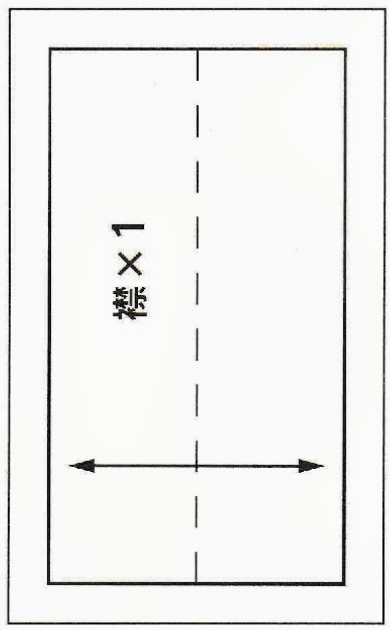
［材料］
ニット生地 15cm×15cm、ボンテン（極小）2個

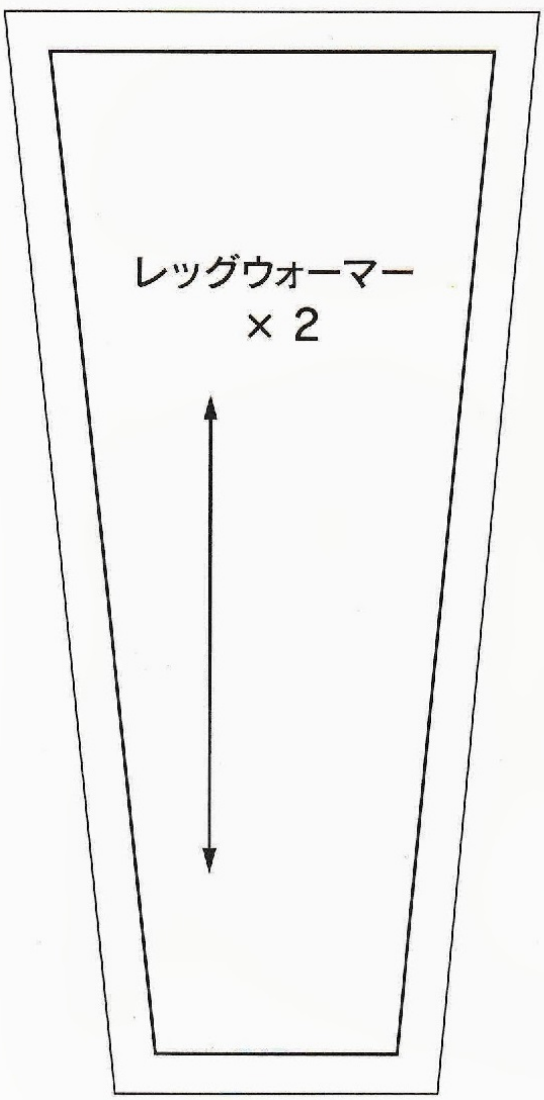
［作り方］
1. 履き口を二つ折りにしてステッチをする。
2. 後ろ中心を縫い合わせる。
3. ボンテン（極小）を付ける。



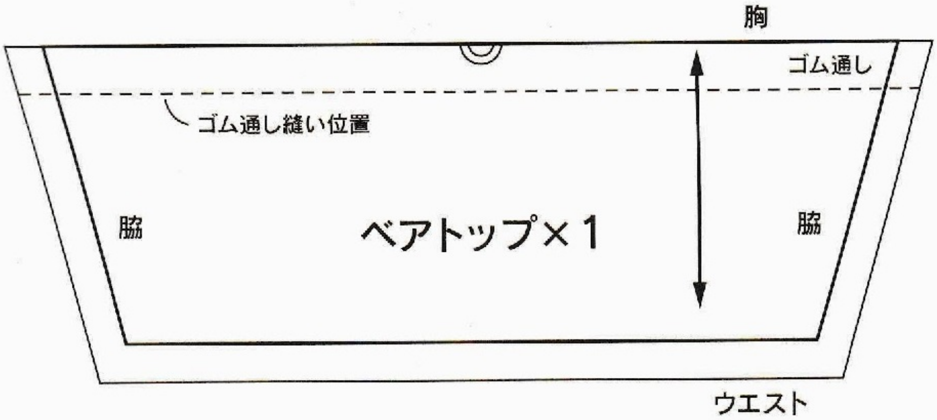




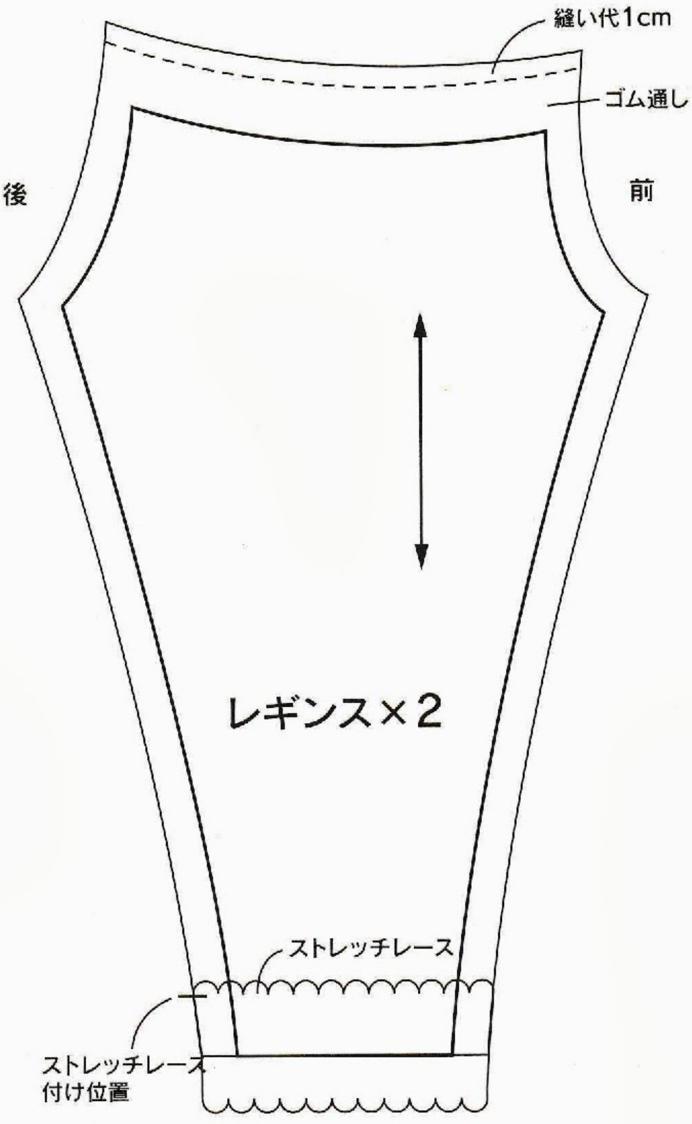




momoko DOLL pattern×100%



momoko DOLL pattern×100%



Just make it!

Be Free* MINAMI
P82-83

ベアトップの作り方

［材料］
白薄手のニット5cm×13cm、幅3mmのゴム14cm、ハトロン紙（縫うときに布の下に敷いて縫います。縫い終わったら縫い目から丁寧に外します。）糸はニット用のものを使ってください。

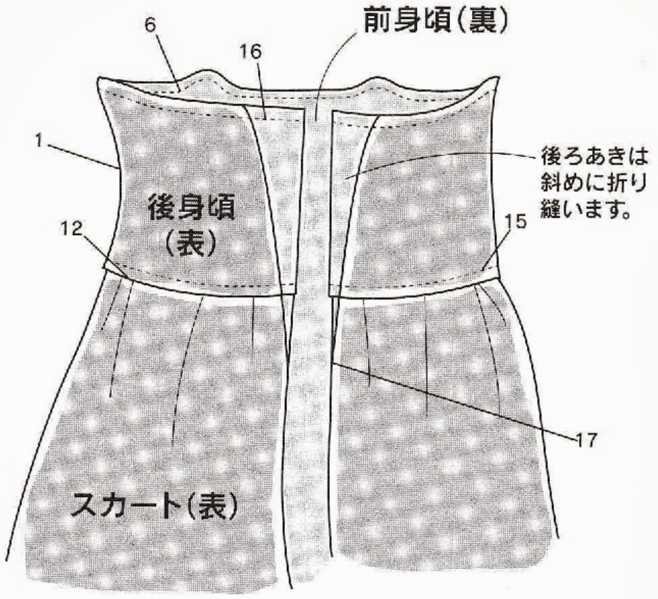
［作り方］
1. 布をわの部分で中表に折り、下の部分を縫う。
2. 縫った部分をアイロンで片側に倒しておく。
3. 表に返し、縫い目を下にしてアイロンで押さえる。
4. 上の部分にゴムを通す部分を作る。上から7mmくらいの部分を直線に縫う。
5. ゴムを通す。ゴム通しがない場合は細いヘアピンなどで代用可能。
6. 本体の幅が8.5cmくらいになるようにゴムを引いて縮める。
7. ゴムを切らずに脇を縫う。縫い終わったらゴムを切る。
8. 表に返して出来上がり。

＊ニットの伸縮がよい場合はゴム通しは作らなくても、そのまま着せられます。

レギンスの作り方

［材料］
白薄手のニット14cm×18cm、幅1.5cm程度の白のストレッチレース5cm、幅3mmのゴム14cm、ハトロン紙（縫うときに布の下に敷いて縫います。縫い終わったら縫い目から丁寧に外します。）
糸はニット用のものを使ってください。

［作り方］
1. 裾に表からストレッチレースをたたく。
2. 中表にして前中心を縫う。
3. ゴム通しを作る。ウエスト部分を1cmくらい折り、アイロンで押さえる。上から7mm位のところを縫う。
4. ゴムを通す。ウエスト部分が6.5cmくらいになるように縮める。
5. ゴムを切らずに後ろ中心を縫う。縫い終わったらゴムを切る。
6. 足の部分を足首から足首まで続けて縫う。
7. 股のカーブの部分に糸を切らないように切込みを入れる。
8. 表に返して出来上がり。



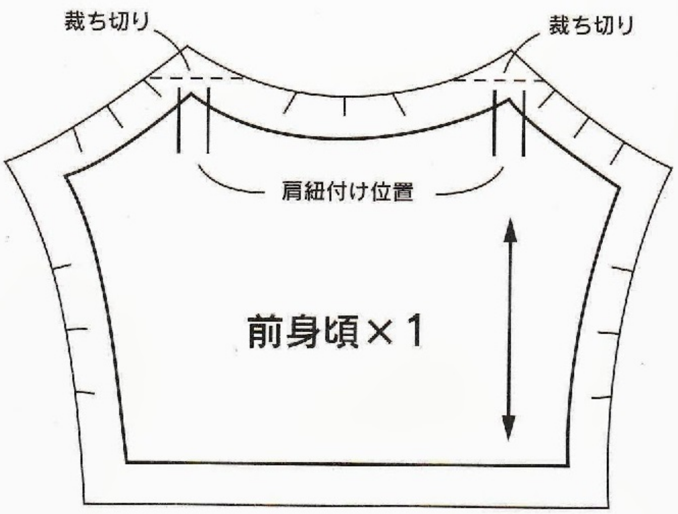
Just make it!

Be Free* MINAMI
P80-81

キャミソールワンピースの作り方

［材料］
ピンクの綿か綿麻の薄い布17cm×28cm、6mm幅の白いリボン12cm
(肩紐用。リボンのほかにレースなどでも代用可能です。)、
1cmくらいまでのトーションレース28cm、スナップ1組
糸は布に合わせて90番の細いものを使うと仕上がりがきれいです。

［作り方］
1. 前身頃と後ろ身頃を中表に合わせ、脇を縫う。
2. ウエストに近い部分のカーブに糸を切らないように切込みを入れる。
3. 縫い代をアイロンで割り、全体的にアイロンをかけておく。
4. 見返し用布と身頃を中表に合わせ、身頃の上の部分を縫う。
5. 身頃の上部分のカーブに糸を切らないように細かく切込みを入れる。
6. 表に返してアイロンで押さえる。
7. 身頃の表から押えミシンをかける。
8. スカート部分の裾にジグザグミシンかロックミシンをかける。
9. 裾をアイロンで8mmくらいに折る。
10. 裾にミシンをかける。
11. 裾にレースをたたく。
12. スカートのウエスト部分にギャザーを寄せる。
13. 身頃とスカート部分のウエスト部分を中表に合わせ、縫う。
14. ウエストの縫い代にジグザグミシンかロックミシンをかける。
15. ウエスト部分に表からアイロンをかけて落ち着かせる。
16. ウエスト部分に押えミシンをかける。
17. 後ろあき部分をアイロンで斜めに折り返してミシンをかける。
18. 本体を中表に合わせ、スカート部分からあきどまりまでを縫う。
19. 表に返してスナップを付ける。
20. 肩紐を付ける。肩紐の縫い代を除く部分は4cmに調節する。
21. 仕上げにアイロンをかけるときれいです。出来上がり。



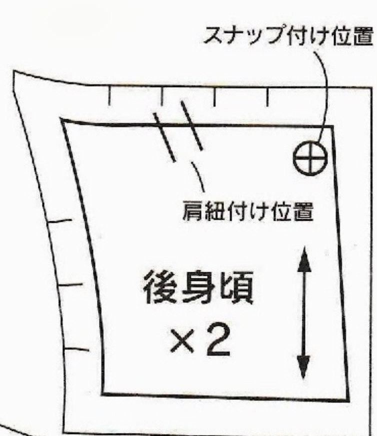
アンダースカートの作り方

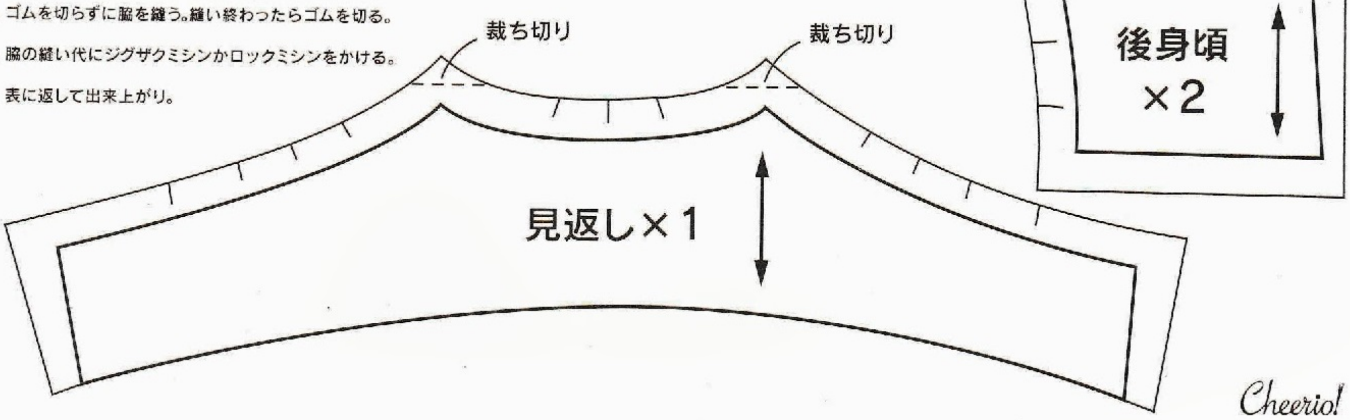
＊出来上がったらスチームアイロンで縦にしわを付けたり、手で握ってしわを付けると　着古し感が出て素敵です。

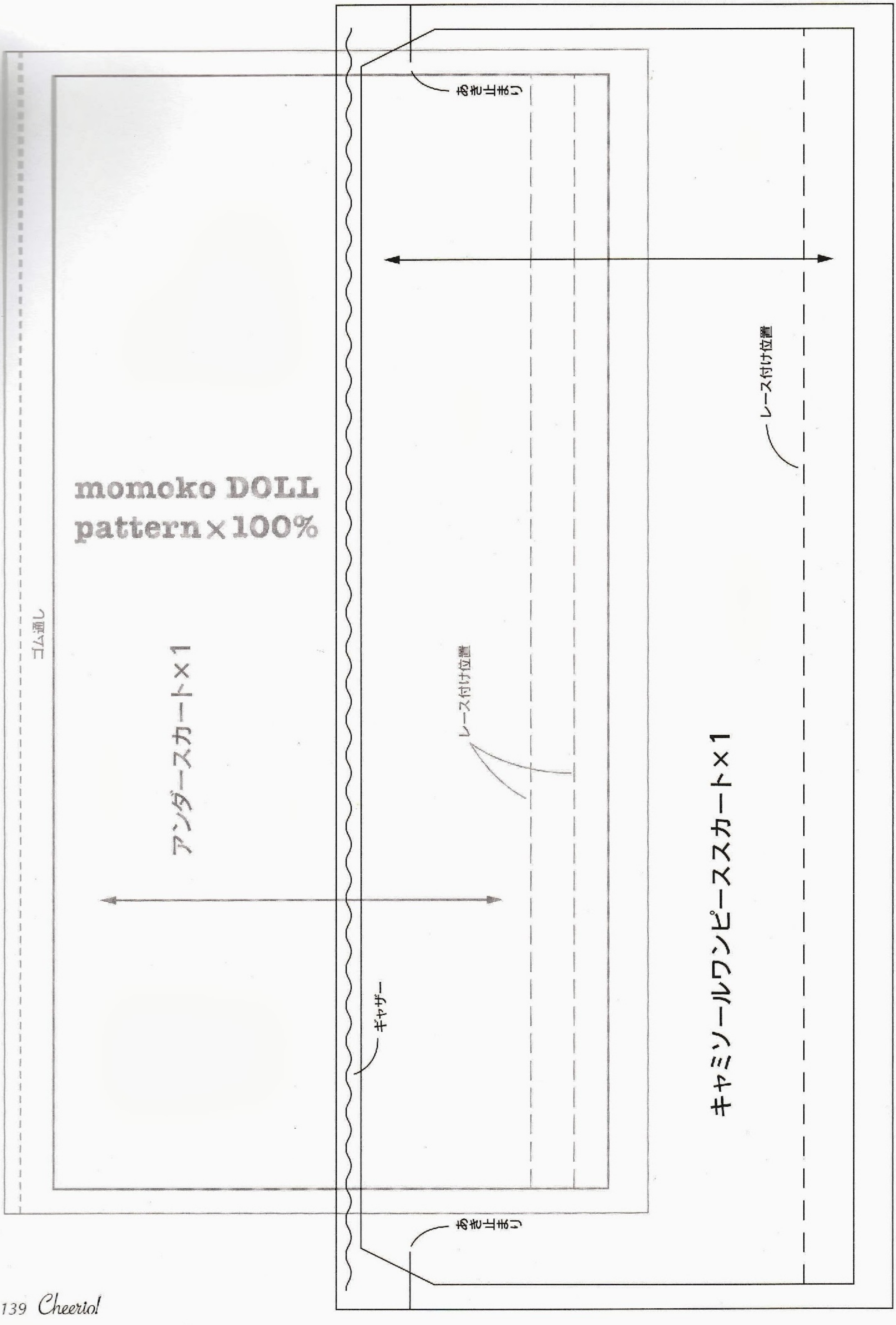
［材料］
薄手の綿か綿麻の布15cm×25cm、ストレッチトーションレース幅2cmまでのものを25cm、
1cmくらいまでのトーションレース50cm(レースは好きなものにアレンジ可能です。)
幅3mmのゴム15cm
糸は布に合わせて90番の細いものを使うと仕上がりがきれいです。

［作り方］
1. 裾とウエスト部分にジグザグミシンかロックミシンをかける。
2. アイロンで裾を8mm、ウエストを1cmに折る。
3. 裾にストレッチトーションレースを裏側に待ち針で留めて、表から縫う。
4. トーションレースを表に2段たたく。
5. ウエスト部分にゴム通しを作る。上から7mmくらいのところを縫う。
6. ゴムを通す。ウエストが7cmくらいになるように縮める。
7. ゴムを切らずに脇を縫う。縫い終わったらゴムを切る。
8. 脇の縫い代にジグザグミシンかロックミシンをかける。
9. 表に返して出来上がり。

momoko DOLL
pattern×100%






momoko DOLL
pattern×100%
ゴム通し
アンダースカート×1
レース付け位置
ギャザー
あき止まり
あき止まり
レース付け位置
キャミソールワンピーススカート×1

最後のページまで『チェリオ!』を
お読みいただき、ありがとうございます。

「大人のドールライフ」がどんなものか
イメージできたでしょうか?

ただ"受け身"で楽しむのではなく、
もっと楽しめるように自ら"行動"し、
その"行動"の中から新しい"何か"を見つける。

そんなスタイルが"大人"なのではないか
と、『チェリオ!』編集部は思っています。

この一冊が、あなたがこれまでとは違う
"行動"をおこすきっかけとなり、
あなたが新しい"何か"を見つけ、
人生がもっと素敵なものになれば、
これより嬉しいことはありません。

あなたがこれから出会う
新しい感動と、
新しい楽しみと、
新しい"何か"に、

Cheerio!(かんぱい)

PLEASE START YOUR BRAND NEW DOLL-LIFE!





お人形MOOK
Dolly*Dolly Vol.15
2007年12月発行
A4変型判　総160頁

「私だってお人形カメラマン!」一大お人形写真特集号。見て楽しいお人形フォトと、役立つ撮影の知識が一杯。海外の新進ドールアーティストがお人形フォトグラフ・ライフをロンドン・ベルリン・クレタでのお洒落な海外ロケで大紹介。さらに、プロカメラマン兼ドールアーティストによる、お人形写真レッスンや、かわいいお人形写真を使って切手、ミニアルバム、フォトスタンドなどイロイロ手作りができる作り方講座つき。その他、楽しい企画や豪華連載陣、イベントレポート、お人形関連の最新情報など、充実の内容でお送りします。

お人形好きなあなたのための

Dolly*Dolly

あなたのお人形ライフをもっと素敵にするDolly*Dollyシリーズのご案内です。全号、掲載されているお洋服の詳しい作り方解説と型紙つきです。

価格はすべて、2,000円(税別)です。



お人形MOOK
Dolly*Dolly Vol.2
2003年8月発行
A4変型判　総160頁



お人形MOOK
Dolly*Dolly Vol.3
2003年12月発行
A4変型判　総160頁



お人形MOOK
Dolly*Dolly Vol.4
2004年4月発行
A4変型判　総152頁



お人形MOOK
Dolly*Dolly Vol.5
2004年8月発行
A4変型判　総160頁



お人形MOOK
Dolly*Dolly Vol.6
2004年12月発行
A4変型判　総160頁



お人形MOOK
Dolly*Dolly Vol.7
2005年4月発行
A4変型判　総164頁



お人形MOOK
Dolly*Dolly Vol.8
2005年9月発行
A4変型判　総176頁



お人形MOOK
Dolly*Dolly Vol.10
2006年4月発行
A4変型判　総174頁
別冊付録(カラー20頁)つき



お人形MOOK
Dolly*Dolly Vol.11]
2006年8月発行
A4変型判　総162頁

品薄



お人形MOOK
Dolly*Dolly Vol.12
2006年12月発行　A4変型判
総168頁 綴じ込み付録
(カラー16頁)つき



お人形MOOK
Dolly*Dolly Vol.13
2007年4月発行
A4変型判　総152頁



お人形MOOK
Dolly*Dolly Vol.14
2007年8月発行
A4変型判　総152頁

『ドール・コーディネイト・レシピ』シリーズ

ブライス、momokoドール、タイニー・ベッツィー・マッコール、おでこちゃんとニッキ他の新世代のファッションドールのお洋服の作り方＆型紙の本。自分でお洋服を作る方には勿論、フォトブックとして眺めているだけでも楽しめる、フォト＆ソーイングブックです。価格はすべて、1,500円（税抜）です。

人気シリーズ第6弾
2月上旬発売決定！



ドール・コーディネイト・レシピ6
カラフルパレード
カニホル著

ファンタジー溢れるお洋服から、チャイナドレス、パンキッシュなリアルクローズまで、気鋭のドール作家「カニホル」によるバラエティに富んだラインナップにご期待ください！



ドール・コーディネイト・レシピ1
リアルクローズ
関口妙子著



ドール・コーディネイト・レシピ2
プリティーブリティッシュ
小森桃子著



ドール・コーディネイト・レシピ3
イノセント・ガールズ
えびねひろこ著



ドール・コーディネイト・レシピ4
ロマンティック・ガーリー
関口妙子著



ドール・コーディネイト・レシピ5
ノスタルジック・ベーシック
おか かずみ著

大好評発売中！ グラフィック社のお人形書籍



「ブライス　語りつづけるハワイの娘たち」
NA WAHINE 'AULI'I　ナー・ワーヒネ・アウリイ
ジュンコ・ウォング著
定価:2,000円（税別）　総96頁（オールカラー）
発行:CWC BOOKS　発売:グラフィック社

世界中に愛されるドールBlytheがハワイに舞い降りた！ファッションドールとして、多くの人を魅了しているブライスが花や葉で身を飾り、ハワイに伝わる美しい物語を表現しました。全ページ、ハワイロケで撮りおろした色鮮やかな大自然の写真がたっぷり収録されています。妖精のようなブライス達が紡ぎだす、真実のハワイ。語り継がれてきた伝説を、自然を愛するあなたに、ブライスを愛するあなたに、ハワイを愛するあなたに捧げます。



Blythe Rhapsody
2007年7月発行
総160頁（オールカラー）
定価:2,800円（税別）
発行:CWC BOOKS
発売:グラフィック社

スーパーモデル「ブライス」の写真集！
180体以上のおしゃれブライスが大集合！ 時にロマンティック、時にミステリアス、ページをめくるたびに輝きを増すブライスの世界が、圧倒的な個性と存在感を放ちます。



Dolly*Dolly Books
お人形事典
～ファッションドール編～
2004年9月発行
B5変形判・総248頁
定価:2,500円（税別）

キュートなファッションドールが1冊に！
1951年～のファッションドール129体を美麗な写真と簡潔な解説で紹介しています。世界のお人形をコレクションしているような感覚になれるかも?!



ブライスカスタム基礎ノート
2007年5月発行
総112頁（オールカラー）
定価:2,200円（税別）／CWC監修

ブライスカスタムの初心者向けのオフィシャルブック！
工作経験の無い初心者の方に向けて、ブライスのさまざまなカスタム方法の基本を丁寧にご紹介します。ブライスをさらにかわいくしたい人必見の1冊。



Dolly*Dolly Books
創作人形年鑑2005
2005年1月発行
A4変型判・総120頁
定価:8,000円（税別）

創作人形界の現在を一望！
有名作家、新進作家の125名の作品を掲載。高級感溢れるロマンティックな装幀に、最大限に大きくした美しい人形写真を綴り、巻末には作家達の詳しいプロフィールを掲載。

main model



momoko DOLL（ももこ・どーる）

2001年8月、愛玩メールソフト「PostPet」のアートディレクター・真鍋奈見江の趣味が高じて、素人が人形という工業製品を量産する活動そのものを作品とする着せ替え人形「momoko」を発表。以降、東京の今を切り取る1:6スケール（約27cm）のインディーズ・ドールとして、既存のドールコレクターだけでなく、人形に興味の無かった20代～30代の女性層にも浸透。おしゃれなファッション・ドールとして、雑貨として、アートとして、TVCM出演、モデル活動なども展開。新世代ドールの旗手の一人として活躍。2004年8月、3周年を機にインディーズ活動を休止。半年間の充電期間を経て、2005年4月新生『momoko DOLL』として人形のセキグチよりメジャーデビュー。現在人形界のトップブランドへと成長中。

www.momokodoll.com

staff

編集長
林 みき

編集
チェリオ！編集部

編集協力
プロジェクト・ブリーダー

アートディレクション・デザイン
シラキハラメグミ

撮影
米倉裕貴
あさみあやこ
北浦敦子
山根範久

協力
EMI Music Japan Inc.
efish
カンバラクニエ会
黒猫堂
寿スタジオ
セキグチ
大日本プロレス
ペットワークス
ムチャチャ
ロウロウジャパン
Loule
and more……
（敬称略　50音順）

企画
小中千恵子（グラフィック社）

[別冊] Dolly・Dolly
Cheerio!（チェリオ！）
～ドールライフのはじめかた～

2008年1月25日　初版第1版発行

編　者：チェリオ！編集部
発行者：久世利郎
発行所：株式会社グラフィック社
印刷所：凸版印刷株式会社
製本所：凸版印刷株式会社

〒102-0073
東京都千代田区九段北1-14-17
tel. 03-3263-4318
fax.03-3263-5297

http://www.graphicsha.co.jp

振替00130-6-114345

ISBN978-4-7661-1860-5©0072
Printed in Japan

9784766118605
1920072020005
ISBN978-4-7661-1860-5
C0072 ¥2000E

定価：本体2,000円（税別）

